

関市学校規模適正化計画（案）

令和6年 3月22日

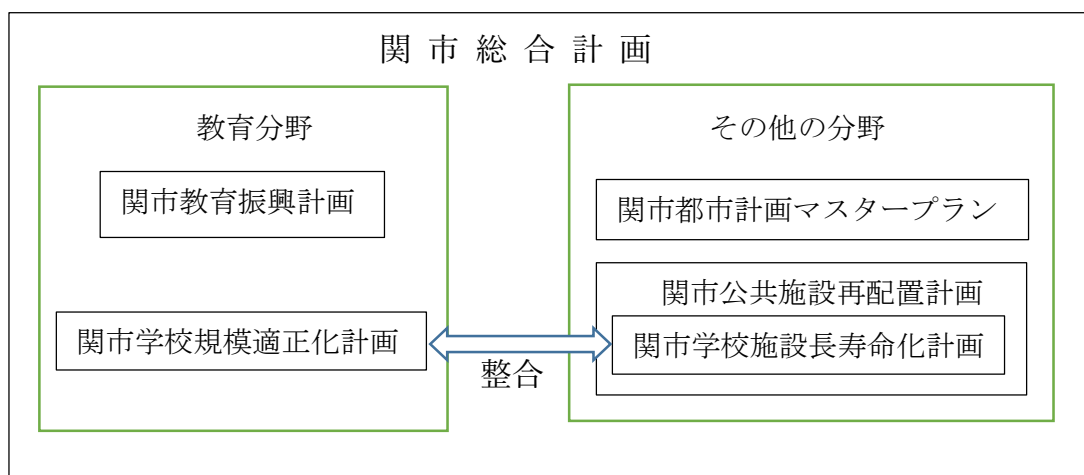
関市教育委員会

目次

1. 学校規模適正化計画の位置づけ	1
2. 適正な学校規模の考え方	
(1) 法令等における適正な学校規模の考え方	2
(2) 国の適正規模・適正配置の望ましい規模	2
(3) 小規模校・大規模校の「よさ」と「課題」	3
(4) 規模適正化の場合の基本的な形態	4
3. これまでの学校再編の取組と現状	
(1) これまでの学校再編の取組	6
(2) 近年の学校施設の整備状況	6
(3) 学校規模の現状	7
(4) 児童生徒数の推移	9
(5) 学校別児童生徒数の推移	11
(6) 各学校における現状と予測	13
① 緑ヶ丘中学校区	13
② 旭ヶ丘中学校区	17
③ 桜ヶ丘中学校区	20
④ 下有知中学校区	24
⑤ 富野中学校区	26
⑥ 小金田中学校区	28
⑦ 板取川中学校区	30
⑧ 武芸川中学校区	33
⑨ 津保川中学校区	36
4. 学校規模適正化にあたり	
(1) 学校規模適正化基本方針	39
(2) 学校規模適正化への方策	40
(3) 学校規模適正化に向けての取組	41
① 緑ヶ丘中学校区	42
② 旭ヶ丘中学校区	43
③ 桜ヶ丘中学校区	44
④ 下有知中学校区	45
⑤ 富野中学校区	46
⑥ 小金田中学校区	47
⑦ 板取川中学校区	48
⑧ 武芸川中学校区	49
⑨ 津保川中学校区	50
(4) 学校規模適正化取組完了後の学校数	51
<資料>	
1. 諮問書、答申書	53
2. 審議会開催状況等	58
3. 審議会委員名簿	58
4. 審議会規則	59
5. アンケート実施について	60

1. 学校規模適正化計画の位置づけ

本市における学校規模適正化計画と各関連計画との整合・連動は以下のとおりです。



2. 適正な学校規模の考え方

(1) 法令等における適正な学校規模の考え方

国の法令等では、標準的な学級数（特別支援学級を除く）について、次のとおり規定されています。

区 分	標準規模※
学校教育法施行規則	12～18学級
義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令	12～18学級
公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引	12学級以上 (中学校は9学級以上)

※義務教育諸学校等の施設費等の国庫負担等に関する法律施行令では「適切な規模」、「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」では「望ましい規模」という。

標準規模を基準にして、以下のとおり学校規模をあらわす。

	小学校	中学校
過小規模校	5学級以下	2学級以下
小規模校	6～11学級	3～8学級
適正規模校	12～18学級	9～18学級
大規模校	19～30学級	19～30学級

(2) 国の適正規模・適正配置の望ましい規模※1

児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通して、一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、小・中学校では一定の集団規模が確保されていることが望ましい。

- 小学校・・・クラス替えができる1学年2学級以上
- 中学校・・・免許外指導※2をなくす9学級以上（教諭：14名）
- 通学距離・・・小学校4km、中学校6km 約1時間以内（スクールバス）

※1 文科省 H27 「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」

※2 免許外指導は教科の教員免許状を有している教員が、その教科以外の教員免許状を有していない教科の授業を指導すること

(3) 小規模校・大規模校の「よさ」と「課題」

小規模校

区分	よさ	課題
学習面	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた指導が行いやすい ・一人ひとりが活躍できる場面が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な考えや意見に触れる機会が少ない ・中学校では、専門教科の教員が確保できない
生活面	<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境等が把握しやすく、個に応じた指導が行いやすい ・家庭や地域と連携が図りやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係が固定化されやすい ・クラブ活動や部活動の選択肢が少ない
学校運営面	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が少ないため、教員間の共通理解が図りやすい ・成績処理等の事務に要する時間が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の校務負担が大きくなる ・作業の分担や行事運営のための職員数が不足する

大規模校

区分	よさ	課題
学習面	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な考えや意見に触れる機会が多い ・教科の専門性が高い授業を受けることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた指導が行いにくい ・一人ひとり活躍する場や機会を設定しにくい
生活面	<ul style="list-style-type: none"> ・学級編制を替えることで新たな人間関係が構築できる ・クラブ活動や部活動の選択肢が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境等が把握しにくく、個に応じた指導が行いにくい ・異学年交流の機会を設定しにくい
学校運営面	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が多いため、作業の分担や行事運営が円滑に行える 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員間の共通理解に時間を要する ・成績処理等の事務が複雑化する

(4) 規模適正化の場合の基本的な形態

① 学校の通学区域を拡大縮小

② 学校再編

i 小学校同士の再編

ii 中学校同士の再編

iii 小学校と中学校を再編して義務教育学校や小中一貫校を設置

a 義務教育学校

一人の校長と一つの教職員組織が9年間の学校教育目標を決め、一貫した教育を行う、2016年から制度化された新たな学校種。修業年限は9年間で、小中学校の学習指導要領を準用した教育課程を実施。施設の一体・分離を問わず設置可能。

学年の児童生徒数は増えないが、学校全体の児童生徒数が増えること、教諭が増えることのメリットがあります。

<県下6校>

岐阜大学教育学部附属小中学校、羽島市立桑原学園、北方町立北学園
北方町立南学園、本巣市立根尾学園、白川村立白川郷学園

b 小中一貫校

「小学校」「中学校」に分かれており、それぞれに校長や教員が配置されます。修業年限は小学校6年、中学校3年間、一貫した教育を行う。行事などを小中合同で実施する場合があります。施設の一体・分離を問わず設置可能。

③ 学校選択制の導入

小規模校等に児童生徒を指定区域外から就学させる手段となります。

i 自由選択制・・・市区町村内の全ての学校のうち、希望する学校に就学できます。

ii ブロック選択制・・・市町村内をブロックに分け、そのブロック内の希望する学校に就学できます。

- iii 隣接区域選択制・・・従来の通学区域は残したままで、隣接する区域内の希望する学校に就学できます。
- iv 特定地域選択制・・・従来の通学区域は残したままで、特定の地域に居住する者について、学校選択を認めます。
- v 特認校制・・・従来の通学区域は残したままで、特定の学校について、通学区域に関係なく、市町村内のどこからでも就学できる。小規模特認校制※はこれに含まれます。

※小規模特認校制は少人数の学校で、自然環境の活用や地域住民との交流など、特色ある学校経営を行っている学校を教育委員会が指定します。保護者が、安全な交通手段により児童生徒を通学させることができ、通学に要する経費を負担できることで、他の通学区域からの通学を許可する制度。

(3) 学校規模の現状

令和5年度では、小学校17校、中学校9校のうち半数を超える学校が、国の適正規模・適正配置の望ましい規模に満たない小規模校以下となっています。

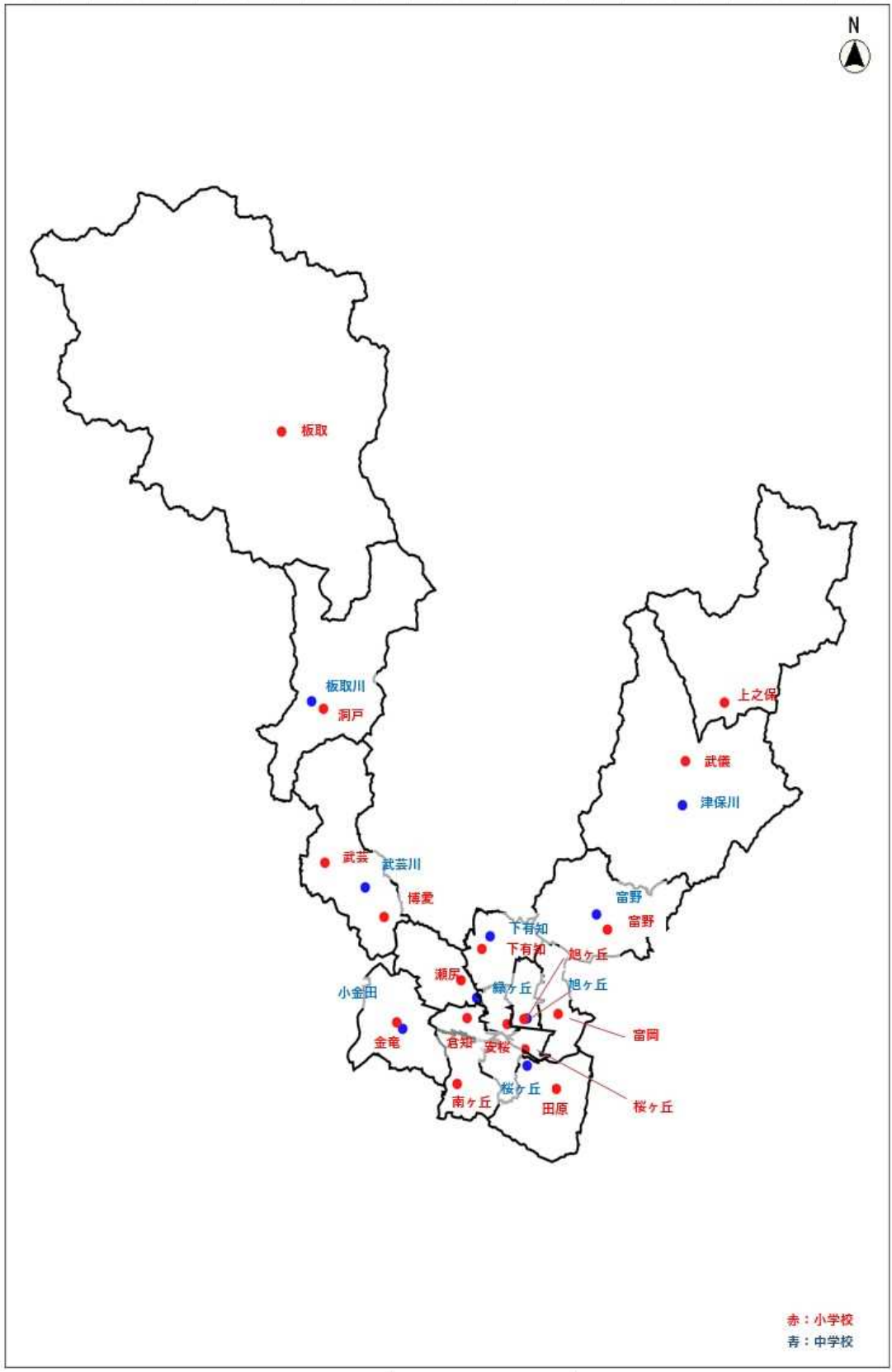
小学校（全17校）

（ ）の中は学級数

過小規模校 (5学級以下)	小規模校 (6～11学級)	適正規模校 (12～18学級)	大規模校 (19～30学級)
上之保小(3) 板取小(2)	田原小(10) 南ヶ丘小(6) 富野小(6) 洞戸小(6) 博愛小(6) 武芸小(6) 武儀小(6)	富岡小(15) 安桜小(14) 瀬尻小(14) 倉知小(13) 旭ヶ丘小(12) 桜ヶ丘小(12) 下有知小(12)	金竜小(21)
2校	7校	7校	1校

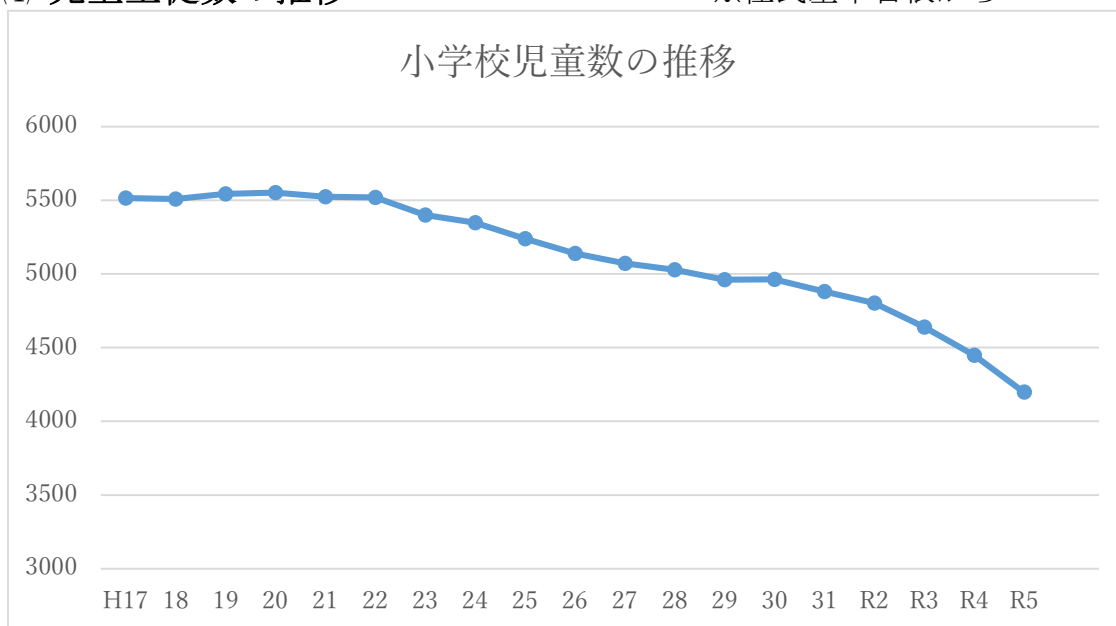
中学校（全9校）

過小規模校 (2学級以下)	小規模校 (3～8学級)	適正規模校 (9～18学級)	大規模校 (19～30学級)
	下有知中(6) 武芸川中(6) 富野中(3) 板取川中(3) 津保川中(3)	桜ヶ丘中(14) 旭ヶ丘中(13) 小金田中(12)	緑ヶ丘中(19)
	5校	3校	1校



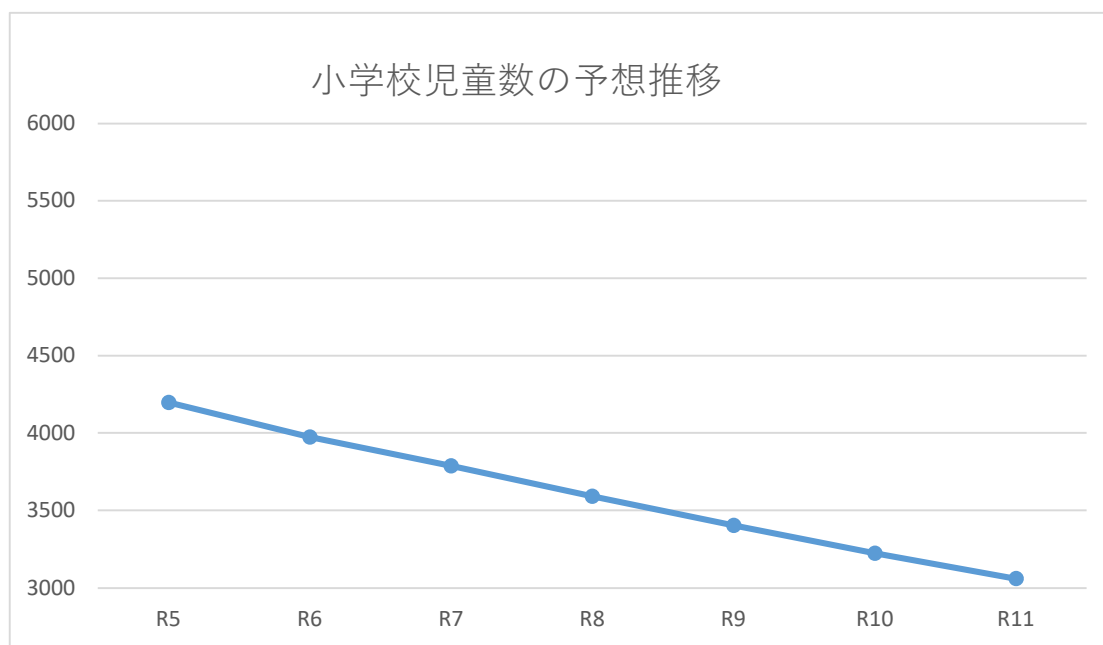
(4) 児童生徒数の推移

※住民基本台帳から



H17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	R2	R3	R4	R5
5515	5508	5544	5552	5523	5520	5399	5348	5238	5140	5072	5028	4960	4963	4881	4803	4639	4448	4198

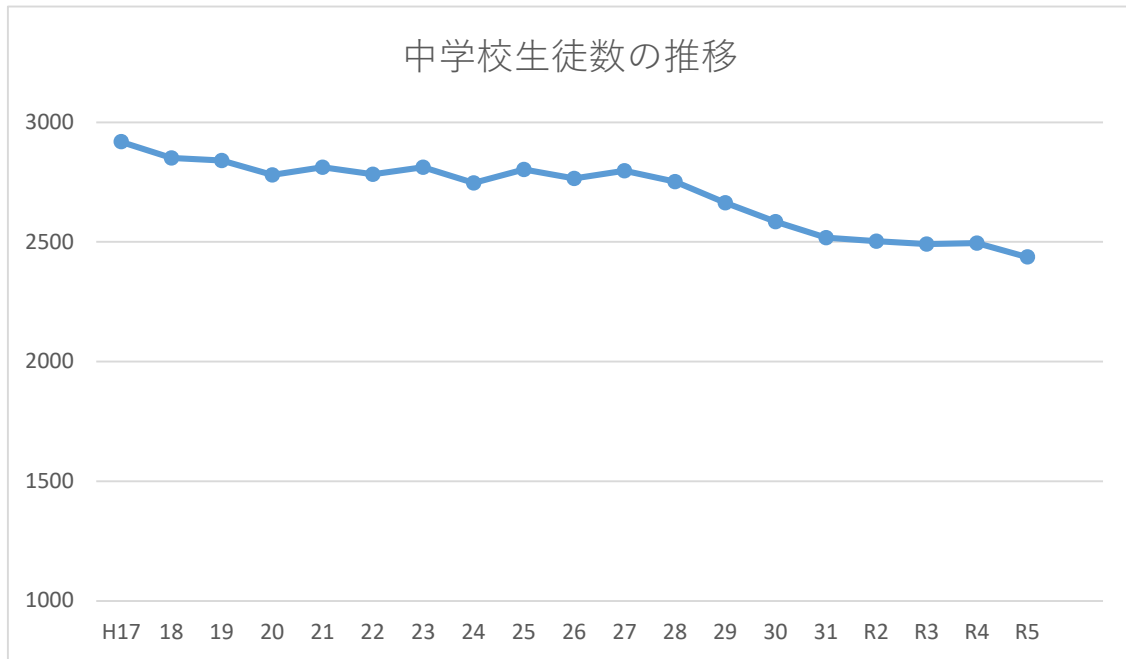
H17～R5 △1317人 △23.9%



R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
4198	3974	3789	3591	3403	3223	3060

R5～R11 △1138人 △27.1%

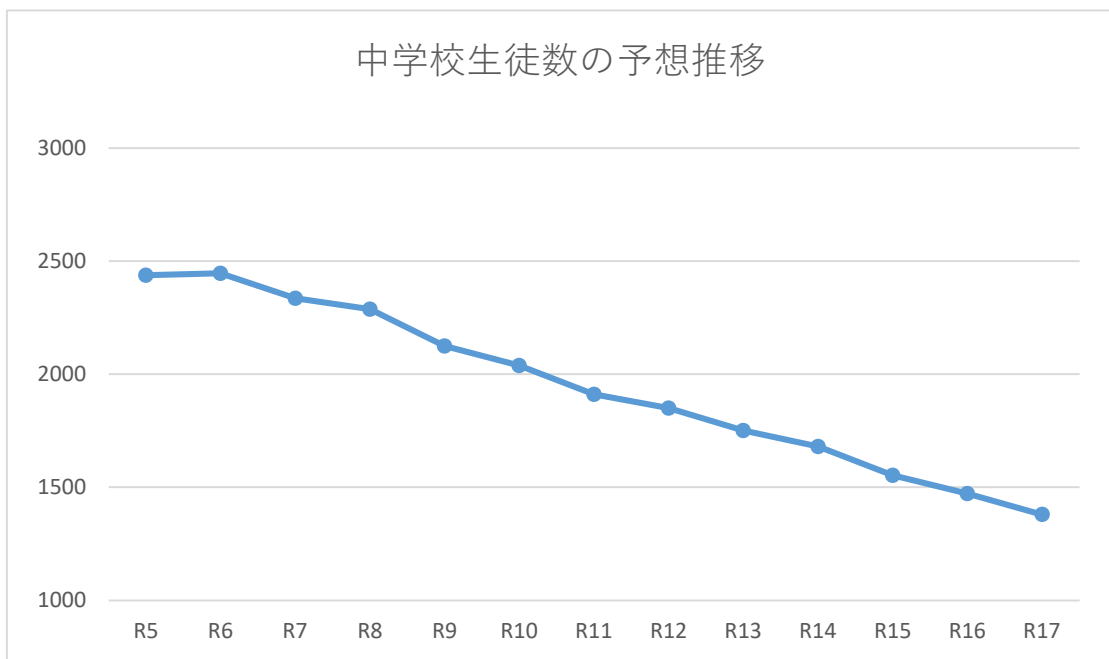
中学校生徒数の推移



H17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	R2	R3	R4	R5
2919	2851	2840	2780	2812	2782	2812	2746	2803	2765	2797	2752	2664	2585	2518	2503	2491	2495	2437

H17~R5 △482人 △16.5%

中学校生徒数の予想推移



R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
2437	2446	2336	2287	2124	2038	1911	1850	1751	1680	1553	1472	1380

R5~R17 △1057人 △43.4%

(5) 学校別児童生徒数の推移

- ・令和5年4月1日住民基本台帳からの人数抽出になります。
- ・県立学校、私立学校に通う児童生徒も含まれています。
- ・岐阜県の通常学級の編成基準は1学級35人以下であるため、原則学年36人在籍していれば2クラスになります。
- ・複式学級15人以下（第1学年を含む場合は8人以下）です。

学齢人口からみた全校児童生徒数予想（人）

全校児童生徒数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
緑ヶ丘中	665	632	608	573	553	558	561	553	531	506	472	451	430
安桜小	435	407	416	400	379	367	349						
瀬尻小	395	365	343	333	317	308	284						
倉知小	399	414	420	417	414	391	387						
旭ヶ丘中	407	425	393	414	389	388	359	345	318	313	288	286	250
旭ヶ丘小	328	302	288	261	239	235	210						
富岡小	445	432	418	411	394	369	353						
桜ヶ丘中	461	473	422	427	373	374	356	346	337	309	290	286	287
桜ヶ丘小	340	319	316	302	294	294	277						
南ヶ丘小	90	70	71	66	66	62	61						
田原小	258	250	234	214	191	183	174						
下有知中	192	190	189	196	192	183	161	162	153	155	146	146	144
下有知小	357	354	336	316	308	299	299						
富野中	50	48	54	44	37	33	30	28	31	33	32	19	12
富野小	74	65	64	63	60	50	45						
小金田中	390	391	380	356	326	283	244	229	207	200	179	168	158
金竜小	600	555	490	444	408	375	358						
板取川中	44	50	57	59	54	46	36	33	27	29	23	18	20
洞戸小	80	71	61	51	45	35	38						
板取小	15	16	12	14	11	10	11						
武芸川中	156	164	163	147	136	117	115	110	107	103	88	70	57
博愛小	166	157	141	139	125	111	104						
武芸小	96	89	83	79	73	66	56						
津保川中	72	73	70	71	64	56	49	44	40	32	35	28	22
武儀小	90	78	70	55	52	43	35						
上之保小	30	30	26	26	27	25	19						

学齢人口からみた小中学校学級の子想数

小中学校学級数

単学級

複式

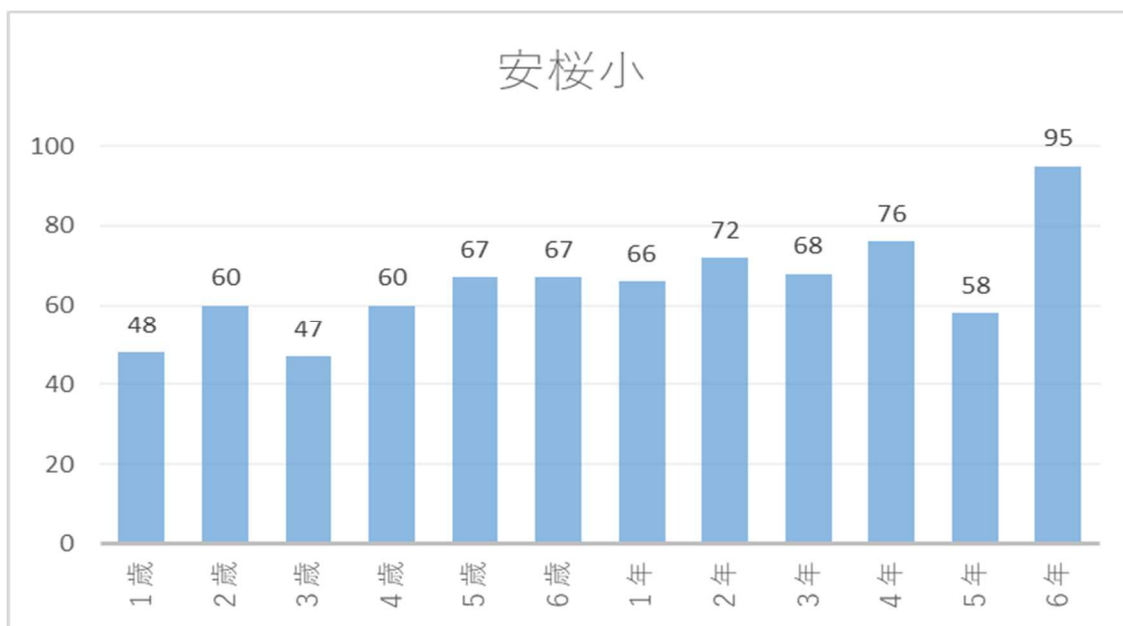
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
緑ヶ丘中	21	20	19	18	18	18	18	17	16	15	14	14	14
安桜小	15	14	14	13	13	12	12						
瀬尻小	15	14	13	13	13	13	12						
倉知小	13	14	15	15	15	14	14						
旭ヶ丘中	13	14	13	14	13	13	12	12	11	11	10	10	9
旭ヶ丘小	13	13	12	11	10	9	8						
富岡小	16	15	14	13	13	12	12						
桜ヶ丘中	14	15	14	14	12	12	12	12	11	10	9	9	9
桜ヶ丘小	12	12	12	12	12	12	12						
田原小	10	10	9	8	7	7	7						
南ヶ丘小	6	6	6	6	6	6	6						
小金田中	12	12	12	12	11	10	8	8	7	7	6	6	6
金竜小	20	19	17	15	14	13	13						
下有知中	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
下有知小	12	12	12	12	12	12	12						
富野中	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
富野小	6	6	5	5	5	4	4						
武芸川中	6	6	6	6	6	6	5	5	4	4	3	3	3
博愛小	7	7	6	6	6	6	6						
武芸小	6	6	6	6	6	6	5						
板取川中	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
洞戸小	6	6	5	5	4	4	4						
板取小	3	3	3	3	3	3	3						
津保川中	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
武儀小	6	6	6	5	5	5	4						
上之保小	4	4	4	4	3	3	3						

複式…複式学級は前後の学年児童数と合計して15人以下となる学年

(6) 各学校における現状と予測

① 緑ヶ丘中学校区

i 安桜小学校



	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	1年	2年	3年	4年	5年	6年
安桜小	48	60	47	60	67	67	66	72	68	76	58	95

- 適正規模校で、児童数は減少していく予定。
- 1学年2学級は当面維持できる。
- 平成14年度校舎竣工。長寿命化計画等は予定なし。
- 前山、赤尾、稲口地区の中学校進学先は桜ヶ丘中学校のため、小学校卒業後の進学先は緑ヶ丘中学校、桜ヶ丘中学校と別れることになる。
- 隣接学校までの距離
倉知小学校 2.3km 旭ヶ丘小学校 1.1km

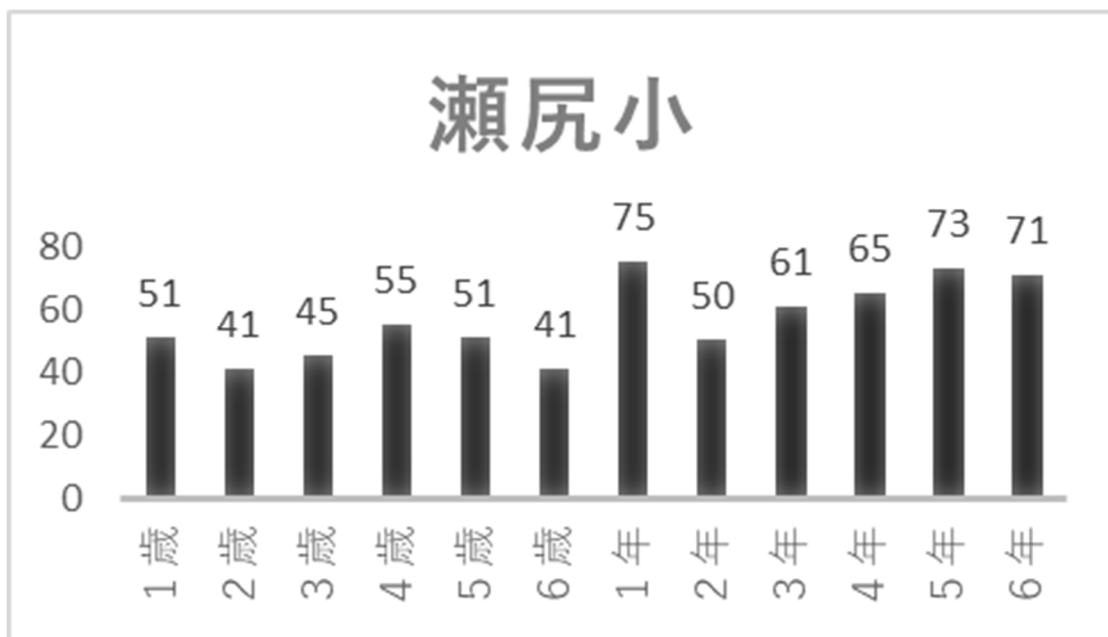
全校児童数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
安桜小	435	407	416	400	379	367	349

学級数

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
安桜小	15	14	14	13	13	12	12

ii 瀬尻小学校



	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	1年	2年	3年	4年	5年	6年
瀬尻小	51	41	45	55	51	41	75	50	61	65	73	71

- 適正規模校で、児童数は減少していく予定。
- 1学年2学級は当面維持できる。
- 昭和51年度校舎竣工。令和6年度長寿命化計画による校舎等大規模改修の開始予定。
- 広見地域の児童が路線バスで登下校している。
- 隣接学校までの距離
倉知小学校 2.2km 下有知小学校 2.3km

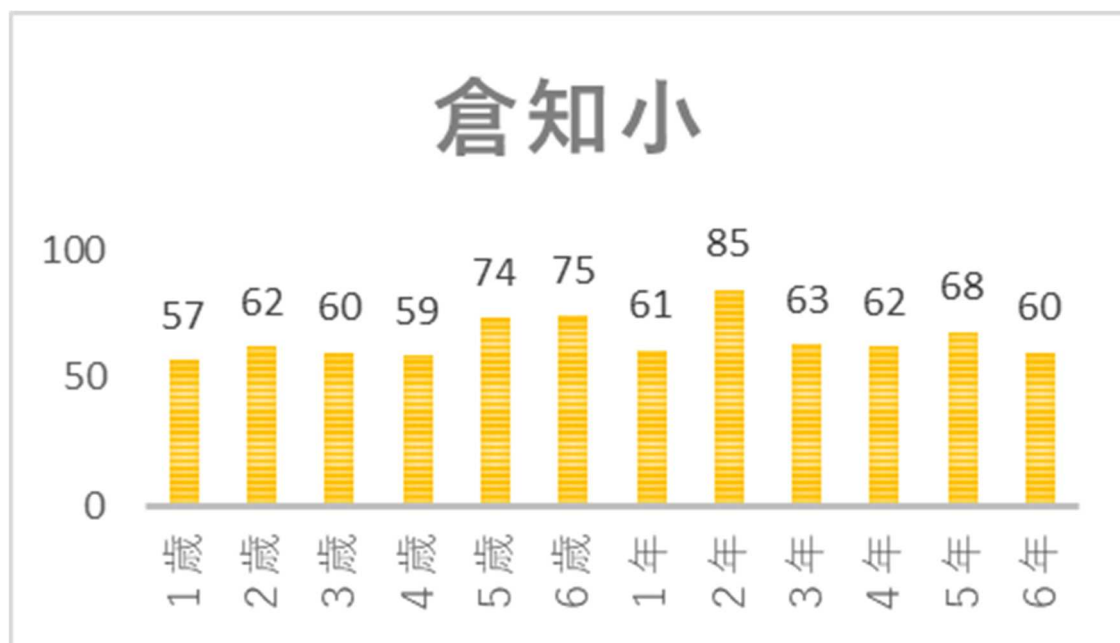
全校児童数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
瀬尻小	395	365	343	333	317	308	284

学級数

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
瀬尻小	15	14	13	13	13	13	12

iii 倉知小学校



	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	1年	2年	3年	4年	5年	6年
倉知小	57	62	60	59	74	75	61	85	63	62	68	60

- 適正規模校で、児童数の増減がない予定。
- 1学年2学級は当面維持できる。
- 昭和47年度校舎竣工。ふれあいセンターとの複合化による校舎建設を計画
中。
- 隣接学校までの距離
安桜小学校 2.3km

全校児童数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
倉知小	399	414	420	417	414	391	387

学級数

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
倉知小	13	14	15	15	15	14	14

iv 緑ヶ丘中学校



	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年
緑ヶ丘中	143	149	138	164	170	172	189	192	180	186	187	200	221	211	233

- 大規模校で、生徒数は減少していく予定。
- 1学年4学級は当面維持できる。
- 昭和41年度校舎竣工。
- 隣接学校までの距離
 下有知中学校 3.1km 小金田中学校 4.7km

全校生徒数（人）

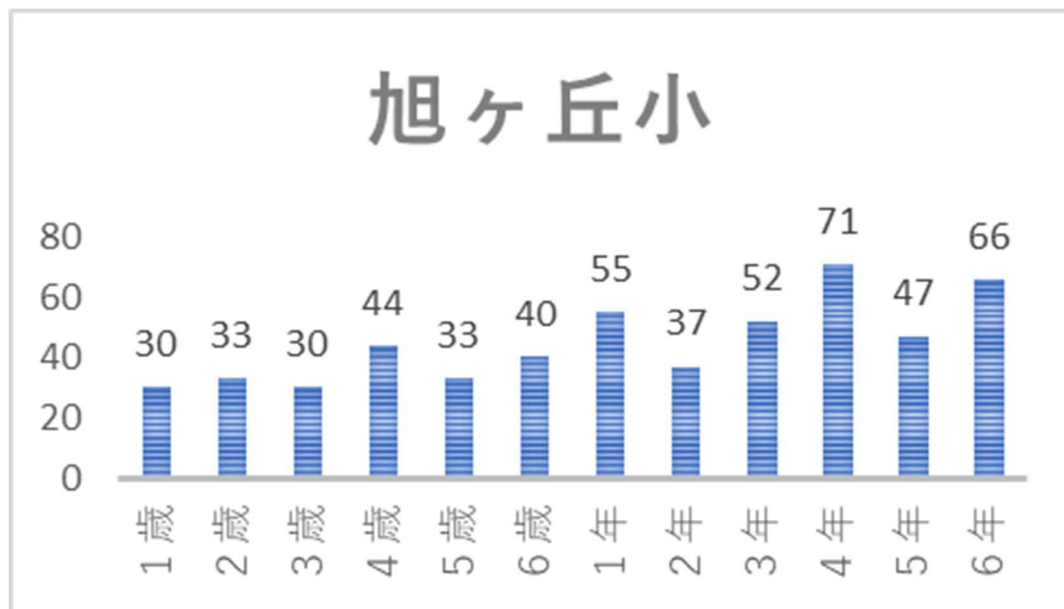
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
緑ヶ丘中	665	632	608	573	553	558	561	553	531	506	472	451	430

学級数

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
緑ヶ丘中	21	20	19	18	18	18	18	17	16	15	14	14	14

② 旭ヶ丘中学校区

i 旭ヶ丘小学校



	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	1年	2年	3年	4年	5年	6年
旭ヶ丘小	30	33	30	44	33	40	55	37	52	71	47	66

○適正規模校で、児童数は減少して小規模校になる予定。

○令和5年度2年生は1学級である。

○1学年1学級となる見込み。

○昭和41年度校舎竣工。

○隣接学校までの距離

富岡小学校 2.1km 安桜小学校 1.1km 富野小学校 7.4km

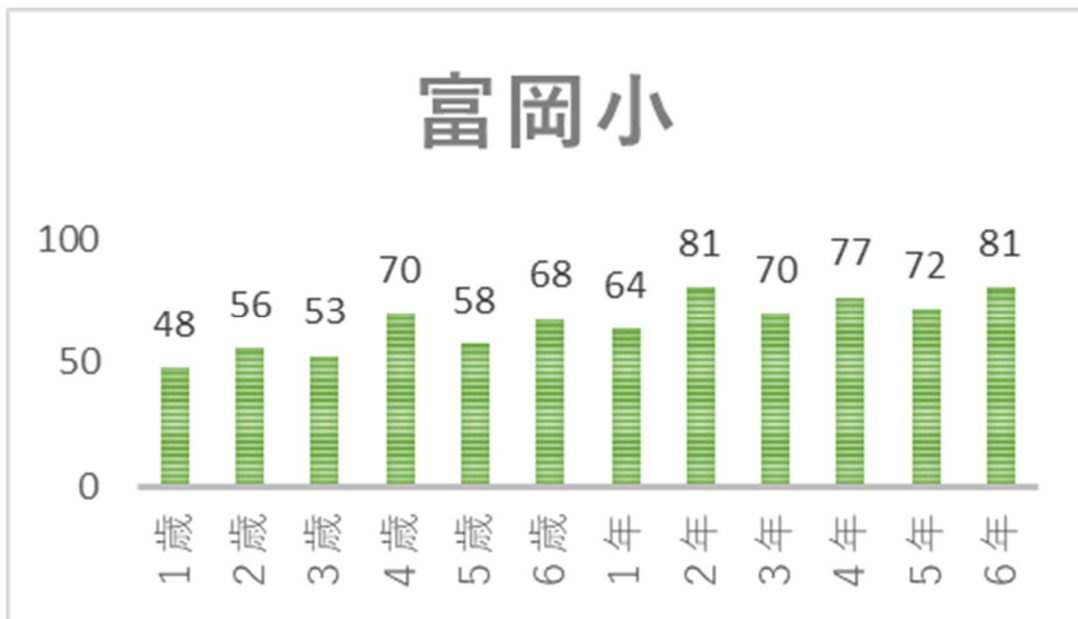
全校児童数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
旭ヶ丘小	328	302	288	261	239	235	210

学級数 単学級

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
旭ヶ丘小	13	13	12	11	10	9	8

ii 富岡小学校



	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	1年	2年	3年	4年	5年	6年
富岡小	48	56	53	70	58	68	64	81	70	77	72	81

○適正規模校で、児童数は減少していく予定。

○1学年2学級は当面維持できる。

○昭和48年度校舎竣工。

○隣接学校までの距離

旭ヶ丘小学校 2.1km 富野小学校 5.6km

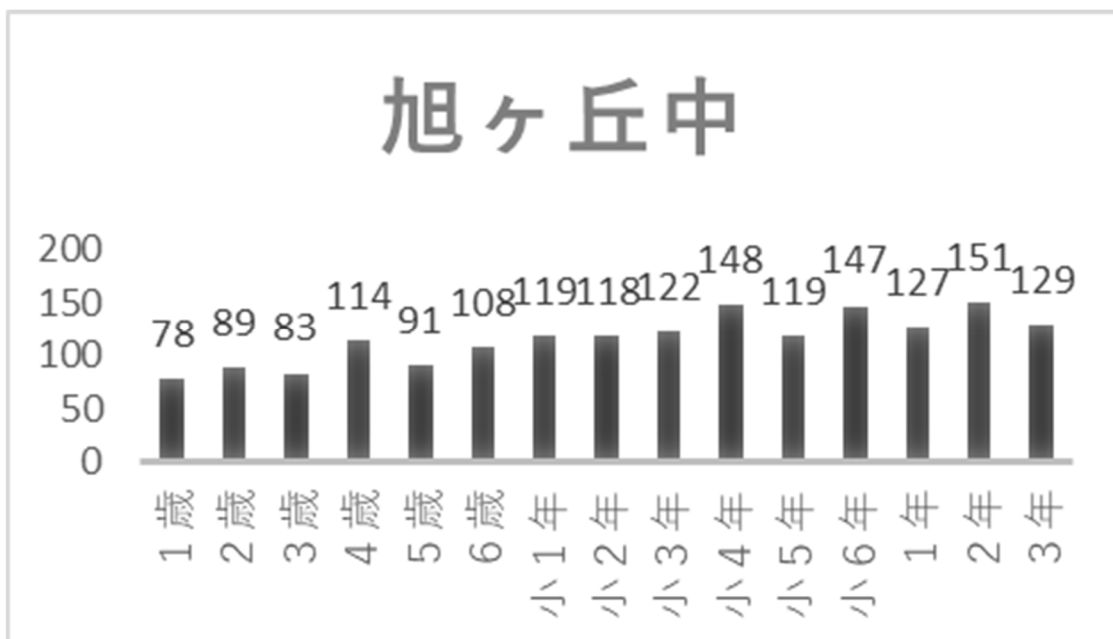
全校児童数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
富岡小	445	432	418	411	394	369	353

学級数

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
富岡小	16	15	14	13	13	12	12

iii 旭ヶ丘中学校



	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年
旭ヶ丘中	78	89	83	114	91	108	119	118	122	148	119	147	127	151	129

- 適正規模校で、生徒数は減少していく予定。
- 1学年3学級は当面維持できる。
- 昭和44年度校舎竣工。令和7年度長寿命化計画による校舎等大規模改修の開始予定。
- 隣接学校までの距離
富野中学校 7.9km 桜ヶ丘中学校 2.5km

全校生徒数（人）

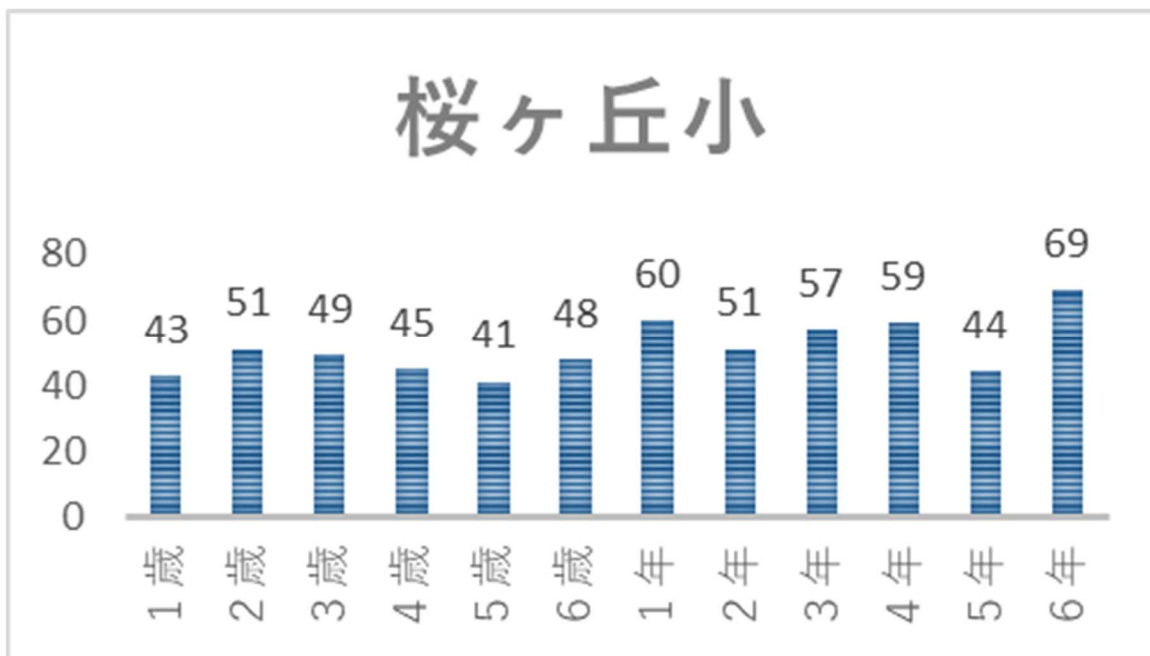
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
旭ヶ丘中	407	425	393	414	389	388	359	345	318	313	288	286	250

学級数

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
旭ヶ丘中	13	14	13	14	13	13	12	12	11	11	10	10	9

③ 桜ヶ丘中学校区

i 桜ヶ丘小学校



	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	1年	2年	3年	4年	5年	6年
桜ヶ丘小	43	51	49	45	41	48	60	51	57	59	44	69

○適正規模校で、児童数は減少していく予定。

○1学年2学級は当面維持できる。

○昭和55年度校舎竣工。

○隣接学校までの距離

南ヶ丘小学校 4.7km 田原小学校 3.1km

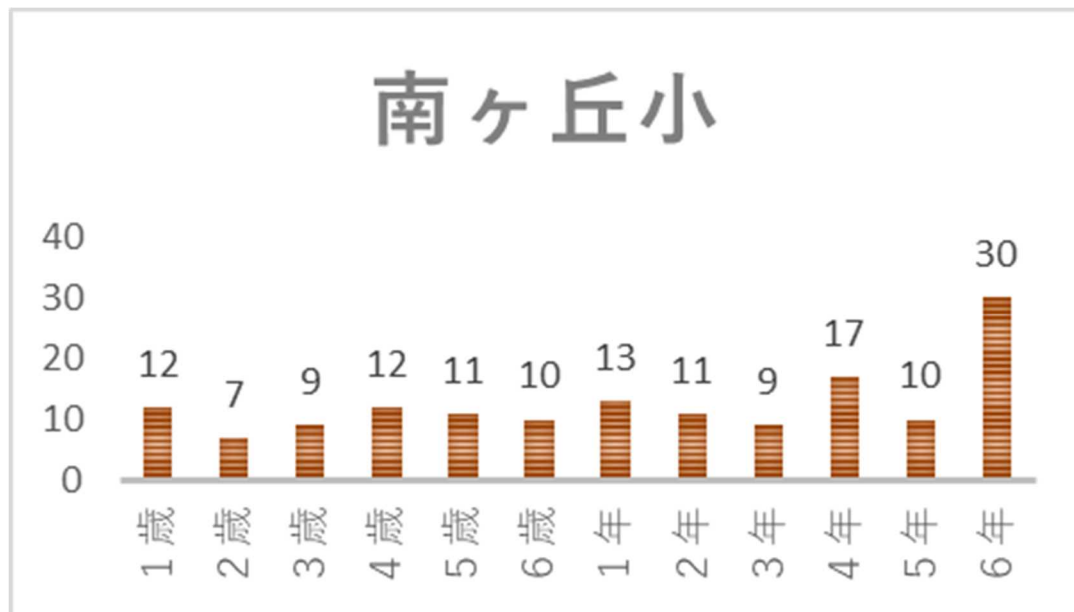
全校児童数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
桜ヶ丘小	340	319	316	302	294	294	277

学級数

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
桜ヶ丘小	12	12	12	12	12	12	12

ii 南ヶ丘小学校



	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	1年	2年	3年	4年	5年	6年
南ヶ丘小	12	7	9	12	11	10	13	11	9	17	10	30

- 小規模校で、児童数は横ばい予定。
- 1学年1学級で、今後は学年10人程度である。
- 昭和60年度校舎竣工。
- 隣接学校までの距離
 桜ヶ丘小学校 4.7km 倉知小学校 3.6km

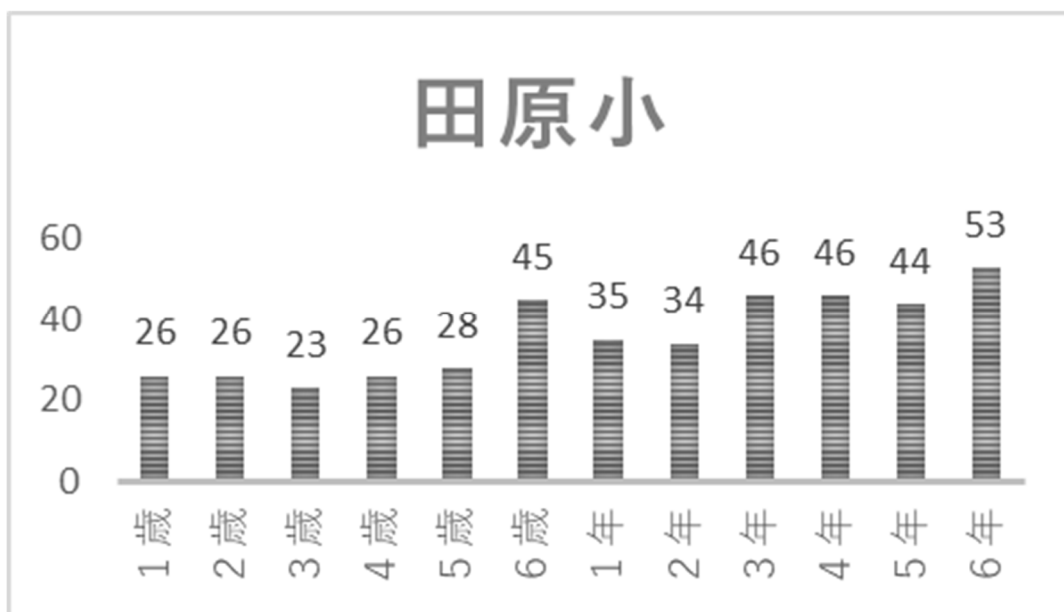
全校児童数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
南ヶ丘小	90	70	71	66	66	62	61

学級数 単学級

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
南ヶ丘小	6	6	6	6	6	6	6

iii 田原小学校



	単学級											
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	1年	2年	3年	4年	5年	6年
田原小	26	26	23	26	28	45	35	34	46	46	44	53

- 小規模校で、2年生から学年1学級になっている。
- 昭和53年度校舎竣工。
- 隣接学校までの距離
桜ヶ丘小学校 3.1km

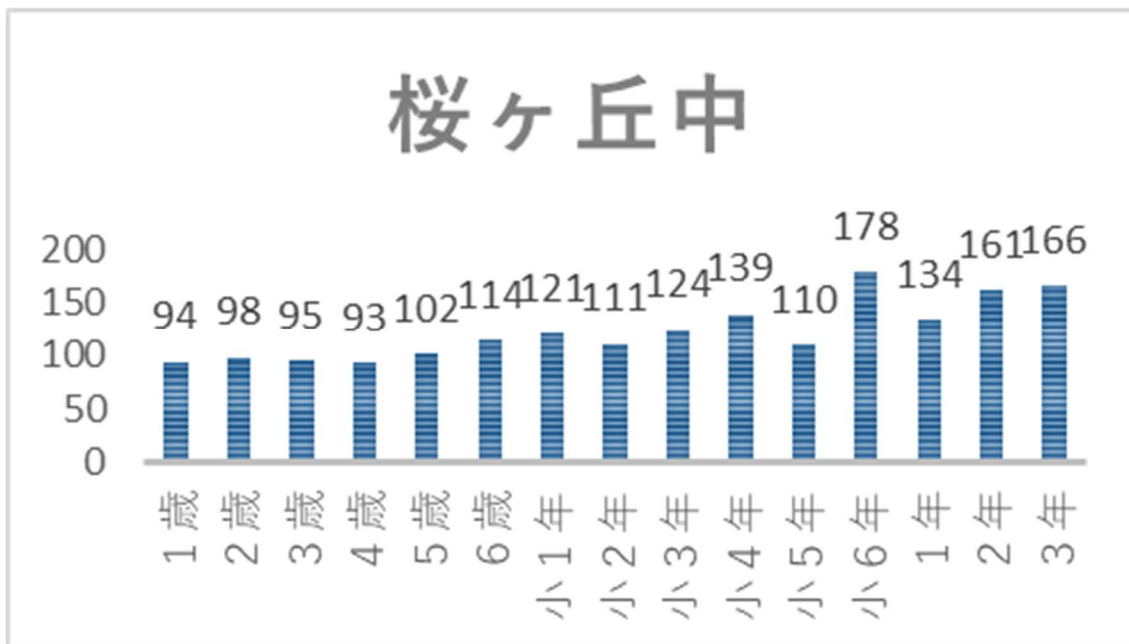
全校児童数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
田原小	258	250	234	214	191	183	174

学級数 単学級

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
田原小	10	10	9	8	7	7	7

iv 桜ヶ丘中学校



	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年
桜ヶ丘中	94	98	95	93	102	114	121	111	124	139	110	178	134	161	166

- 適正規模校で、生徒数は減少していく予定。
- 1学年3学級を当分維持できる。
- 昭和61年度校舎竣工。
- 隣接学校までの距離
旭ヶ丘中学校 2.5km

全校生徒数（人）

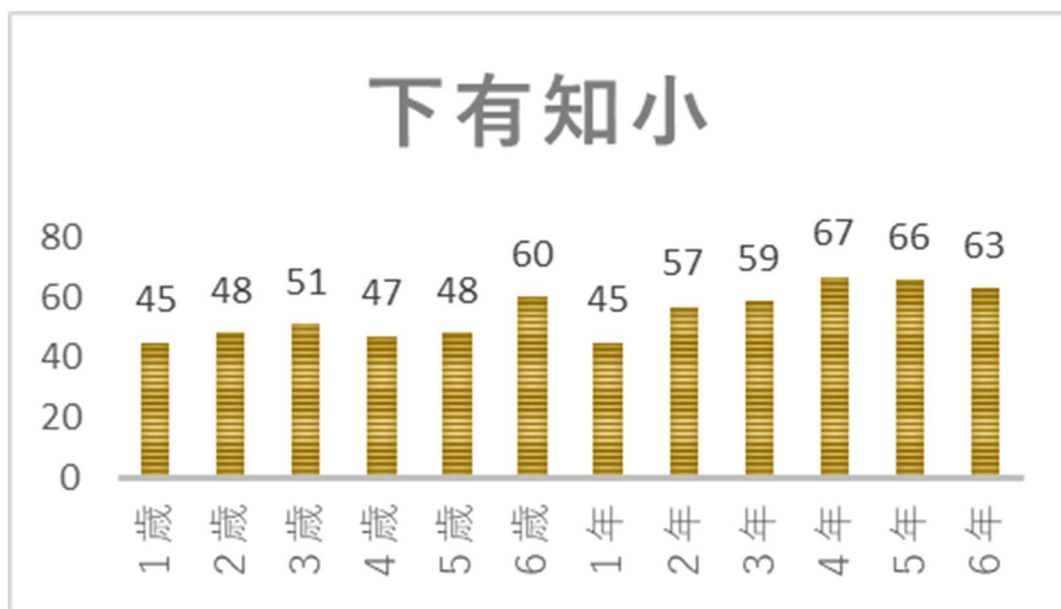
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
桜ヶ丘中	461	473	422	427	373	374	356	346	337	309	290	286	287

学級数

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
桜ヶ丘中	14	15	14	14	12	12	12	12	11	10	9	9	9

④ 下有知中学校区

i 下有知小学校



	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	1年	2年	3年	4年	5年	6年
下有知小	45	48	51	47	48	60	45	57	59	67	66	63

○適正規模校で、児童数は減少していく予定。

○1学年2学級は当面維持できる。

○昭和54年度校舎竣工。

○隣接学校までの距離

瀬尻小学校 2.3km

富野小学校 8.2km

下有知中学校 1.0km

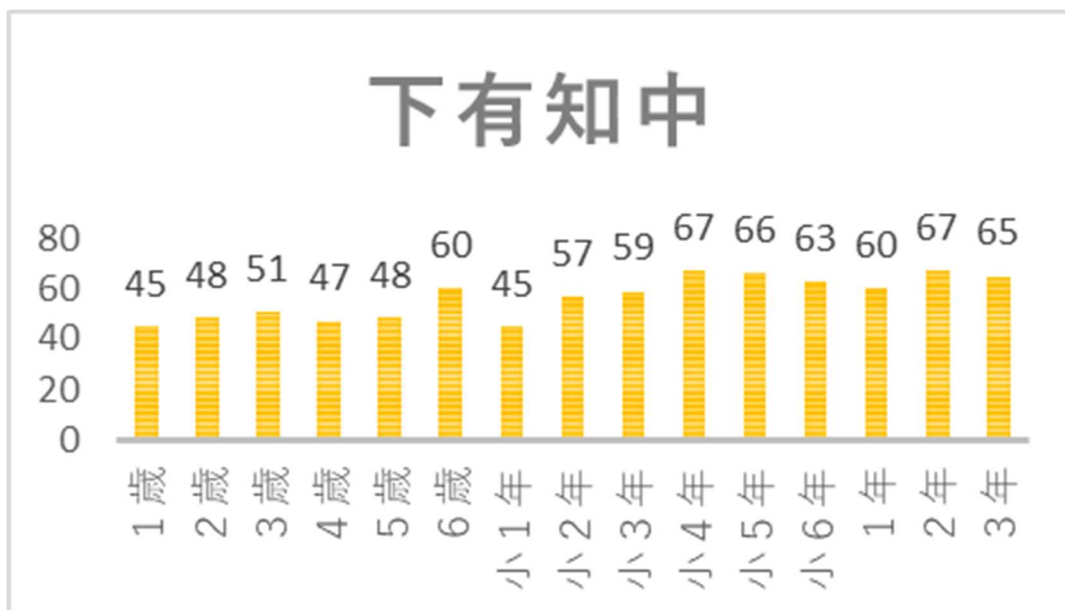
全校児童数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
下有知小	357	354	336	316	308	299	299

学級数

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
下有知小	12	12	12	12	12	12	12

ii 下有知中学校



	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年
下有知中	45	48	51	47	48	60	45	57	59	67	66	63	60	67	65

- 小規模校で、生徒数は減少していく予定。
- 1学年2学級である。
- 免許外教科担任や非常勤講師が必要となっている。
- 昭和55年度校舎竣工。
- 隣接学校までの距離
 緑ヶ丘中学校 3.1km 下有知小学校 1.0km

全校生徒数（人）

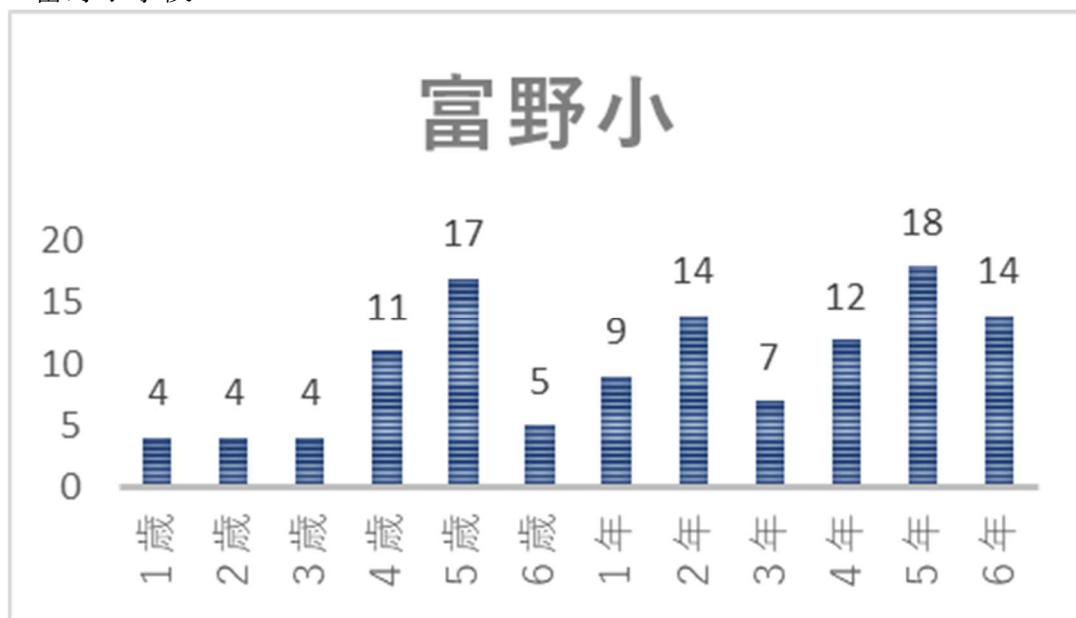
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
下有知中	192	190	189	196	192	183	161	162	153	155	146	146	144

学級数

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
下有知中	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

⑤ 富野中学校区

i 富野小学校



	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	1年	2年	3年	4年	5年	6年
富野小	4	4	4	11	17	5	9	14	7	12	18	14

複式…複式学級は前後の学年児童数と合計して15人以下となる学年

- 小規模校で、児童数は減少していく予定。
- 1学年1学級であり、今後は学年10人以下になる予定。
- 昭和51年度校舎竣工。
- 隣接学校までの距離
 富岡小学校 5.6km 旭ヶ丘小学校 7.4km 富野中学校 0.9km

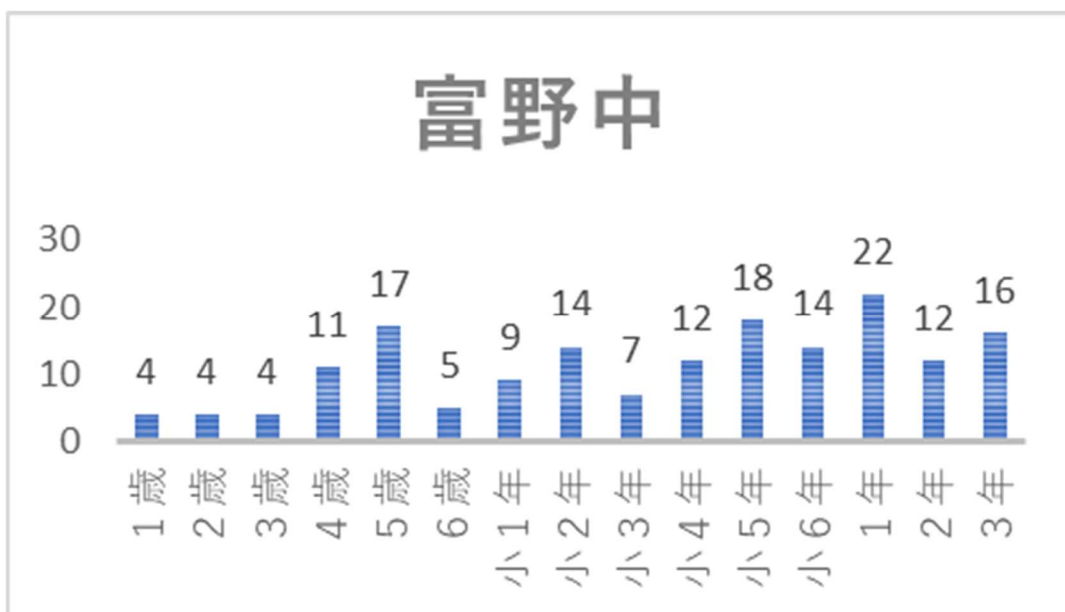
全校児童数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
富野小	74	65	64	63	60	50	45

学級数

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
富野小	6	6	5	5	5	4	4

ii 富野中学校



	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年
富野中	4	4	4	11	17	5	9	14	7	12	18	14	22	12	16

- 小規模校で、生徒数は減少していく予定。
- 1学年1学級で、今後は学年10人以下になる予定。
- 免許外教科担任や非常勤講師が必要となっている。
- 昭和56年度校舎竣工。
- 隣接学校までの距離

旭ヶ丘中学校 7.9km 津保川中学校 10.4km 富野小学校 0.9km

全校児童数（人）

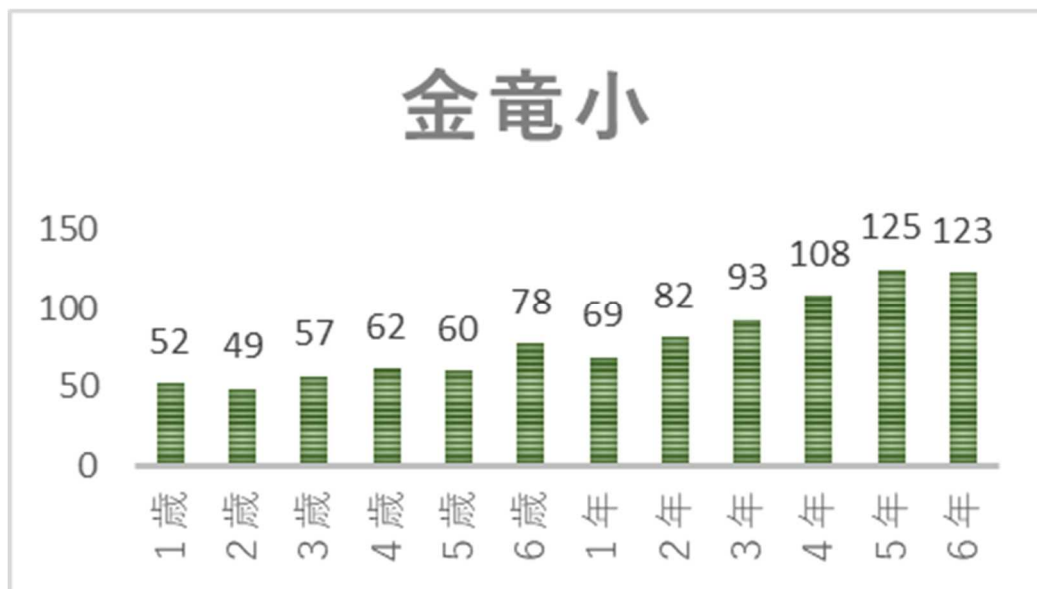
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
富野中	50	48	54	44	37	33	30	28	31	33	32	19	12

学級数 単学級

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
富野中	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

⑥ 小金田中学校区

i 金竜小学校



	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	1年	2年	3年	4年	5年	6年
金竜小	52	49	57	62	60	78	69	82	93	108	125	123

- 大規模校で、児童数は減少して適正校になる予定。
- 1学年2学級は当面維持できる。
- 昭和56年度校舎竣工。
- 隣接学校までの距離
瀬尻小学校 3.9km

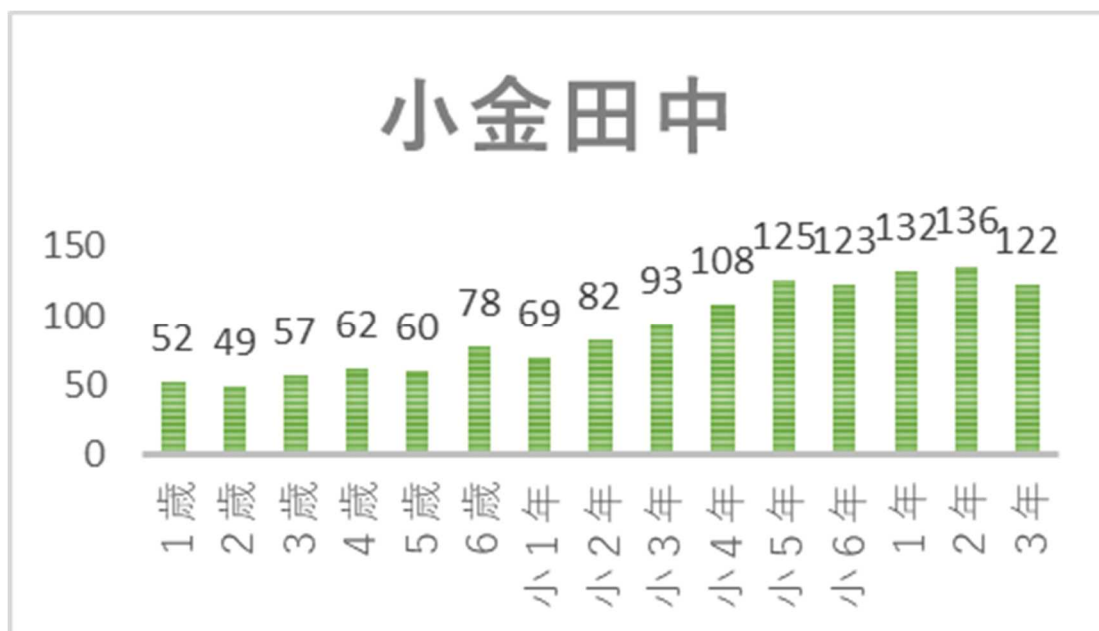
全校児童数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
金竜小	600	555	490	444	408	375	358

学級数

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
金竜小	20	19	17	15	14	13	13

ii 小金田中学校



	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年
小金田中	52	49	57	62	60	78	69	82	93	108	125	123	132	136	122

- 適正規模校で、生徒数は減少していく予定。
- 1学年4学級から1学年2学級になる。
- 1学年2学級では免許外教科担任や非常勤講師が必要となっていく。
- 昭和54年度校舎竣工。
- 隣接学校までの距離
緑ヶ丘中学校 4.7km

全校生徒数（人）

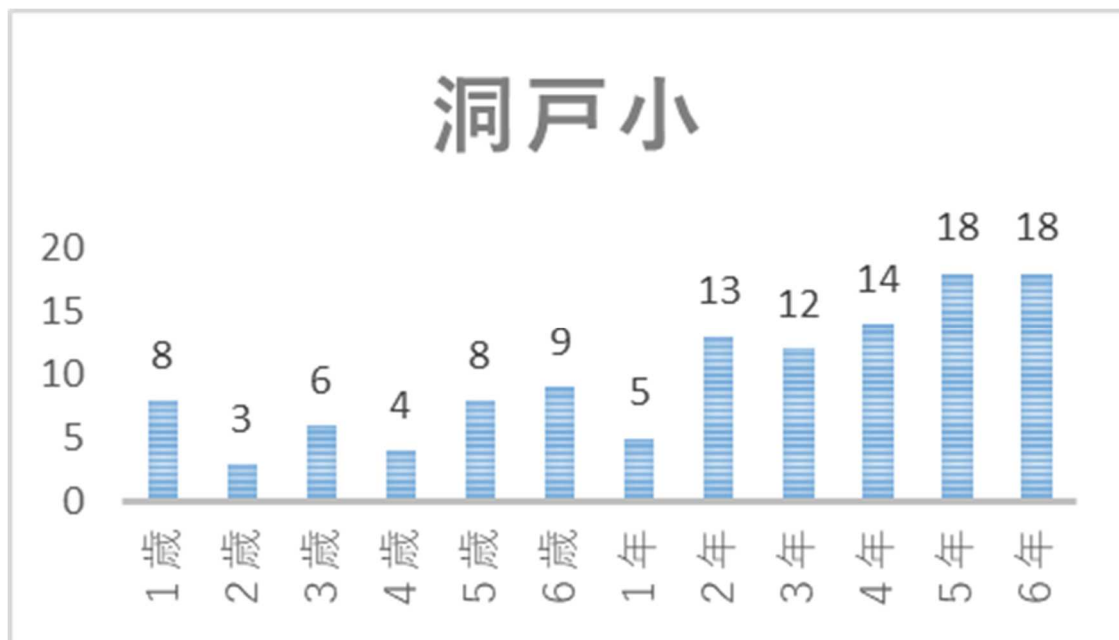
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
小金田中	390	391	380	356	326	283	244	229	207	200	179	168	158

学級数

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
小金田中	12	12	12	12	11	10	8	8	7	7	6	6	6

⑦ 板取川中学校区

i 洞戸小学校



	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	1年	2年	3年	4年	5年	6年
洞戸小	8	3	6	4	8	9	5	13	12	14	18	18

複式…複式学級は前後の学年児童数と合計して15人以下となる学年

- 小規模校で、急激に児童数は減少していく予定。
- 1学年1学級で、今後は学年10人以下になる予定。
- 昭和62年度校舎竣工。
- スクールバス1台所有。
- 隣接学校までの距離
 板取小学校 17.8km 板取川中学校 0.8km 武芸川中学校 13.4km

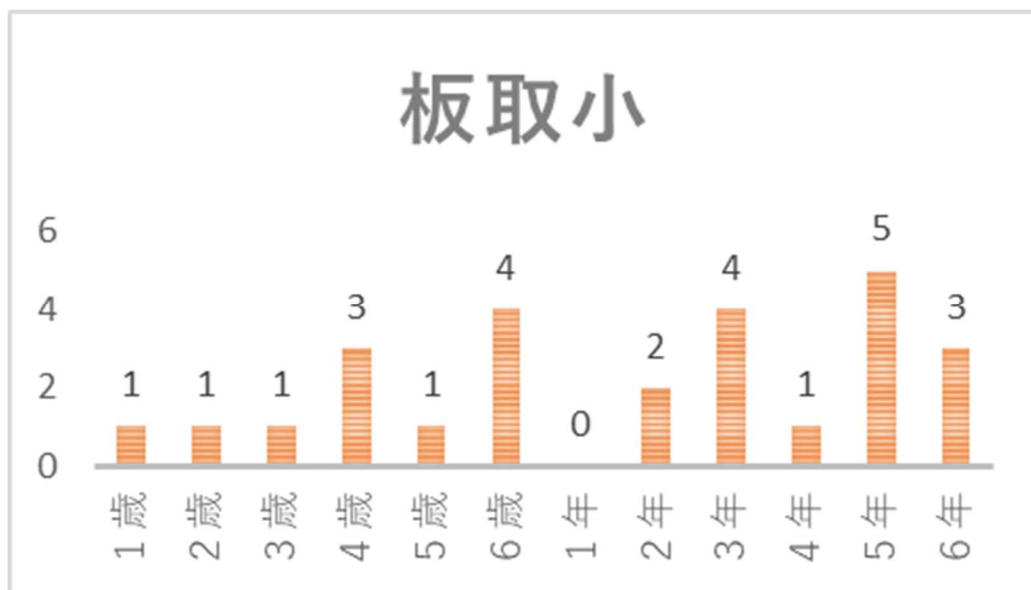
全校児童数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
洞戸小	80	71	61	51	45	35	38

学級数

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
洞戸小	6	6	5	5	4	4	4

ii 板取小学校



	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	1年	2年	3年	4年	5年	6年
板取小	1	1	1	3	1	4	0	2	4	1	5	3

複式…複式学級は前後の学年児童数と合計して15人以下となる学年

- 過小規模校で、児童数は減少していく予定。
- 令和5年度全校3学級（複式2、特支1）で、教頭は不在、事務の配置はあるが、来年度以降は不在になる場合もある。
- 平成8年度校舎竣工。
- スクールバス2台所有。
- 隣接学校までの距離
 洞戸小学校 17.8km 武芸川中学校 30.8km

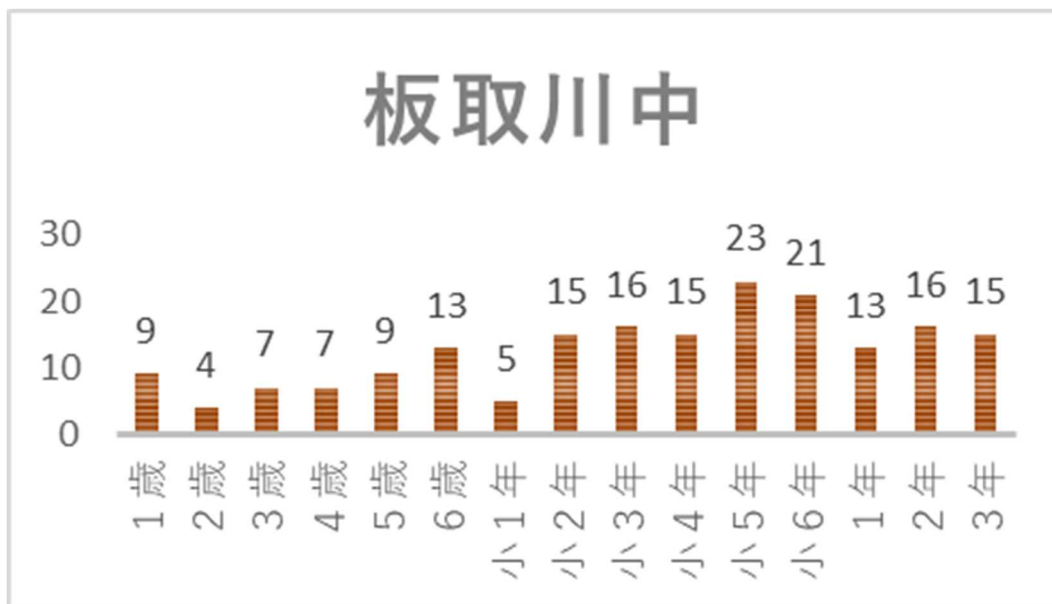
全校児童数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
板取小	15	16	12	14	11	10	11

学級数

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
板取小	3	3	3	3	3	3	3

iii 板取川中学校



	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年
板取川中	9	4	7	7	9	13	5	15	16	15	23	21	13	16	15

- 小規模校で、生徒数は減少していく予定。
- 1学年1学級で、今後は学年10人以下になる予定。
- 免許外教科担任や非常勤講師が必要となっている。
- 昭和41年度校舎竣工。
- スクールバス1台所有。
- 隣接学校までの距離
 洞戸小学校 0.8km 武芸川中学校 14.0km

全校児童数（人）

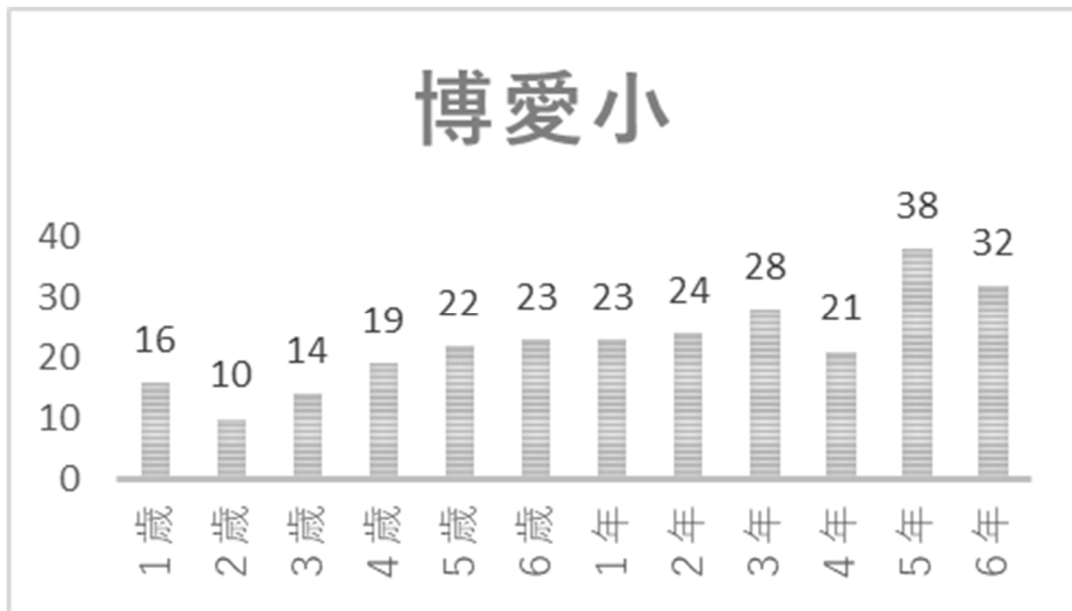
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
板取川中	44	50	57	59	54	46	36	33	27	29	23	18	20

学級数 単学級

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
板取川中	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

⑧ 武芸川中学校区

i 博愛小学校



	単学級											
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	1年	2年	3年	4年	5年	6年
博愛小	16	10	14	19	22	23	23	24	28	21	38	32

- 小規模校で、児童数は減少していく予定。
- 令和5年度5学年以外は1学年1学級であり、今後は学年20人以下になる予定。
- 昭和49年度校舎竣工。
- 隣接学校までの距離
 武芸小学校 4.3km 武芸川中学校 1.7km

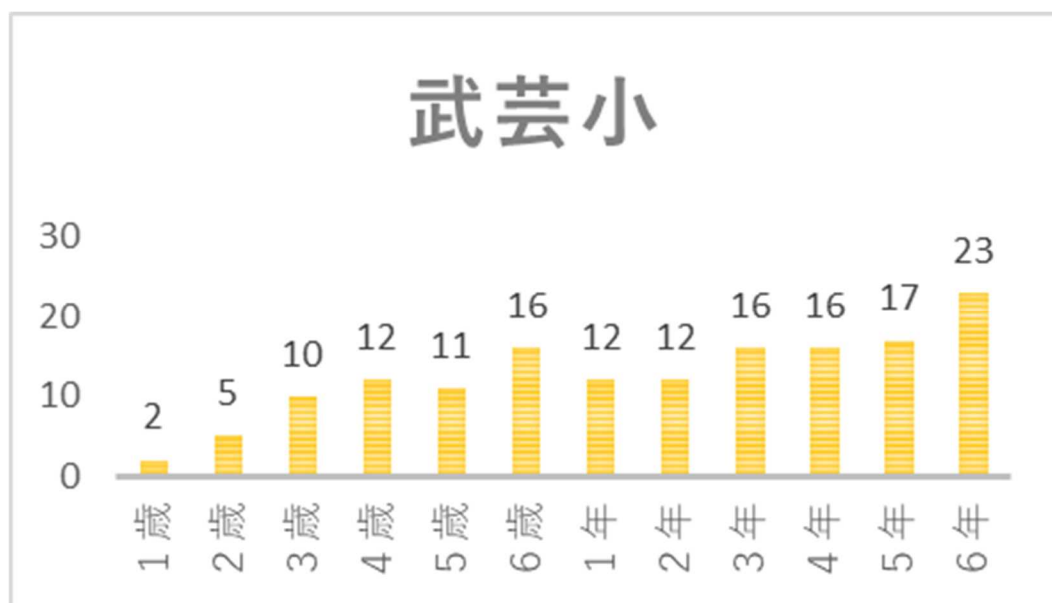
全校児童数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
博愛小	166	157	141	139	125	111	104

学級数 単学級

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
博愛小	7	7	6	6	6	6	6

ii 武芸小学校



	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	1年	2年	3年	4年	5年	6年
武芸小	2	5	10	12	11	16	12	12	16	16	17	23

- 小規模校で、児童数は減少していく予定。
- 令和5年度寺尾小学校と統合。
- 1学年1学級であり、今後は学年15人以下になる予定。
- 昭和55年度校舎竣工。
- スクールバス1台所有。
- 隣接学校までの距離
 武芸川中学校 3.0km 博愛小学校 4.3km

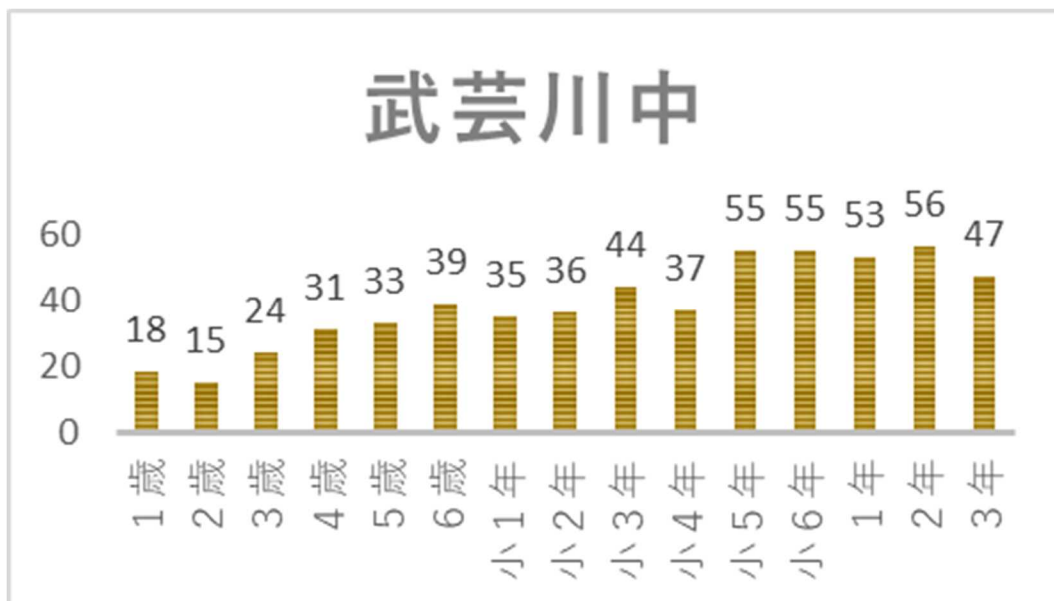
全校児童数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
武芸小	96	89	83	79	73	66	56

学級数

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
武芸小	6	6	6	6	6	6	5

iii 武芸川中学校



	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年
武芸川中	18	15	24	31	33	39	35	36	44	37	55	55	53	56	47

- 小規模校で、生徒数は減少していく予定。
- 1学年2学級から1学級に生徒数は減少していく予定。
- 免許外教科担任や非常勤講師が必要となっている。
- 昭和39年度校舎竣工。
- 寺尾地域の生徒が路線バスで登下校している。
- 隣接学校までの距離
板取川中学校 14.0km 緑ヶ丘中学校 7.7km

全校児童数（人）

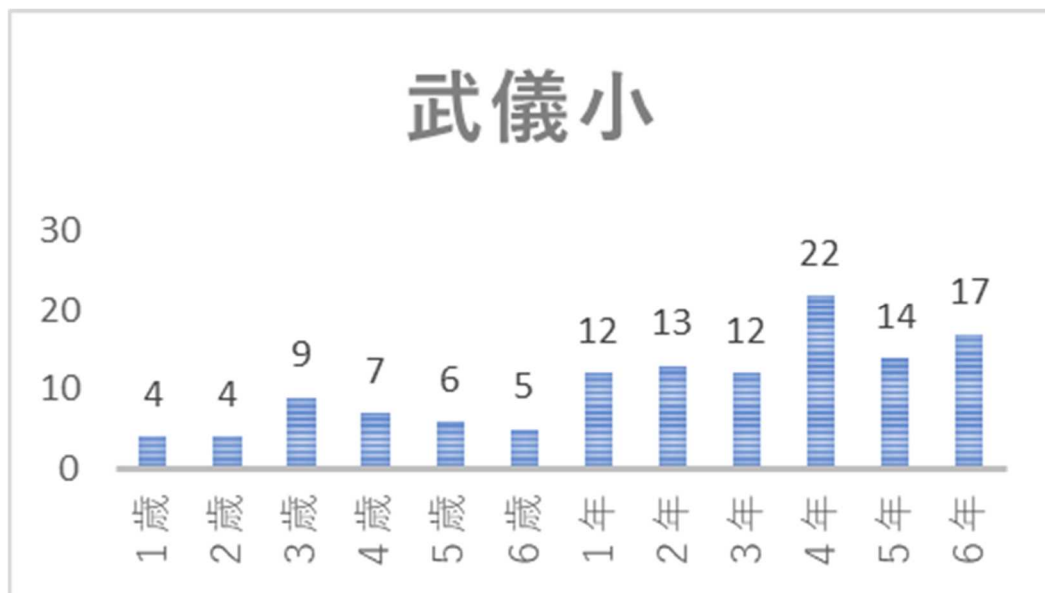
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
武芸川中	156	164	163	147	136	117	115	110	107	103	88	70	57

学級数 単学級

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
武芸川中	6	6	6	6	6	6	5	5	4	4	3	3	3

⑨ 津保川中学校区

i 武儀小学校



	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	1年	2年	3年	4年	5年	6年
武儀小	4	4	9	7	6	5	12	13	12	22	14	17

- 小規模校で、児童数は減少していく予定。
- 1学年1学級であり、今後は学年10人以下になる予定。
- 昭和60年度校舎竣工。
- スクールバス4台所有。
- 隣接学校までの距離
 上之保小学校 5.0km 富野小学校 12.5km 津保川中学校 2.9km

全校児童数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
武儀小	90	78	70	55	52	43	35

学級数

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
武儀小	6	6	6	5	5	5	4

ii 上之保小学校



	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	1年	2年	3年	4年	5年	6年
上之保小	1	0	4	4	5	5	7	2	3	4	9	5

複式

- 過小規模校で、児童数は減少していく予定。
- 令和5年度全校3学級（複式）であり、学年5人以下になる予定。
- 昭和42年度校舎竣工。
- 一部児童が地域バスで登下校している。
- 隣接学校までの距離
 武儀小学校 5.0km 富野小学校 16.9km 津保川中学校 7.2km

全校児童数（人）

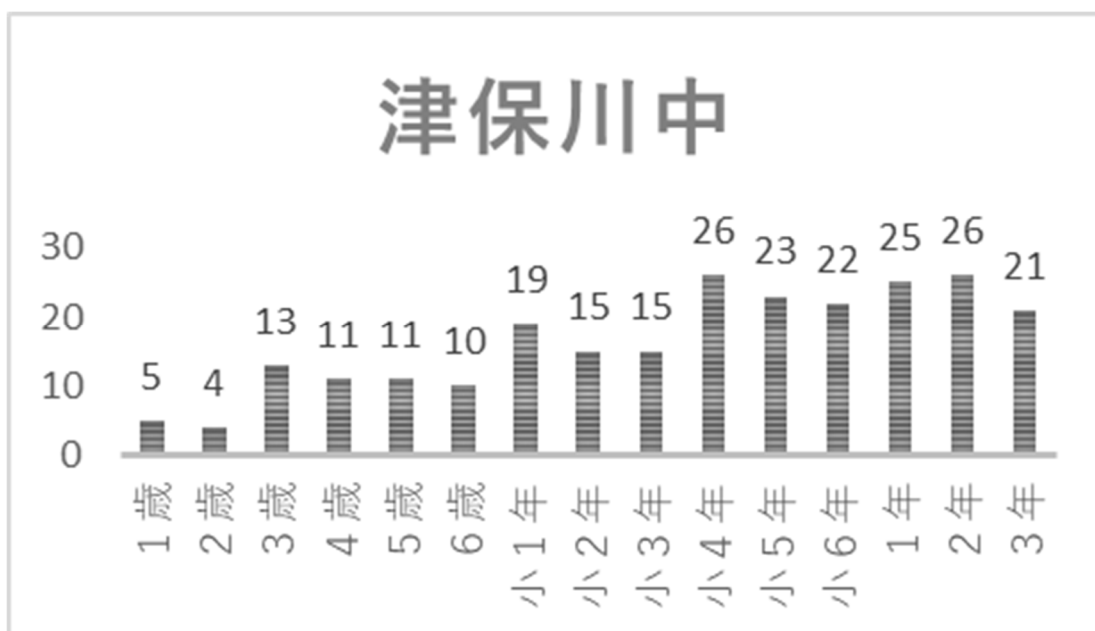
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
上之保小	30	30	26	26	27	25	19

学級数

複式

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
上之保小	4	4	4	4	3	3	3

iii 津保川中学校



単学級

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年
津保川中	5	4	13	11	11	10	19	15	15	26	23	22	25	26	21

- 小規模校で、生徒数は減少していく予定。
- 1学年1学級であり、今後は学年15人以下になる予定。
- 免許外教科担任や非常勤講師が必要になっている。
- 昭和43年度校舎竣工。
- スクールバス3台所有。
- 隣接学校までの距離
富野中学校 10.4km

全校児童数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
津保川中	72	73	70	71	64	56	49	44	40	32	35	28	22

学級数 単学級

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
津保川中	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

4. 学校規模適正化にあたり

(1) 学校規模適正化基本方針

関市学校規模適正化審議会の答申を踏まえて、以下を適正化基本方針とします。

- ① 子どもたちの多様性を尊重し、豊かな心を身に付ける。
個別最適な学びと協働的な学びを通して、確かな学力を身に付ける。
ふるさと教育や地域とのかかわりを通して、社会性を身に付ける。
これらを学校教育で実現する観点から、「関市学校規模適正化計画」を策定し、望ましい学校規模の適正化を進めます。
- ② 国の適正規模・適正配置の要件をそのまま関市に当てはめることは、山間部など地理的要因等により、望ましい通学距離、通学時間を超える場合があるため困難であると考えます。
- ③ 適正規模・適正配置の要件としては、市内一律で決めるのではなく、地理的要因等を加味し、地域の状況に応じ、検討を進めます。
- ④ 既存の学校施設を活用することを基本とし、既存の学校施設の規模が不足する場合は、施設拡充により対応することも検討します。
- ⑤ 児童生徒数の増減により、必要に応じ計画の見直しを行います。

(2) 学校規模適正化への方策

① 学校再編を行う基準

小学校は複式学級、中学校は単学級（学年35人以下）が見込まれる年度までに学校再編をすることが望ましいが、学校施設等が整っていることが前提となります。

② 学校選択制

学校選択制については、従来の通学区域は残したままで、隣接する区域内の希望する学校に就学できる「隣接区域選択制」を市全域で採用します。ただし、学校施設の状況、就学予定者の人数等を踏まえ、受入可能人数を設定した上で、児童生徒のみで安全に通学できることが条件となります。

選択の申請については、新一年生になる前年の8月頃を申請期限と定め、制度実施初年度については、在校生においても実施予定とします。

また、「小規模特認校制」については、保護者や地域の要望のもと、小学校に採用できるようにします。ただし、「小規模特認校制」採択の小学校が、翌年度以降に学校再編される場合があります。

③ 再編形態

小学校同士、中学校同士の学校再編を原則とします。地理的要因等により、小学校同士、中学校同士の学校再編の適正化が難しい地域には、小学校と中学校で再編する「義務教育学校」を採用します。

④ 通学手段

再編に伴う遠距離通学の緩和を図るため、スクールバス等を運行します。

⑤ その他

学校再編を行う基準にならない小規模校についても、積極的に適正規模になるように進めます。

(3) 学校規模適正化に向けての取組

学校規模適正化を進めるにあたっては、望ましい学校規模とすることに加え、今後の児童生徒数の推移、そして地域とのかかわり、歴史的なつながりを考慮しつつ、保護者等の意向を十分に考え、地域状況等を含め総合的に判断する必要があります。

そのため、児童生徒に良好な教育環境を整えることに着眼し、保護者をはじめ地域住民等と協議しながら、適正化に向けて取り組みます。

①緑ヶ丘中学校区

- ・緑ヶ丘中・・・大規模校、適正規模校に生徒数は減少する予定
- ・安桜小・・・適正規模校
- ・瀬尻小・・・適正規模校
- ・倉知小・・・適正規模校

学年人数（人）

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年
緑ヶ丘中	143	149	138	164	170	172	189	192	180	186	187	200	221	211	233
安桜小	48	60	47	60	67	67	66	72	68	76	58	95			
瀬尻小	51	41	45	55	51	41	75	50	61	65	73	71			
倉知小	57	62	60	59	74	75	61	85	63	62	68	60			

◎今後の進め方

○安桜小学校区内の中学校区の変更

現在、安桜小校区は緑ヶ丘中に進学しますが、前山、赤尾、稲口地区のみ、中学進学先は桜ヶ丘中となっています。
 学校区境界を変更し、安桜小校区の進学先を全て緑ヶ丘中とします。
 桜ヶ丘小及び桜ヶ丘中への通学を希望する場合は、学校選択制（隣接区域選択制）を用います。

○南ヶ丘小の規模適正化にむけて

南ヶ丘小は地域の歴史的なつながりから、倉知小の校舎建て替えに合わせて、倉知小と再編します。
 その場合、中学校の進学先は緑ヶ丘中となりますが、桜ヶ丘中への通学を希望する場合は、学校選択制（隣接区域選択制）を用います。
 南ヶ丘小から倉知小への通学は、スクールバス等で対応します。

○全ての学校に学校選択制（隣接区域選択制）を用います。

全校児童生徒数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
緑ヶ丘中	665	632	608	573	553	558	561	553	531	506	472	451	430
安桜小	435	407	416	400	379	367	349						
瀬尻小	395	365	343	333	317	308	284						
倉知小	399	414	420	417	414	391	387						

小中学校学級数

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
緑ヶ丘中	21	20	19	18	18	18	18	17	16	15	14	14	14
安桜小	15	14	14	13	13	12	12						
瀬尻小	15	14	13	13	13	13	12						
倉知小	13	14	15	15	15	14	14						

②旭ヶ丘中学校区

- ・旭ヶ丘中・・・適正規模校
- ・旭ヶ丘小・・・適正規模校、小規模校に児童数は減少する予定
- ・富岡小・・・適正規模校

学年人数（人）													1学級		
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年
旭ヶ丘中	78	89	83	114	91	108	119	118	122	148	119	147	127	151	129
旭ヶ丘小	30	33	30	44	33	40	55	37	52	71	47	66			
富岡小	48	56	53	70	58	68	64	81	70	77	72	81			

◎今後の進め方

○旭ヶ丘小の規模適正化に向けて

旭ヶ丘小は富野小と再編します。（学校間距離 7.4 km）

富野小から旭ヶ丘小に通学となる地域には、スクールバス等で対応します。

○富野中の規模適正化に向けて

富野中は旭ヶ丘中と再編します。（学校間距離 7.9 km）

富野中から旭ヶ丘中に通学となる地域には、スクールバス等で対応します。

○全ての学校に学校選択制（隣接区域選択制）を用います。

全校児童生徒数（人）													
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
旭ヶ丘中	407	425	393	414	389	388	359	345	318	313	288	286	250
旭ヶ丘小	328	302	288	261	239	235	210						
富岡小	445	432	418	411	394	369	353						

小中学校学級数													1学級	
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	
旭ヶ丘中	13	14	13	14	13	13	12	12	11	11	10	10	9	
旭ヶ丘小	13	13	12	11	10	9	8							
富岡小	16	15	14	13	13	12	12							

③桜ヶ丘中学校区

- ・桜ヶ丘中・・・適正規模校
- ・桜ヶ丘小・・・適正規模校
- ・南ヶ丘小・・・小規模校、1学年1学級
- ・田原小・・・小規模校、1学年1学級になる予定

学年人数（人）													1学級		
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年
桜ヶ丘中	94	98	95	93	102	114	121	111	124	139	110	178	134	161	166
桜ヶ丘小	43	51	49	45	41	48	60	51	57	59	44	69			
南ヶ丘小	12	7	9	12	11	10	13	11	9	17	10	30			
田原小	26	26	23	26	28	45	35	34	46	46	44	53			

◎今後の進め方

○南ヶ丘小の規模適正化に向けて

南ヶ丘小は地域の歴史的なつながりから、倉知小の校舎建て替えに合わせて、倉知小と再編します。

その場合、中学校の進学先は緑ヶ丘中となりますが、桜ヶ丘中への通学を希望する場合は、学校選択制（隣接区域選択制）を用います。

南ヶ丘小から倉知小への通学は、スクールバス等で対応します。

○桜ヶ丘中学校区の変更

安桜小校区の前山、赤尾、稲口地区の学校区境界を変更し、緑ヶ丘中とします。桜ヶ丘中への通学を希望する場合は、学校選択制（隣接区域選択制）を用います。

○全ての学校に学校選択制（隣接区域選択制）を用います。

全校児童生徒数（人）													
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
桜ヶ丘中	461	473	422	427	373	374	356	346	337	309	290	286	287
桜ヶ丘小	340	319	316	302	294	294	277						
南ヶ丘小	90	70	71	66	66	62	61						
田原小	258	250	234	214	191	183	174						

小中学校学級数								1学級						
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	
桜ヶ丘中	14	15	14	14	12	12	12	12	11	10	9	9	9	
桜ヶ丘小	12	12	12	12	12	12	12							
南ヶ丘小	6	6	6	6	6	6	6							
田原小	10	10	9	8	7	7	7							

④下有知中学校区

- ・下有知中・・・小規模校、1学年2学級
- ・下有知小・・・適正規模校

学年人数（人）

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年
下有知中	45	48	51	47	48	60	45	57	59	67	66	63	60	67	65
下有知小	45	48	51	47	48	60	45	57	59	67	66	63			

◎今後の進め方

学校規模適正化の計画はないが、全ての学校に学校選択制（隣接区域選択制）を用います。

全校児童生徒数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
下有知中	192	190	189	196	192	183	161	162	153	155	146	146	144
下有知小	357	354	336	316	308	299	299						

小中学校学級数

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
下有知中	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
下有知小	12	12	12	12	12	12	12						

⑤富野中学校区

- ・富野中・・・単学級
- ・富野小・・・複式学級予定

	学年人数（人）															
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年	
富野中	4	4	4	11	17	5	9	14	7	12	18	14	22	12	16	
富野小	4	4	4	11	17	5	9	14	7	12	18	14				

複式…複式学級は前後の学年児童数と合計して15人以下となる学年

◎今後の進め方

○富野中の規模適正化に向けて

富野中は旭ヶ丘中と再編します。（学校間距離 7.9 km）

富野中から旭ヶ丘中に通学となる地域には、スクールバス等に対応します。

○富野小の規模適正化に向けて

富野小は旭ヶ丘小と再編します。（学校間距離 7.4 km）

ただし、保護者や地域の要望が強ければ、小規模特認校制を採用して、期間を決めて継続します。

富野小から旭ヶ丘小に通学となる地域には、スクールバス等に対応します。

○全ての学校に学校選択制（隣接区域選択制）を用います。

全校児童生徒数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
富野中	50	48	54	44	37	33	30	28	31	33	32	19	12
富野小	74	65	64	63	60	50	45						

小中学校学級数

								1学級			複式		
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
富野中	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
富野小	6	6	5	5	5	4	4						

⑥小金田中学校区

- ・小金田中・・・適正規模校
- ・金竜小・・・大規模校、適正規模校に児童数減少する予定

学年人数（人）

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年
小金田中	52	49	57	62	60	78	69	82	93	108	125	123	132	136	122
金竜小	52	49	57	62	60	78	69	82	93	108	125	123			

◎今後の進め方

学校規模適正化の計画はないが、全ての学校に学校選択制（隣接区域選択制）を用います。

全校児童生徒数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
小金田中	390	391	380	356	326	283	244	229	207	200	179	168	158
金竜小	600	555	490	444	408	375	358						

小中学校学級数

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
小金田中	12	12	12	12	11	10	8	8	7	7	6	6	6
金竜小	20	19	17	15	14	13	13						

⑦板取川中学校区

- ・板取川中・・・単学級
- ・洞戸小・・・複式学級予定
- ・板取小・・・複式学級

	学年人数（人）											1学級			複式		
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年		
板取川中	9	4	7	7	9	13	5	15	16	15	23	21	13	16	15		
洞戸小	8	3	6	4	8	9	5	13	12	14	18	18					
板取小	1	1	1	3	1	4	0	2	4	1	5	3					

複式…複式学級は前後の学年児童数と合計して15人以下となる学年

◎今後の進め方

○板取川中、洞戸小、板取小の規模適正化に向けて

小中3校による義務教育学校とします。

ただし、保護者等の要望があれば、小学校2校による再編を先行します。

また、義務教育学校になる前の小学校に地域や学校が希望すれば、小規模特認校制を採用します。

遠距離通学となる地域には、スクールバス等に対応します。

○全ての学校に学校選択制（隣接区域選択制）を用います。

全校児童生徒数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
板取川中	44	50	57	59	54	46	36	33	27	29	23	18	20
洞戸小	80	71	61	51	45	35	38						
板取小	15	16	12	14	11	10	11						

小中学校学級数

	小中学校学級数							1学級			複式		
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
板取川中	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
洞戸小	6	6	5	5	4	4	4						
板取小	3	3	3	3	3	3	3						

⑧武芸川中学校区

- ・武芸川中・・・単学級予定
- ・博愛小・・・単学級
- ・武芸小・・・複式学級予定

	学年人数(人)							1学級					複式		
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年
武芸川中	18	15	24	31	33	39	35	36	44	37	55	55	53	56	47
博愛小	16	10	14	19	22	23	23	24	28	21	38	32			
武芸小	2	5	10	12	11	16	12	12	16	16	17	23			

複式…複式学級は前後の学年児童数と合計して15人以下となる学年

◎今後の進め方

○武芸川中、博愛小、武芸小の規模適正化に向けて

小中3校による義務教育学校とします。

ただし、令和5年度に武芸小が再編しているため、できれば令和10年度以降の再編とします。

また、義務教育学校になる前の小学校に地域や学校が希望すれば、小規模特認校制を採用します。

遠距離通学となる地域には、スクールバス等に対応します。

○全ての学校に学校選択制（隣接区域選択制）を用います。

全校児童生徒数(人)

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
武芸川中	156	164	163	147	136	117	115	110	107	103	88	70	57
博愛小	166	157	141	139	125	111	104						
武芸小	96	89	83	79	73	66	56						

小中学校学級数

	小中学校学級数							1学級					複式		
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17		
武芸川中	6	6	6	6	6	6	5	5	4	4	3	3	3		
博愛小	7	7	6	6	6	6	6								
武芸小	6	6	6	6	6	6	5								

⑨津保川中学校区

- ・津保川中・・・単学級
- ・武儀小・・・複式学級予定
- ・上之保小・・・複式学級

	学年人数（人）						1学級						複式		
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年
津保川中	5	4	13	11	11	10	19	15	15	26	23	22	25	26	21
武儀小	4	4	9	7	6	5	12	13	12	22	14	17			
上之保小	1	0	4	4	5	5	7	2	3	4	9	5			

複式…複式学級は前後の学年児童数と合計して15人以下となる学年

◎今後の進め方

○津保川中、武儀小、上之保小の規模適正化に向けて

小中3校による義務教育学校とします。

ただし、保護者等の要望があれば、小学校2校による再編を先行します。

また、令和2年度に武儀小が再編しているため、できれば令和9年度以降の再編とします。

義務教育学校になる前の小学校に地域や学校が希望すれば、小規模特認校制を採用します。

遠距離通学となる地域には、スクールバス等で対応します。

○全ての学校に学校選択制（隣接区域選択制）を用います。

全校児童生徒数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
津保川中	72	73	70	71	64	56	49	44	40	32	35	28	22
武儀小	90	78	70	55	52	43	35						
上之保小	30	30	26	26	27	25	19						

小中学校学級数

								1学級			複式		
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
津保川中	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
武儀小	6	6	6	5	5	5	4						
上之保小	4	4	4	4	3	3	3						

(4) 学校規模適正化取組完了後の学校数

現在の26校から17校に集約されることになります。

令和5年度現在規模による表記

○小学校（全9校）

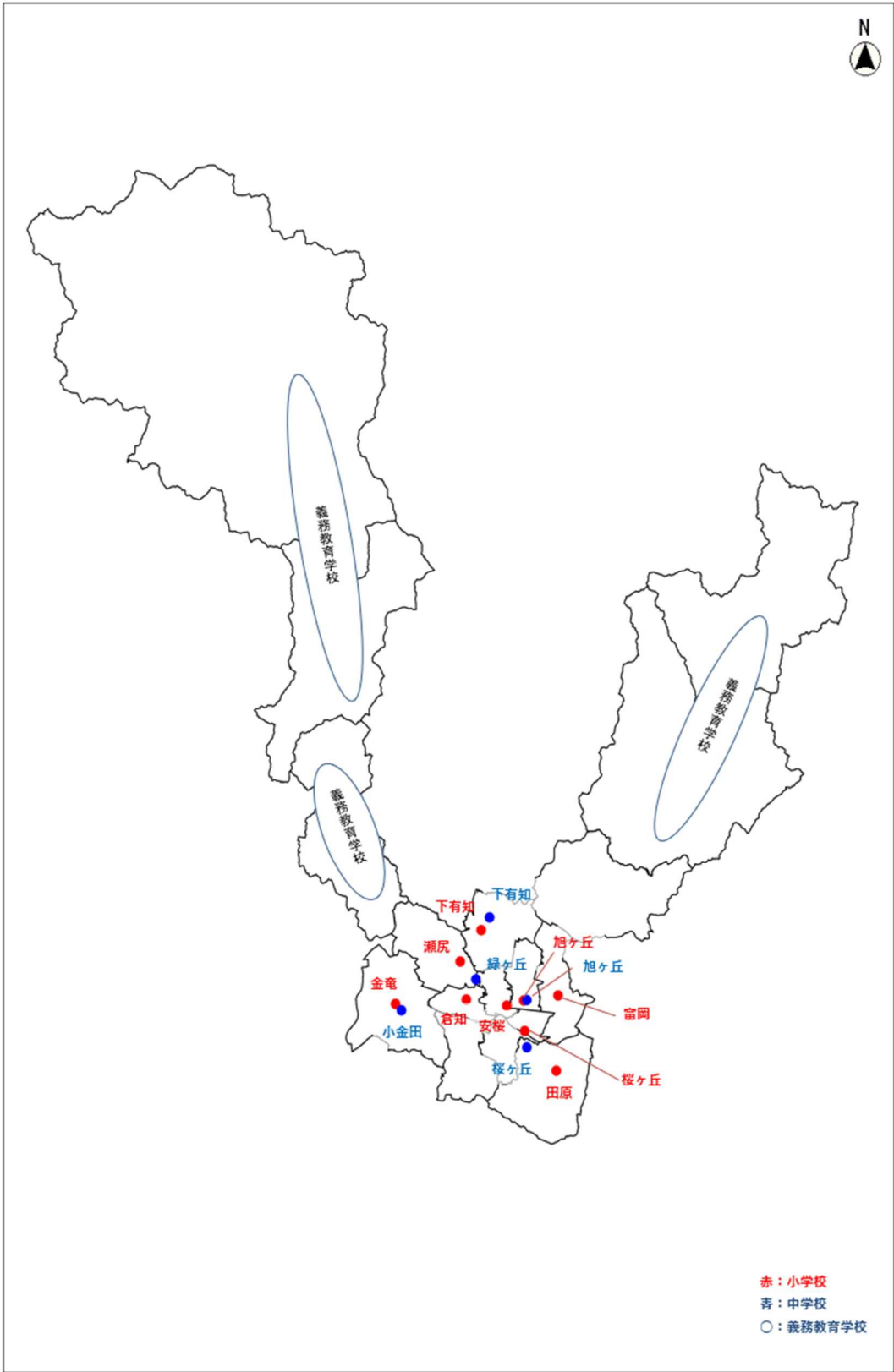
小規模校 (6～11学級)	適正規模校 (12～18学級)	大規模校 (19～30学級)
田原小	安桜小 旭ヶ丘小<+富野小> 桜ヶ丘小 瀬尻小 倉知小 <+南ヶ丘小> 富岡小 下有知小	金竜小
1校	7校	1校

○中学校（全5校）

小規模校 (3～8学級)	適正規模校 (9～18学級)	大規模校 (19～30学級)
下有知中	旭ヶ丘中 <+富野中> 桜ヶ丘中 小金田中	緑ヶ丘中
1校	3校	1校

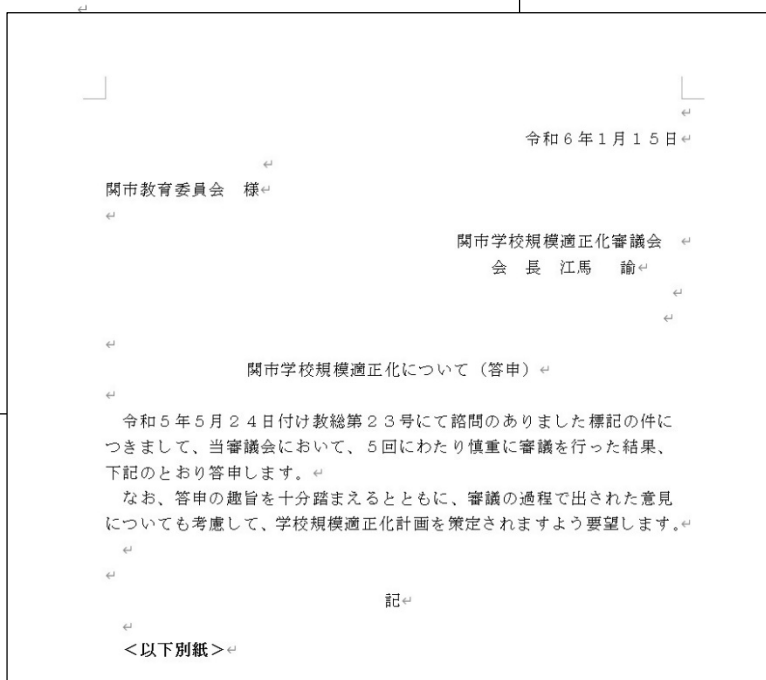
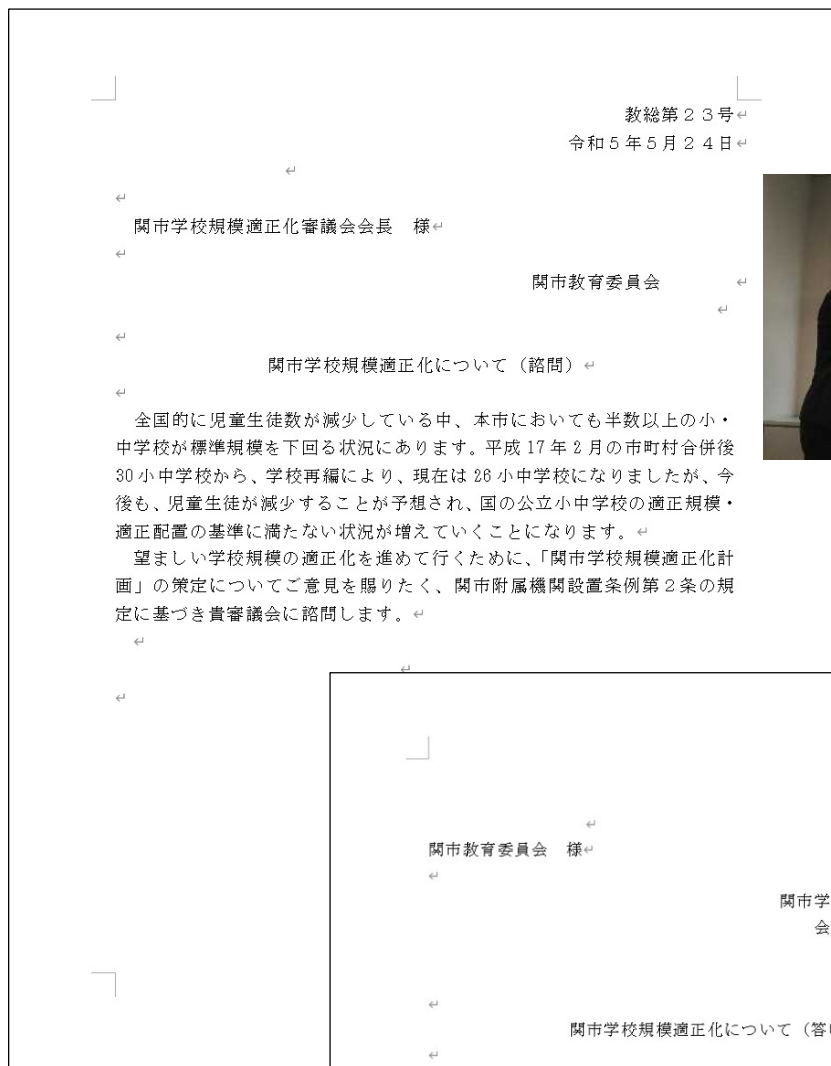
○義務教育学校（全3校）

- ・板取川中校区に<板取川中・洞戸小・板取小>
- ・武芸川中校区に<武芸川中・博愛小・武芸小>
- ・津保川中校区に<津保川中・武儀小・上之保小>



<資 料>

1. 諮問書、答申書



1. 関市学校規模適正化基本方針

- ①子どもたちの多様性を尊重し、豊かな心を身に付ける。
個別最適な学びと協働的な学びを通して、確かな学力を身に付ける。
ふるさと教育や地域との関りを通して、社会性を身に付ける。
これらを学校教育で実現する観点から、「関市学校規模適正化計画」を策定し、望ましい学校規模の適正化を進める。
- ②国の適正規模・適正配置の要件をそのまま関市に当てはめることは、山間部など地理的要因等により、望ましい通学距離、通学時間を超える場合があるため困難であるとする。
- ③関市の適正規模・適正配置の要件としては、市内一律で決めるのではなく、地理的要因などを加味し、地域の状況に応じ、検討を進める。
- ④既存の学校施設を活用することを基本とし、既存の学校施設の規模が不足する場合は、施設拡充により対応することも検討する。
- ⑤関市の児童生徒数の増減により、必要に応じ計画は見直しを行う。

2. 学校規模適正化実施

- ①学校再編基準
小学校は複式学級、中学校は単クラス（学年35人以下）が見込まれる年度までの学校再編実施が望ましいが、学校施設等が整っていることを前提とする。
- ②再編形態
小学校同士、中学校同士の学校再編を原則とするが、地理的要因等により、小学校同士、中学校同士の学校再編では適正化が難しい地域もある。そのような地域には、小学校と中学校で再編する「義務教育学校」を採用する。
- ③通学手段
再編に伴う遠距離通学の緩和を図るため、スクールバス等を運行する。
- ④学校選択制
学校選択制については、従来の通学区域は残したままで、隣接する区域内の希望する学校に就学できる「隣接区域選択制」を市全域で採用する。
また、保護者や地域の希望により「小規模特認校制」を小学校が採用できるようにする。
- ⑤その他
学校再編基準になっていない小規模校においても、積極的に適正規模になるように検討していく。

※国の学校適正規模・適正配置の要件（望ましい規模）

児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通して、一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、小・中学校では一定の集団規模が確保されていることが望ましい。

- 小学校・・・クラス替えができる1学年2学級以上
 - 中学校・・・免許外指導をなくす9学級以上（教諭：14名）
 - 通学距離・・・小4km、中6km 約1時間以内（スクールバス）
- ～文科省：H27公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引～

※義務教育学校

一人の校長と一つの教職員組織が9年間の学校教育目標を決め、一貫した教育を行う。2016年から制度化された新たな学校種。修業年限は9年間で、小・中学校の学習指導要領を準用した教育課程を実施。施設の一部・分離を問わず設置可能。

※隣接区域選択制

居住地によって、入学する学校を指定される「学区制」に対し、自由に選べる「学校選択制」制度の1つ。従来の通学区域は残したままで、隣接する区域内の希望する学校に就学できる。ただし、学校施設の状況、就学子定者の人数等を踏まえ、受入可能人数を設定した上で、児童生徒のみで安全に通学できることを条件とする。

※小規模特認校制

「学校選択制」制度の1つ。少人数の小学校で、自然環境の活用や地域住民との交流など、特色ある学校経営を行っている学校を教育委員会が指定する。保護者が、安全な交通手段により児童生徒を通学させることができ、通学に要する経費を負担することで、他の通学区域からの通学を許可する制度。

3. 学校規模適正化数値

児童生徒数…令和5年4月1日現在基本本を根による

①板取川中学校区

板取川中・・・単学級 瀬戸小・・・複式学級
板取小・・・複式学級

学年	1学期												2学期	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年
板取川中	9	4	7	7	9	13	2	15	16	15	21	15	16	15
瀬戸小	8	3	6	6	8	9	3	13	12	14	18	18		
板取小	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

複式…複式学級は前後の学年児童数と合計して15人以下となる学年

国の適正規模にするには、小学校の再編には板取小、瀬戸小に加え武芸小を加えても、適正規模の要件を満たさない可能性が高い。板取小と武芸小の距離は3.0km、中学校再編には武芸川中と再編しても、適正規模の要件を満たさない可能性が高い。

- 小・中学校による義務教育学校とする。
※保護者や地域の要望があれば、小学校2校による再編を先行する。
遠距離通学となる地域には、スクールバス等に対応する。
- 小学校に小規模特認校制を採用することで、市内全域から児童が就学できる。

学年	全校児童生徒数（人）																
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17				
板取川中	44	50	57	59	54	68	36	33	27	29	23	18	20				
瀬戸小	89	71	61	61	60	39	39										
板取小	15	16	12	14	11	10	11										

学年	小中学校学級数												1学期		2学期	
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17			
板取川中	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3			
瀬戸小	6	6	5	5	4	4	4									
板取小	3	3	3	3	3	3	3									

学校規模適正化計画

②津保川中学校区

津保川中・・・単学級 上之保小・・・複式学級
武蔵小・・・複式学級予定

	学年人数(人)													
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小1	小2	小3	小4	小5	1年	2年	3年
津保川中	5	4	13	11	11	19	19	15	15	20	22	25	20	21
武蔵小	4	3	3	1	9	3	13	13	17	17	14	17		
上之保小	1	0	4	4	3	3	2	2	4	3	4			

複式・複式学級は前後の学年児童数と合計して15人以下となる学年

国の適正規模にするには、小学校の再編には武蔵小、上之保小に加え富野小を加えても適正規模の要件を満たさない可能性が高い。上之保小と富野小の距離は1.7km。中学校再編には富野中と再編しても、適正規模の要件を満たさない可能性が高い。

- 小中3校による義務教育学校とする。
※保護者や地域の要望があれば、小学校2校による再編を先行する。
ただし、令和2年度に武蔵小が再編しているため、小学校再編はできれば令和9年度以降が望ましい。
遠距離通学となる地域には、スクールバス等で対応する。
- 小学校に小規模特認校制を採用することで、市内全域から児童が就学できる。

	全校児童生徒数(人)																
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17				
津保川中	72	73	70	71	64	66	49	44	40	37	35	18	20				
武蔵小	90	79	70	65	52	43	35										
上之保小	30	30	26	26	27	25	19										

	小中学校学級数																
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17				
津保川中	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3				
武蔵小	6	6	6	5	5	5	4										
上之保小	4	4	4	4	3	3	3										

学校規模適正化計画

③武芸川中学校区

武芸川中・・・単学級予定 博愛小・・・単学級
武芸小・・・複式学級予定

	学年人数(人)													
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小1	小2	小3	小4	小5	1年	2年	3年
武芸川中	18	18	24	21	23	29	25	26	44	27	55	55	53	47
博愛小	14	10	14	10	22	23	24	28	25	38	32			
武芸小	6	3	10	12	11	22	12	13	26	18	17	22		

複式・複式学級は前後の学年児童数と合計して15人以下となる学年

国の適正規模にするには、小学校同士、博愛小、武芸小と再編しても、適正規模の要件を満たさない可能性が高い。

- 小中3校による義務教育学校とする。
ただし、令和5年度に武芸小が再編しているため、小学校再編はできれば令和10年度以降が望ましい。
遠距離通学となる地域には、スクールバス等で対応する。
- 小学校に小規模特認校制を採用することで、市内全域から児童が就学できる。

	全校児童生徒数(人)																
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17				
武芸川中	155	164	163	147	136	117	115	110	107	103	88	70	57				
博愛小	166	151	141	139	126	111	104										
武芸小	94	89	93	79	72	66	66										

	小中学校学級数																
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17				
武芸川中	6	6	6	6	6	6	6	5	4	4	3	3	3				
博愛小	7	7	6	6	6	6	6										
武芸小	6	6	6	6	6	6	5										

学校規模適正化計画

④富野中学校区

富野中・・・単学級 富野小・・・複式学級予定

	学年人数(人)														
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年
富野中	4	4	4	11	17	5	9	14	7	12	19	14	22	17	16
富野小	4	4	4	14	17	15	9	11	7	12	19	14	22	17	16

複式・複式学級は前後の学年児童数と合計して15人以下となる学年

- 国の適正規模にするには隣接小中学校と再編する。
- 小学校再編は富野小とする。(学校間距離 5.6km)
- 中学校再編は旭ヶ丘中とする。(学校間距離 7.9km)
- 遠距離通学となる地域には、スクールバス等で対応する。
※ただし、保護者や地域の要望が強ければ、富野小は小規模特認校制を採用して自分の間、維持させる。

	全校児童生徒数(人)																
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17				
富野中	50	48	54	44	37	33	30	28	31	33	32	19	12				
富野小	74	65	64	63	60	60	40										

	小中学校学級数																
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17				
富野中	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3				
富野小	6	6	6	6	6	6	4										

学校規模適正化計画

⑤緑ヶ丘中学校区

- 緑ヶ丘中・・・大規模校だが適正規模校に生徒数減少する予定
- 安桜小・・・適正規模校
- 瀬尻小・・・適正規模校
- 倉知小・・・適正規模校

	学年人数(人)														
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小1	小2	小3	小4	小5	1年	2年	3年	
緑ヶ丘中	143	149	138	114	170	172	169	162	180	166	187	200	221	211	203
安桜小	48	60	47	60	61	67	66	72	68	76	68	95			
瀬尻小	31	41	49	38	33	41	79	30	61	68	73	71			
倉知小	27	62	60	59	74	75	62	68	62	62	68	65			

安桜小校区の前身、赤尾、船口地区は、中学校進学先は緑ヶ丘中となっている。上記の3地区以外の安桜小校区の児童が緑ヶ丘中に進学するため、地区保護者から不満等の声が少なくない。

学校区境界を変更し、安桜小校区で進学先を緑ヶ丘中とする。緑ヶ丘小及び緑ヶ丘中への通学を希望する場合は、学校選択制(隣接区域選択制)を用いることとする。

	全校児童生徒数(人)																
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17				
緑ヶ丘中	669	630	608	573	663	668	663	663	691	696	412	461	430				
安桜小	455	497	416	490	579	567	519										
瀬尻小	399	395	343	333	317	398	284										
倉知小	359	414	420	417	414	391	387										

	小中学校学級数																
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17				
緑ヶ丘中	21	20	19	18	18	18	18	17	16	15	14	14	14				
安桜小	10	14	14	13	13	12	12										
瀬尻小	15	14	13	13	13	13	12										
倉知小	12	14	15	15	15	14	14										

学校規模適正化答申

(6)旭ヶ丘中学校区

- ・旭ヶ丘中・・・適正規模校
- ・旭ヶ丘小・・・小規模校、1学年1クラスになる予定
- ・富岡小・・・適正規模校

	学年人数(人)					1学期									
	1年	2年	3年	4年	5年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年	
旭ヶ丘中	78	89	83	114	91	108	119	118	122	140	119	147	127	181	129
旭ヶ丘小	30	30	30	44	33	41	33	37	32	71	47	66			
富岡小	45	56	52	70	53	68	64	81	70	77	72	81			

「隣接区域選択制」を市全域で採用することで、旭ヶ丘小の規模適正化を促すことが考えられる。

全校児童生徒数(人)

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
旭ヶ丘中	407	425	393	414	389	388	359	345	315	343	288	286	250
旭ヶ丘小	328	302	288	261	239	235	210						
富岡小	445	432	419	411	394	369	353						

小中学校学校数

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
旭ヶ丘中	13	14	13	14	13	13	12	12	11	11	10	10	9
旭ヶ丘小	13	13	12	11	10	9	9						
富岡小	16	15	14	13	13	12	12						

学校規模適正化答申

(7)桜ヶ丘中学校区

- ・桜ヶ丘中・・・適正規模校
- ・桜ヶ丘小・・・適正規模校
- ・南ヶ丘小・・・小規模校、1学年1クラス
- ・田原小・・・小規模校、1学年1クラスになる予定

	学年人数(人)					1学期								
	1年	2年	3年	4年	5年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年
桜ヶ丘中	94	95	92	93	102	114	121	111	124	139	110	178	154	166
桜ヶ丘小	43	41	40	48	41	48	40	41	47	49	44	49		
南ヶ丘小	12	7	9	12	11	10	11	9	17	15	16			
田原小	28	25	23	26	28	43	35	34	40	40	44	44	43	

南ヶ丘小は再編する場合は、地域の歴史的な繋がりから、舎知小とする。その場合に中学校の進学先は桜ヶ丘中となるが、桜ヶ丘中への進学を希望する場合は、学校選択制(隣接区域選択制)を用いることとする。

全校児童生徒数(人)

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
桜ヶ丘中	401	473	422	427	373	374	316	346	337	309	290	280	287
桜ヶ丘小	340	319	316	302	294	294	277						
南ヶ丘小	90	70	71	66	66	62	61						
田原小	288	250	234	214	191	183	174						

小中学校学校数

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
桜ヶ丘中	14	15	14	14	12	12	12	12	11	10	9	9	9
桜ヶ丘小	12	12	12	12	12	12	12						
南ヶ丘小	6	6	6	6	6	6	6						
田原小	10	10	9	8	7	7	7						

学校規模適正化答申

(8)下有知中学校区

- ・下有知中・・・小規模校、1学年2クラス
- ・下有知小・・・適正規模校

	学年人数(人)					1学期								
	1年	2年	3年	4年	5年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年
下有知中	45	48	51	47	48	45	57	59	47	60	63	60	67	65
下有知小	45	48	51	47	48	45	57	59	47	60	63	60	67	65

全校児童生徒数(人)

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
下有知中	192	190	189	196	192	183	161	162	153	155	146	146	144
下有知小	357	354	336	316	308	299	299						

小中学校学校数

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
下有知中	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
下有知小	12	12	12	12	12	12	12						

(9)小金田中学校区

- ・小金田中・・・適正規模校
- ・金竜小・・・大規模校だが適正規模校に児童数減少する予定

	学年人数(人)					1学期								
	1年	2年	3年	4年	5年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年
小金田中	62	49	57	62	60	74	69	62	59	308	120	122	138	122
金竜小	52	49	57	62	60	74	69	62	59	308	120	122	138	122

全校児童生徒数(人)

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
小金田中	290	291	280	306	306	283	244	229	207	200	179	168	168
金竜小	600	555	490	444	408	375	358						

小中学校学校数

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
小金田中	12	12	12	12	11	10	8	8	7	7	6	6	6
金竜小	20	19	17	15	14	13	12						

2. 審議会開催状況等

実施日	内 容
令和4年12月23日	関市学校規模適正化審議会規則の制定
令和5年2月	審議会委員の公募
3月	審議会委員の選任
5月24日	第1回審議会開催 関市学校規模適正化について（諮問） 学校規模適正化について説明 学校規模適正化基本方針について アンケートの実施について
8月22日	第2回審議会開催 アンケート結果について 適正化方法について
9月27日	第3回審議会開催 学校選択制について 義務教育学校について グループ会議
10月24日	第4回審議会開催 意見集約
12月25日	第5回審議会開催 意見集約
令和6年1月15日	関市学校規模適正化について（答申）

3. 審議会委員名簿

令和5年度関市学校規模適正化審議会委員名簿（敬称略 順不同）

	氏名	所属等
会長	江馬 諭	中部学院大学学長
副会長	遠藤 俊三	関市自治会連合会長（富岡）
委員	古川 雅志	関市PTA連合会長（倉知小）
委員	藤吉 智志	関市PTA連合会（武芸小）
委員	大岩 寿喜子	中濃保育園園長（私立）
委員	花村 英泰	小学校長会長（武芸小）
委員	澤田 通直	中学校長会長（下有知中）
委員	長瀬 房子	関市主任児童委員
委員	清水 宗夫	関市社会教育委員の議長（安桜）

4. 審議会規則

関市学校規模適正化審議会規則

令和4年12月23日 関教委規則第5号

(趣旨)

第1条 この規則は、関市附属機関設置条例(平成25年関市条例第68号。以下「条例」という。)第3条の規定に基づき、関市学校規模適正化審議会(以下「審議会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 審議会は、条例別表教育委員会の附属機関の部関市学校規模適正化審議会の項委員の定数欄に掲げる定数以内の委員で組織し、同項委員の構成欄に掲げる者のうちから、関市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が委嘱し、又は任命する。

2 委員会の委員の任期は、1年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

4 教育委員会は、委員が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、これを解嘱し、又は解任することができる。

(1) 職務の遂行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(2) 職務上の義務に違反し、又はその職務を怠ったとき。

(3) 委員としてふさわしくない非行があったとき。

(会長及び副会長)

第3条 審議会に、委員の互選により会長及び副会長各1人を置く。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 審議会の会議は、会長が招集し、会長は、会議の議長となる。ただし、前条第1項の規定により会長が互選されるまでの間に開催される審議会の会議は、教育委員会が招集する。

2 審議会は、半数以上の委員が出席しなければ会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて、説明又は意見を聴くことができる。

5 会議は、公開とする。ただし、議長が必要と認めるときは、これを非公開とすることができる。

(委任)

第5条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行後最初に委嘱され、又は任命される委員の任期は、第2条第2項の規定にかかわらず、令和6年3月31日までとする。

5. アンケート実施について

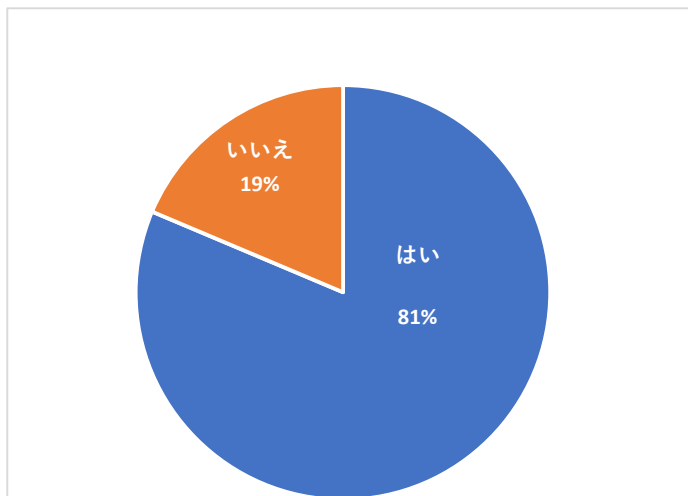
学校規模適正化アンケートの実施

- ・ 回答期間は6月9日から6月30日まで。
- ・ 電子回答方式とするが、スマホ等電子機器の扱いが不慣れな方用に、市役所、地域事務所にアンケートコーナーを設置、アンケート用紙を配付回収する。
- ・ 小中学校保護者には教育委員会から電子メールにて周知。
- ・ 保育園児保護者には市子ども家庭課から電子メールにて周知。
- ・ 幼稚園児保護者には幼稚園から電子メール等にて周知。
- ・ 市民には関市あんしんメールにて送信及び関市ホームページに掲載。
- ・ 回答数は3970件。
- ・ 質問、回答内容は資料のとおり。

回答数
3970

1. 中学校3年生以下の子を持つ保護者ですか

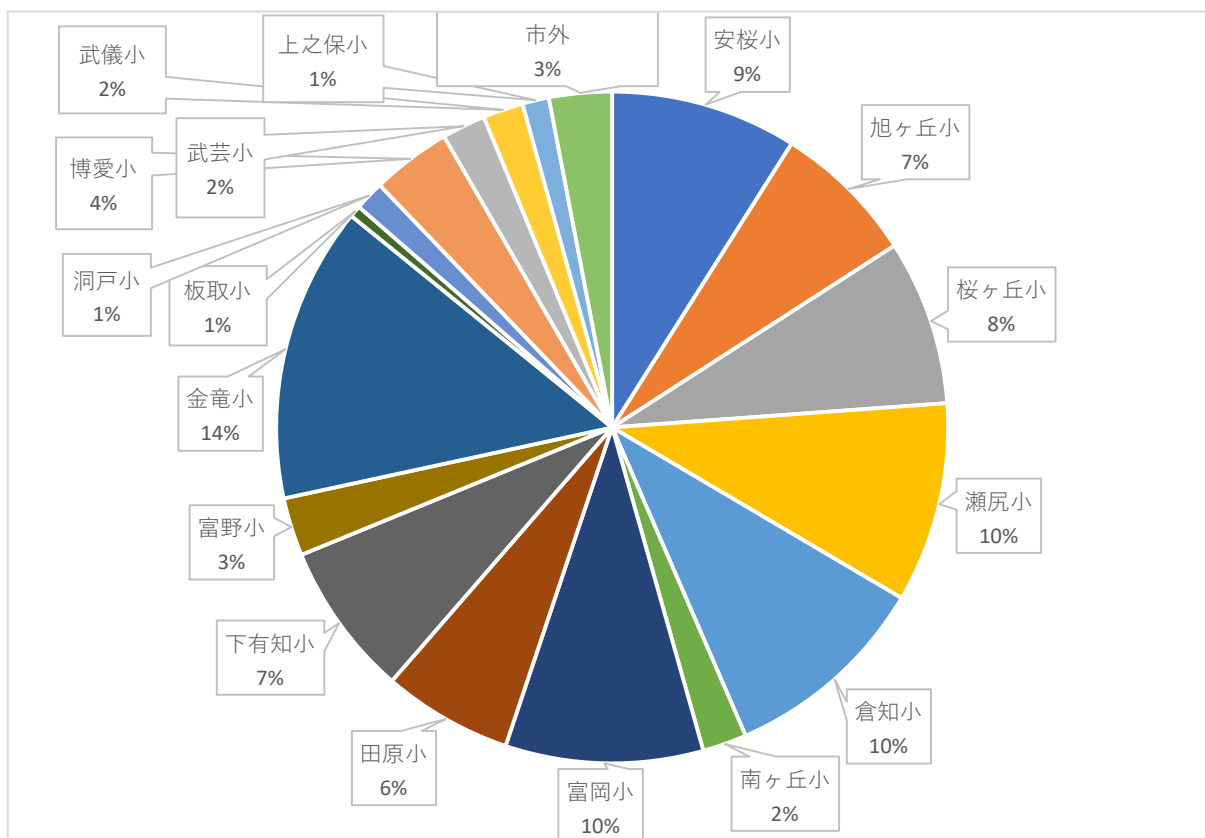
はい	いいえ
3230	740



2. お住まいの小学校区はどこですか

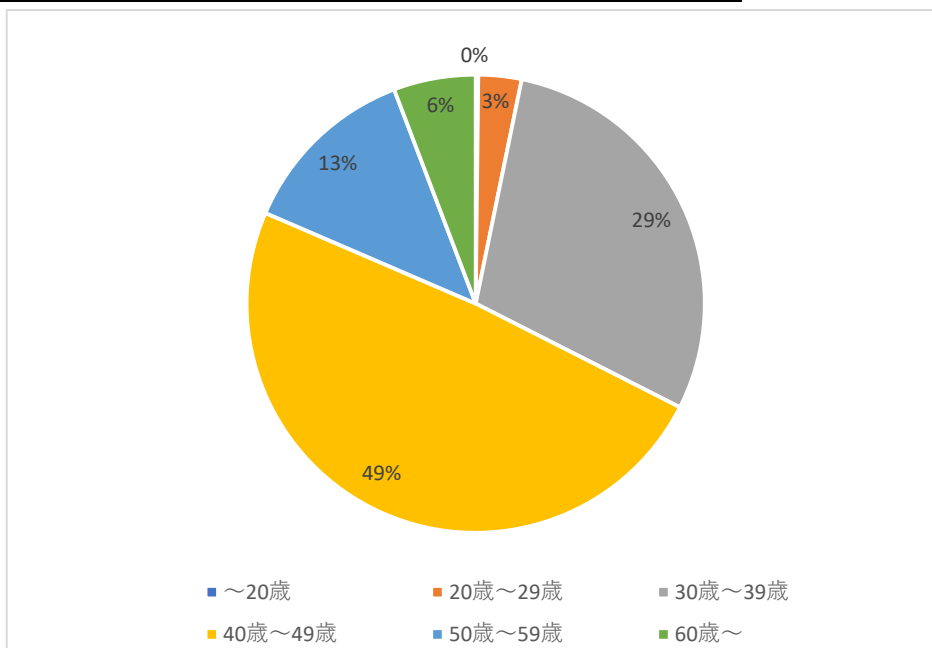
安桜小	旭ヶ丘小	桜ヶ丘小	瀬尻小	倉知小	南ヶ丘小	富岡小	田原小	下有知小
356	275	316	382	398	84	378	248	295

富野小	金竜小	板取小	洞戸小	博愛小	武芸小	武儀小	上之保小	市外
111	565	22	57	152	83	77	51	120



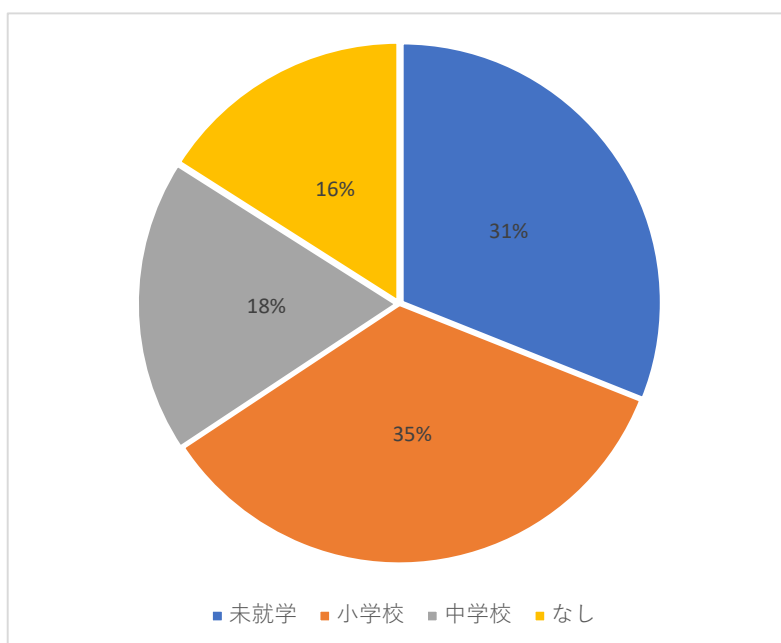
3.アンケートにお答えになっている方の年代をお答えください

～20歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～
7	121	1161	1946	505	230



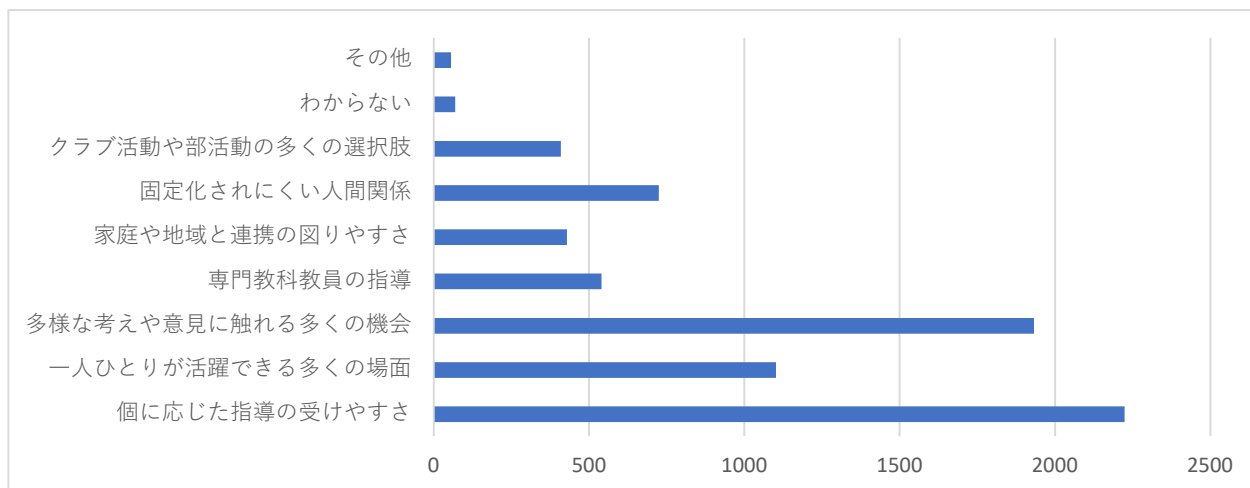
4.一番下のお子さんの学年

未就学	小学校	中学校	なし
1232	1376	727	635



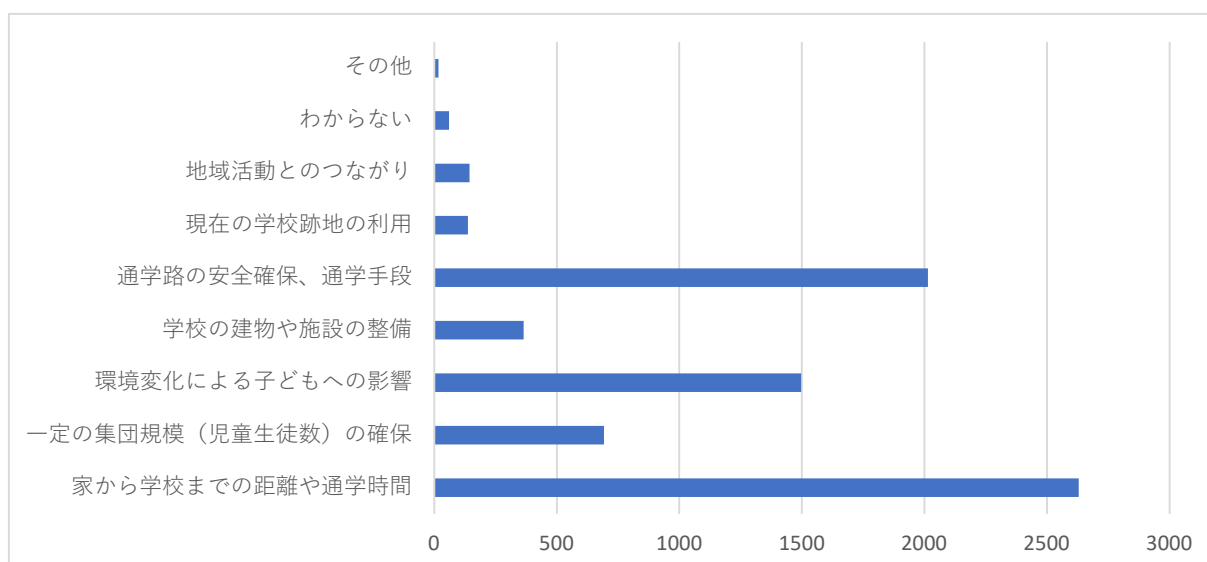
5.学校教育で配慮してほしいことは何ですか。2つまで。

個に応じた指導の受けやすさ	一人ひとりが活躍できる多くの場面	多様な考えや意見に触れる多くの機会	専門教科教員の指導	家庭や地域と連携の図りやすさ	固定化されにくい人間関係	クラブ活動や部活動の多くの選択肢	わからない	その他
2224	1102	1932	540	429	725	409	69	56



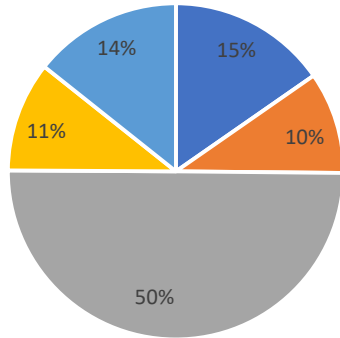
8.学校規模を審議するにあたり、配慮してほしいことは何ですか。2つまで。

家から学校までの距離や通学時間	一定の集団規模（児童生徒数）の確保	環境変化による子どもへの影響	学校の建物や施設の整備	通学路の安全確保、通学手段	現在の学校跡地の利用	地域活動とのつながり	わからない	その他
2629	692	1497	365	2014	138	144	60	17



6.適正規模校にするため、隣接学校区との境界を見直す学校区域変更に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

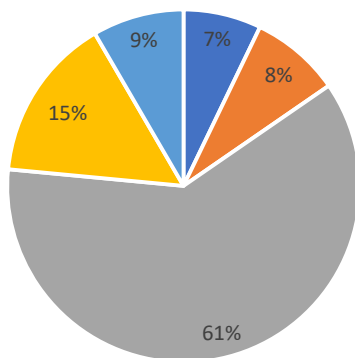
学校区域変更は積極的にすべきである	学校区域変更はすべきである	学校区域が変更されることはやむを得ない	学校区域変更はできるだけ避けるべきである	わからない
609	390	1982	421	568



- 学校区域変更は積極的にすべきである
- 学校区域変更はすべきである
- 学校区域が変更されることはやむを得ない
- 学校区域変更はできるだけ避けるべきである
- わからない

7.今後、児童生徒数減少化傾向が続くことが予想されていますが、適正規模に満たない小中学校（小規模校といいます）に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

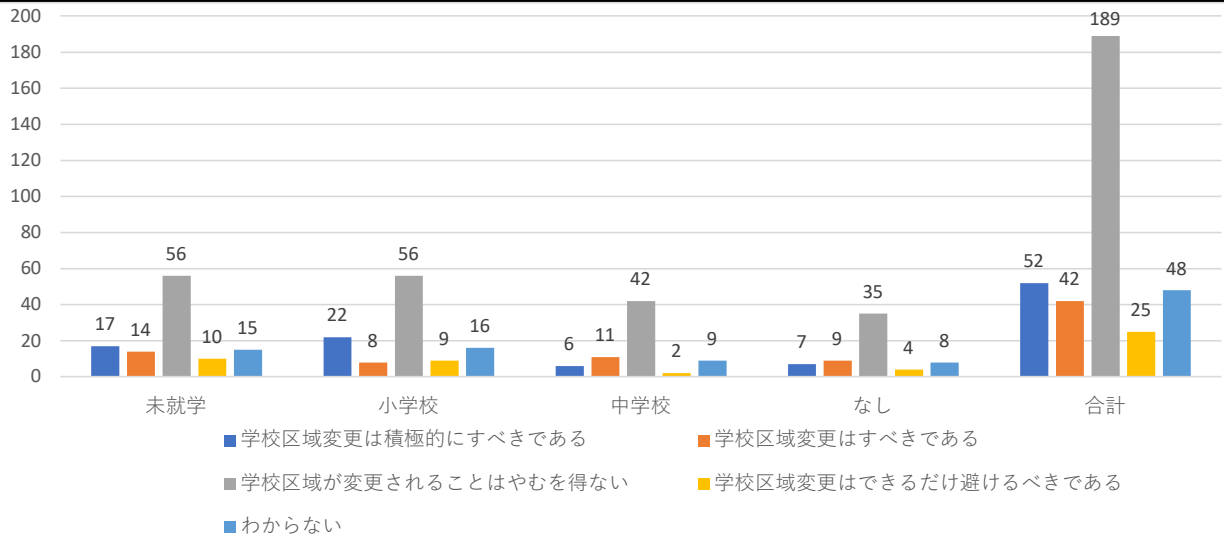
小規模校は早急に統合すべきである	小規模校は統合すべきである	小規模校が統合されることはやむを得ない	小規模校でもできるだけ統合は避けるべきである	わからない
283	327	2428	599	333



- 小規模校は早急に統合すべきである
- 小規模校は統合すべきである
- 小規模校が統合されることはやむを得ない
- 小規模校でもできるだけ統合は避けるべきである
- わからない

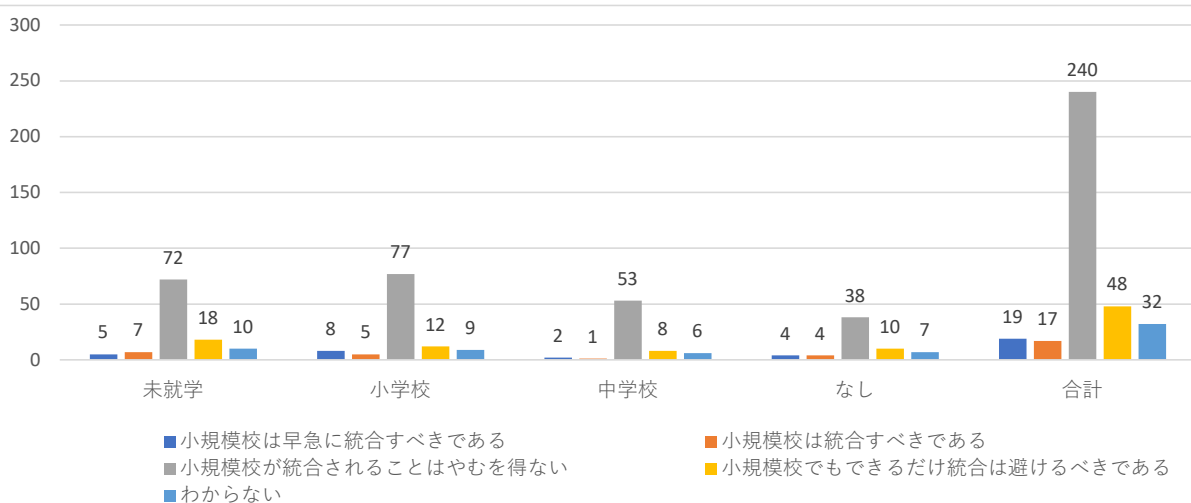
適正規模校にするため、隣接学校区との境界を見直す学校区域変更に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

安桜小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
学校区域変更は積極的にすべきである	17	22	6	7	52	14.6%
学校区域変更はすべきである	14	8	11	9	42	11.8%
学校区域が変更されることはやむを得ない	56	56	42	35	189	53.1%
学校区域変更はできるだけ避けるべきである	10	9	2	4	25	7.0%
わからない	15	16	9	8	48	13.5%



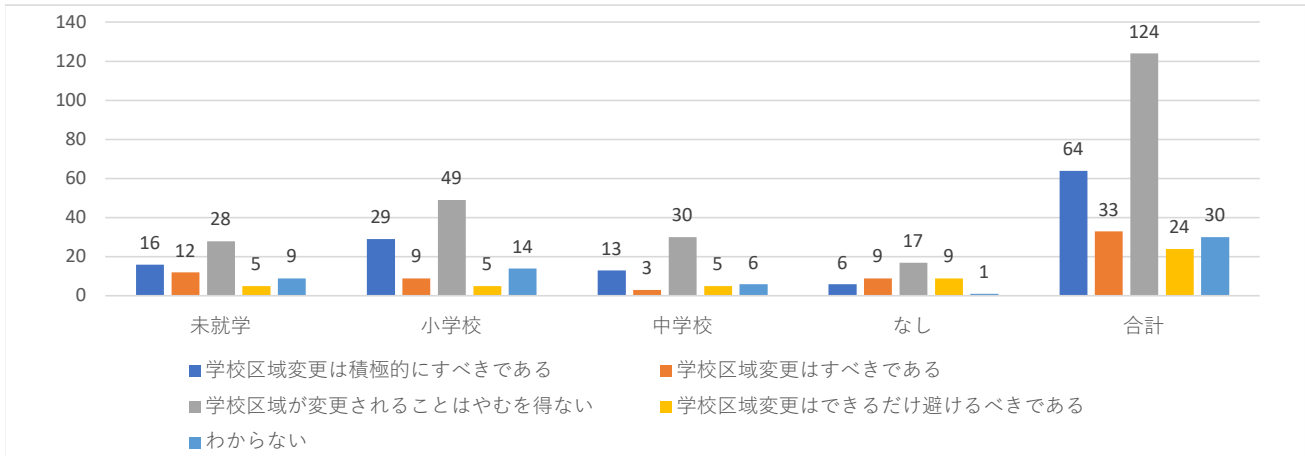
今後、児童生徒数減少化傾向が続くことが予想されていますが、適正規模に満たない小中学校（小規模校といいます）に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

安桜小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
小規模校は早急に統合すべきである	5	8	2	4	19	5.3%
小規模校は統合すべきである	7	5	1	4	17	4.8%
小規模校が統合されることはやむを得ない	72	77	53	38	240	67.4%
小規模校でもできるだけ統合は避けるべきである	18	12	8	10	48	13.5%
わからない	10	9	6	7	32	9.0%



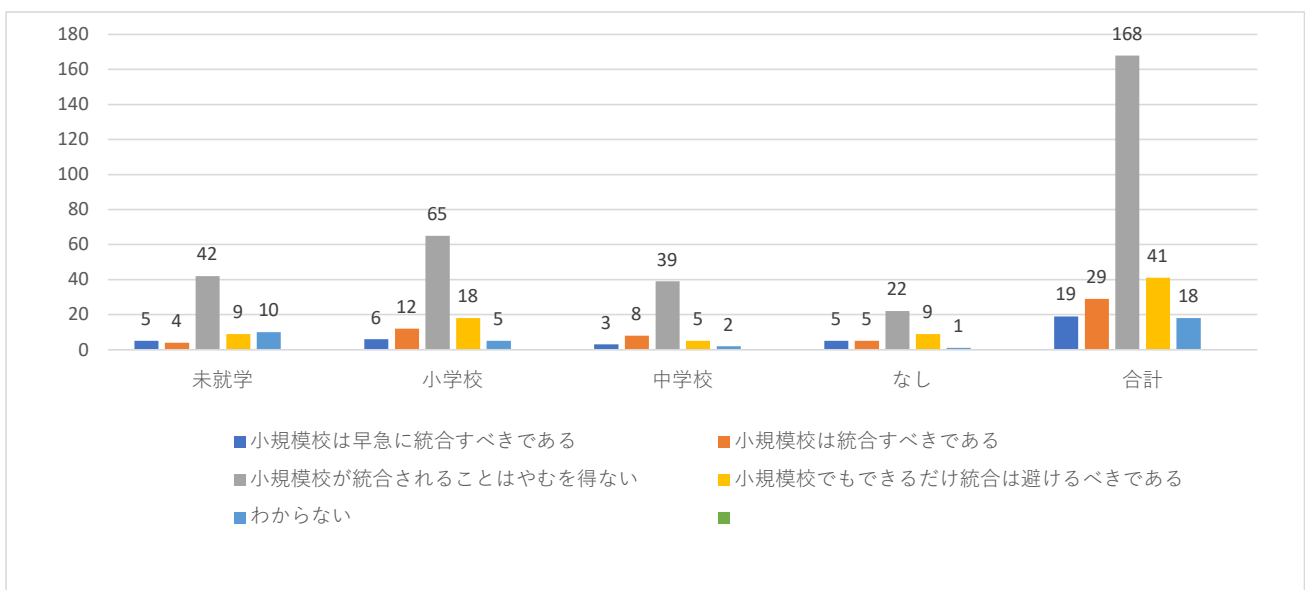
適正規模校にするため、隣接学校区との境界を見直す学校区域変更に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

旭ヶ丘小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
学校区域変更は積極的にすべきである	16	29	13	6	64	23.3%
学校区域変更はすべきである	12	9	3	9	33	12.0%
学校区域が変更されることはやむを得ない	28	49	30	17	124	45.1%
学校区域変更はできるだけ避けるべきである	5	5	5	9	24	8.7%
わからない	9	14	6	1	30	10.9%



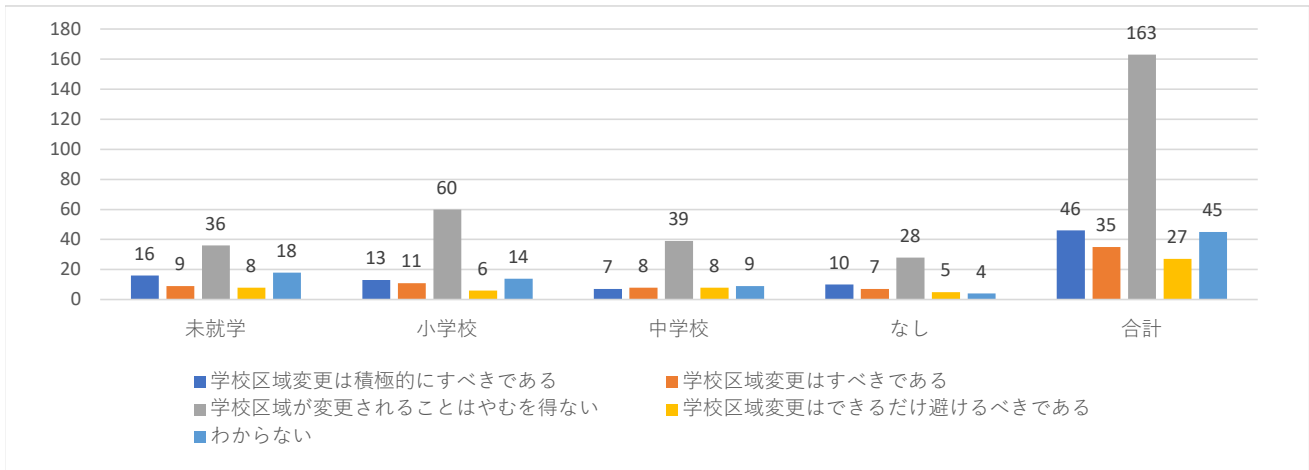
今後、児童生徒数減少傾向が続くことが予想されていますが、適正規模に満たない小中学校（小規模校といいます）に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

旭ヶ丘小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
小規模校は早急に統合すべきである	5	6	3	5	19	6.9%
小規模校は統合すべきである	4	12	8	5	29	10.5%
小規模校が統合されることはやむを得ない	42	65	39	22	168	61.1%
小規模校でもできるだけ統合は避けるべきである	9	18	5	9	41	14.9%
わからない	10	5	2	1	18	6.5%



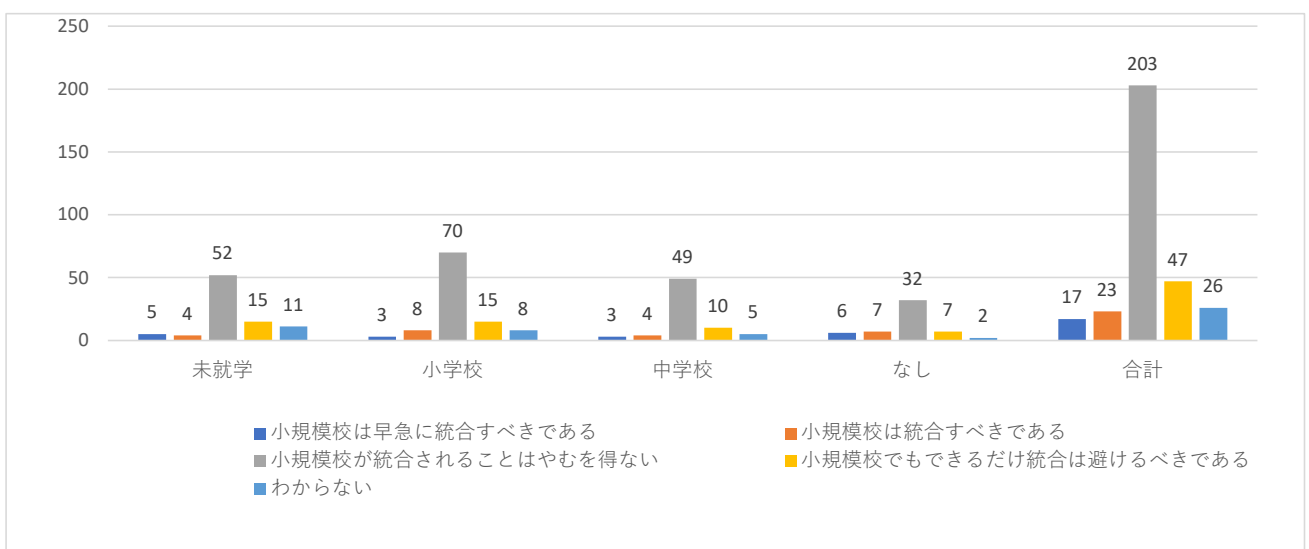
適正規模校にするため、隣接学校区との境界を見直す学校区域変更に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

桜ヶ丘小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
学校区域変更は積極的にすべきである	16	13	7	10	46	14.6%
学校区域変更はすべきである	9	11	8	7	35	11.1%
学校区域が変更されることはやむを得ない	36	60	39	28	163	51.6%
学校区域変更はできるだけ避けるべきである	8	6	8	5	27	8.5%
わからない	18	14	9	4	45	14.2%



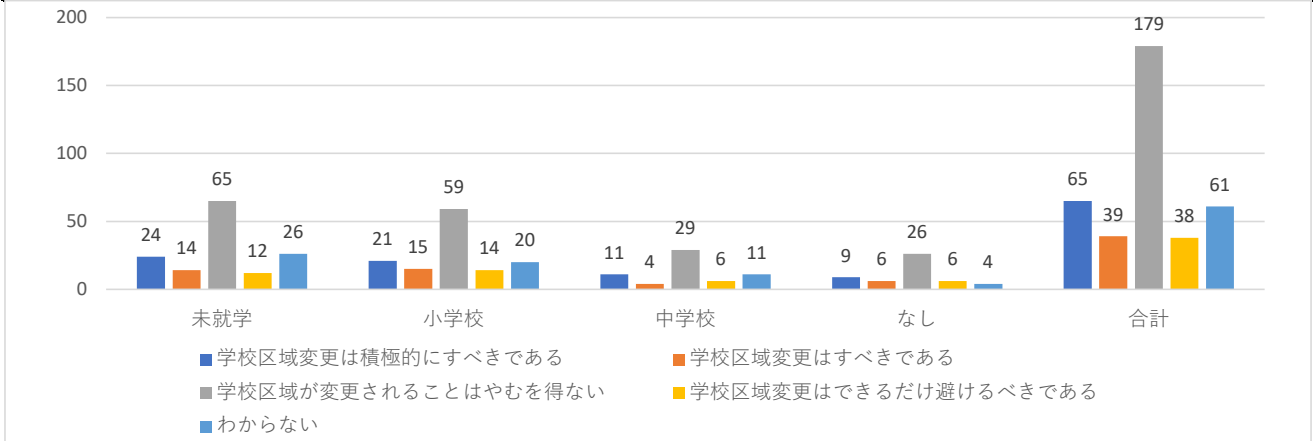
今後、児童生徒数減少化傾向が続くことが予想されていますが、適正規模に満たない小中学校（小規模校といいます）に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

桜ヶ丘小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
小規模校は早急に統合すべきである	5	3	3	6	17	5.4%
小規模校は統合すべきである	4	8	4	7	23	7.3%
小規模校が統合されることはやむを得ない	52	70	49	32	203	64.2%
小規模校でもできるだけ統合は避けるべきである	15	15	10	7	47	14.9%
わからない	11	8	5	2	26	8.2%



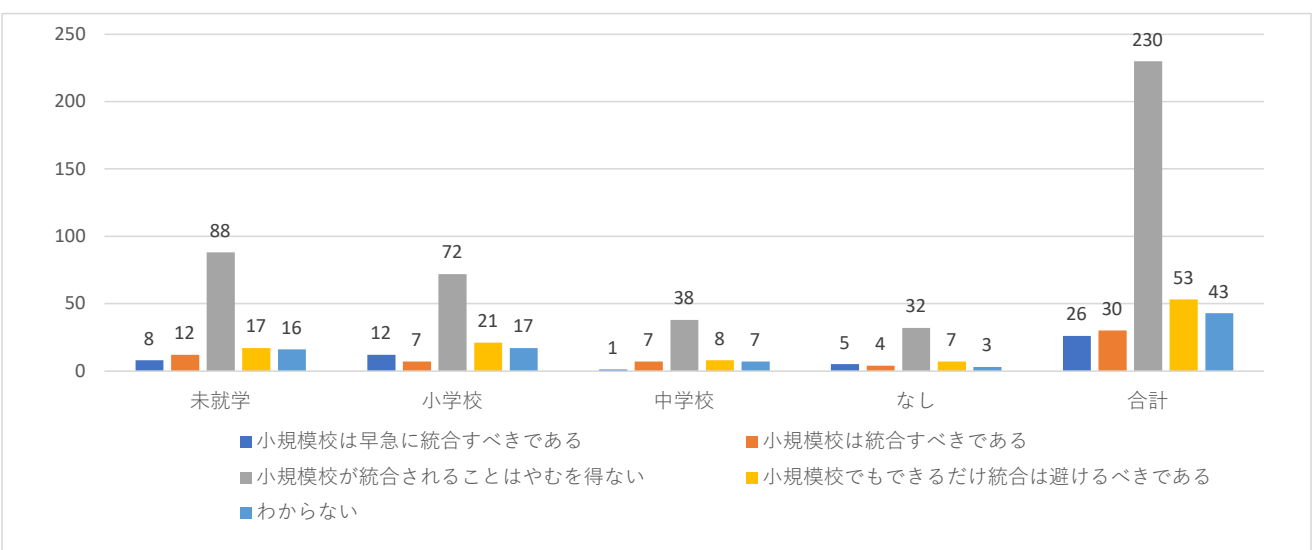
適正規模校にするため、隣接学校区との境界を見直す学校区域変更に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

瀬尻小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
学校区域変更は積極的にすべきである	24	21	11	9	65	17.0%
学校区域変更はすべきである	14	15	4	6	39	10.2%
学校区域が変更されることはやむを得ない	65	59	29	26	179	46.9%
学校区域変更はできるだけ避けるべきである	12	14	6	6	38	9.9%
わからない	26	20	11	4	61	16.0%



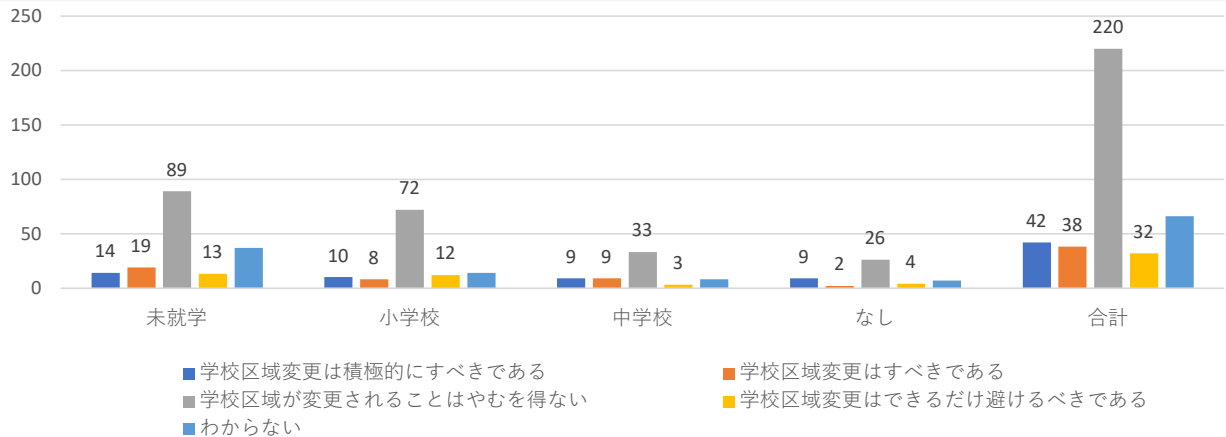
今後、児童生徒数減少化傾向が続くことが予想されていますが、適正規模に満たない小中学校（小規模校といいます）に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

瀬尻小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
小規模校は早急に統合すべきである	8	12	1	5	26	6.8%
小規模校は統合すべきである	12	7	7	4	30	7.9%
小規模校が統合されることはやむを得ない	88	72	38	32	230	60.2%
小規模校でもできるだけ統合は避けるべきである	17	21	8	7	53	13.9%
わからない	16	17	7	3	43	11.3%



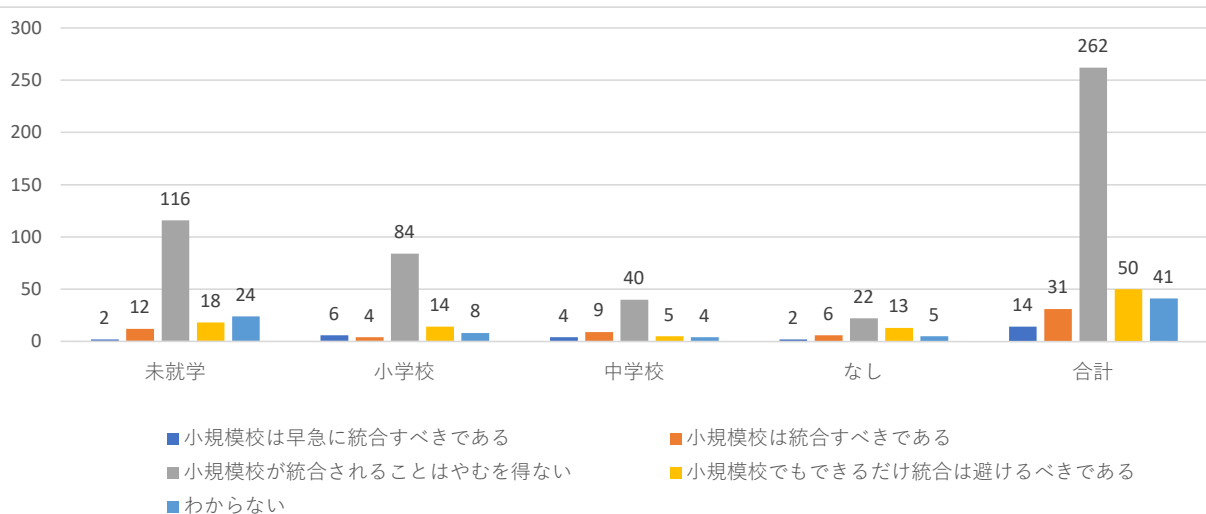
適正規模校にするため、隣接学校区との境界を見直す学校区域変更に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

倉知小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
学校区域変更は積極的にすべきである	14	10	9	9	42	10.6%
学校区域変更はすべきである	19	8	9	2	38	9.5%
学校区域が変更されることはやむを得ない	89	72	33	26	220	55.3%
学校区域変更はできるだけ避けるべきである	13	12	3	4	32	8.0%
わからない	37	14	8	7	66	16.6%



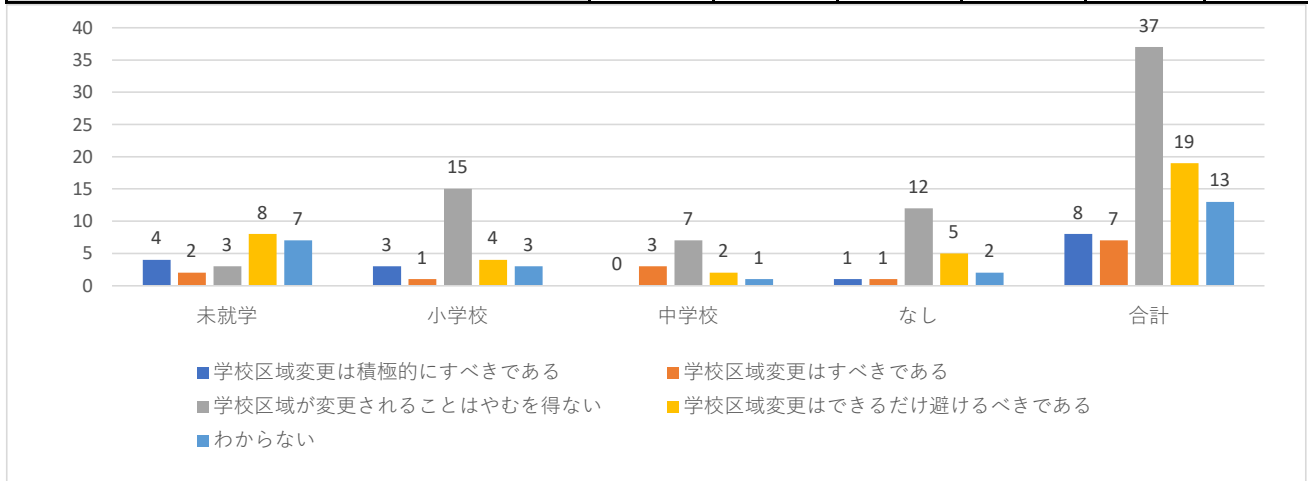
今後、児童生徒数減少化傾向が続くことが予想されていますが、適正規模に満たない小中学校（小規模校といいます）に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

倉知小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
小規模校は早急に統合すべきである	2	6	4	2	14	3.5%
小規模校は統合すべきである	12	4	9	6	31	7.8%
小規模校が統合されることはやむを得ない	116	84	40	22	262	65.8%
小規模校でもできるだけ統合は避けるべきである	18	14	5	13	50	12.6%
わからない	24	8	4	5	41	10.3%



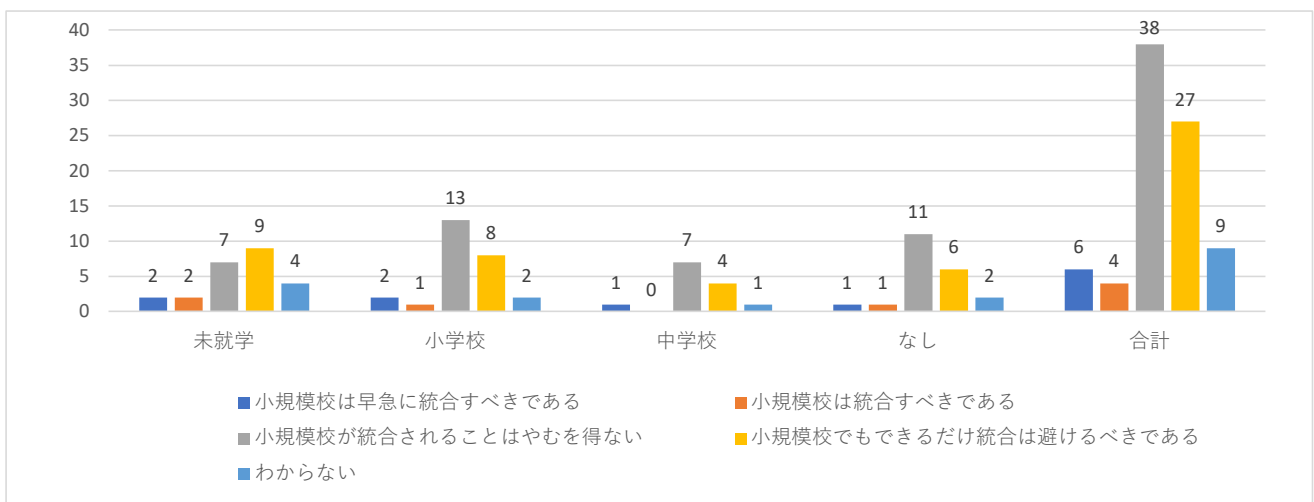
適正規模校にするため、隣接学校区との境界を見直す学校区域変更に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

南ヶ丘小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
学校区域変更は積極的にすべきである	4	3	0	1	8	9.5%
学校区域変更はすべきである	2	1	3	1	7	8.3%
学校区域が変更されることはやむを得ない	3	15	7	12	37	44.0%
学校区域変更はできるだけ避けるべきである	8	4	2	5	19	22.6%
わからない	7	3	1	2	13	15.5%



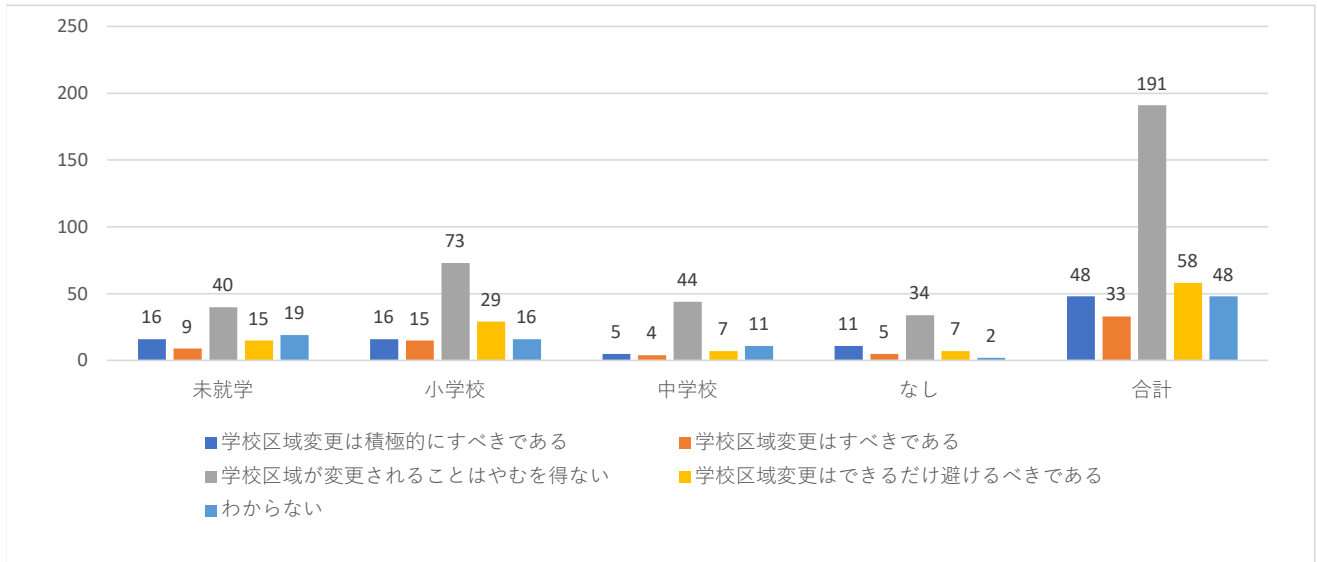
今後、児童生徒数減少化傾向が続くことが予想されていますが、適正規模に満たない小中学校（小規模校といいます）に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

南ヶ丘小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
小規模校は早急に統合すべきである	2	2	1	1	6	7.1%
小規模校は統合すべきである	2	1	0	1	4	4.8%
小規模校が統合されることはやむを得ない	7	13	7	11	38	45.2%
小規模校でもできるだけ統合は避けるべきである	9	8	4	6	27	32.1%
わからない	4	2	1	2	9	10.7%



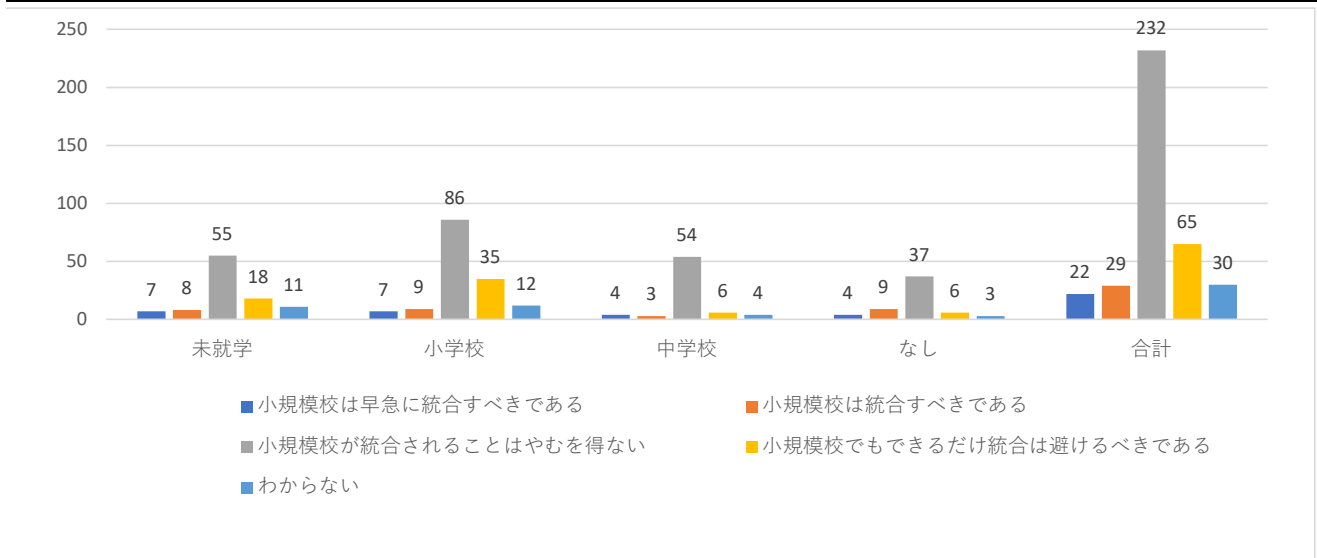
適正規模校にするため、隣接学校区との境界を見直す学校区域変更に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

富岡小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
学校区域変更は積極的にすべきである	16	16	5	11	48	12.7%
学校区域変更はすべきである	9	15	4	5	33	8.7%
学校区域が変更されることはやむを得ない	40	73	44	34	191	50.5%
学校区域変更はできるだけ避けるべきである	15	29	7	7	58	15.3%
わからない	19	16	11	2	48	12.7%



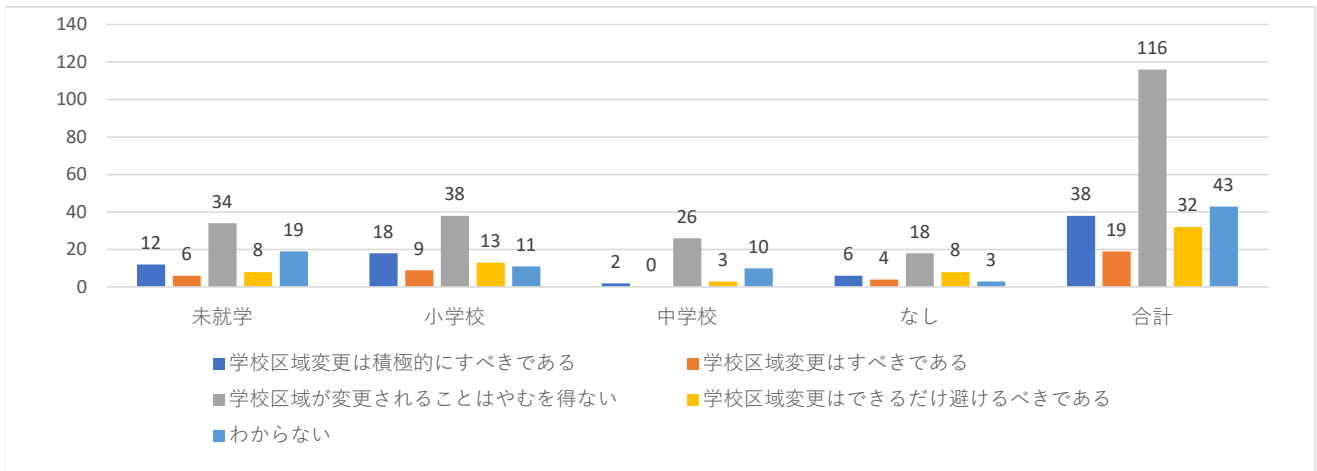
今後、児童生徒数減少化傾向が続くことが予想されていますが、適正規模に満たない小中学校（小規模校といいます）に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

富岡小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
小規模校は早急に統合すべきである	7	7	4	4	22	5.8%
小規模校は統合すべきである	8	9	3	9	29	7.7%
小規模校が統合されることはやむを得ない	55	86	54	37	232	61.4%
小規模校でもできるだけ統合は避けるべきである	18	35	6	6	65	17.2%
わからない	11	12	4	3	30	7.9%



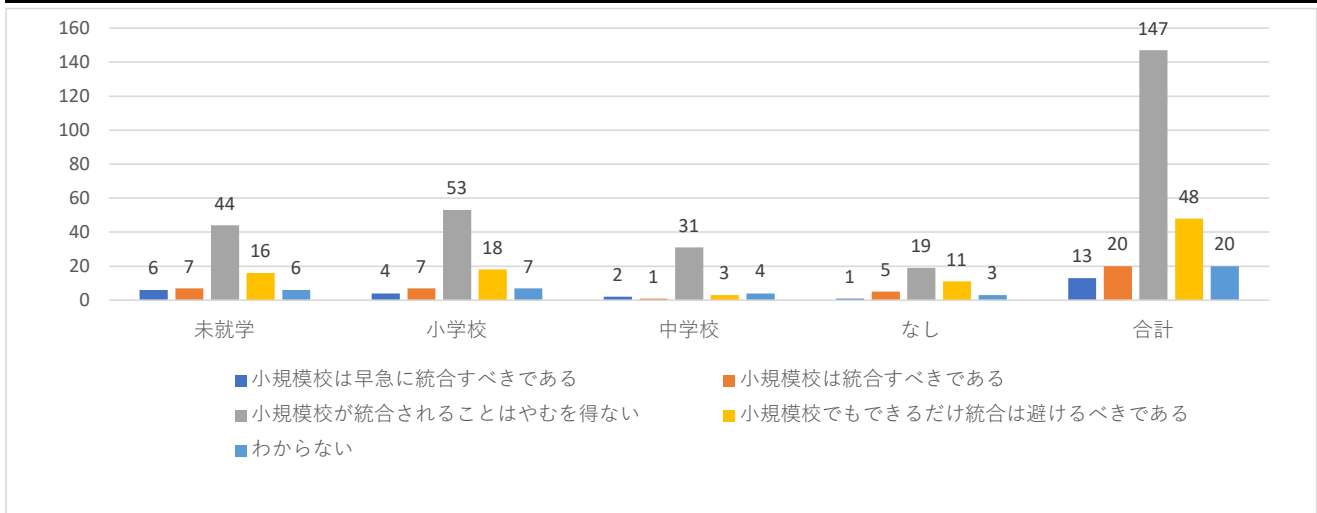
適正規模校にするため、隣接学校区との境界を見直す学校区域変更に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

田原小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
学校区域変更は積極的にすべきである	12	18	2	6	38	15.3%
学校区域変更はすべきである	6	9	0	4	19	7.7%
学校区域が変更されることはやむを得ない	34	38	26	18	116	46.8%
学校区域変更はできるだけ避けるべきである	8	13	3	8	32	12.9%
わからない	19	11	10	3	43	17.3%



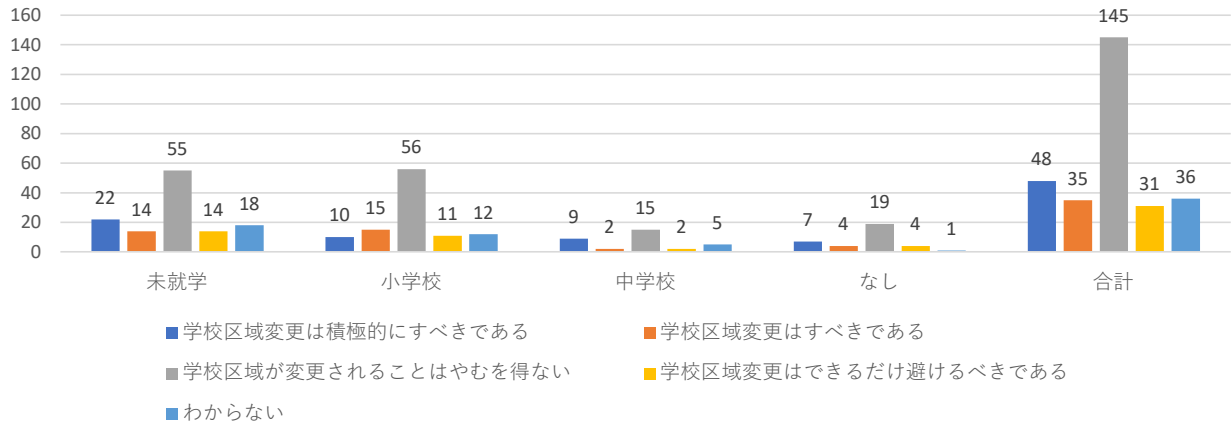
今後、児童生徒数減少化傾向が続くことが予想されていますが、適正規模に満たない小中学校（小規模校といいます）に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

田原小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
小規模校は早急に統合すべきである	6	4	2	1	13	5.2%
小規模校は統合すべきである	7	7	1	5	20	8.1%
小規模校が統合されることはやむを得ない	44	53	31	19	147	59.3%
小規模校でもできるだけ統合は避けるべきである	16	18	3	11	48	19.4%
わからない	6	7	4	3	20	8.1%



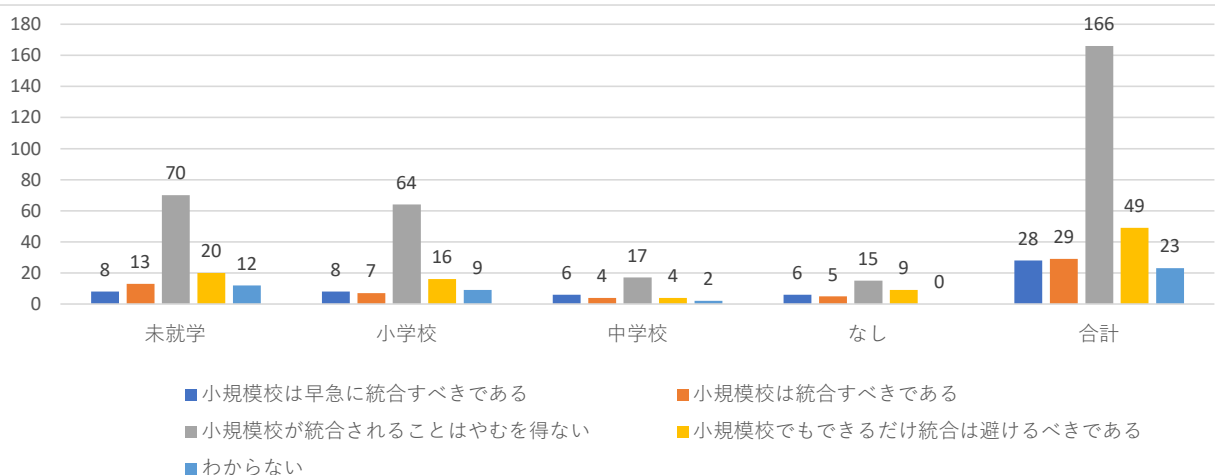
適正規模校にするため、隣接学校区との境界を見直す学校区域変更に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

下有知小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
学校区域変更は積極的にすべきである	22	10	9	7	48	16.3%
学校区域変更はすべきである	14	15	2	4	35	11.9%
学校区域が変更されることはやむを得ない	55	56	15	19	145	49.2%
学校区域変更はできるだけ避けるべきである	14	11	2	4	31	10.5%
わからない	18	12	5	1	36	12.2%



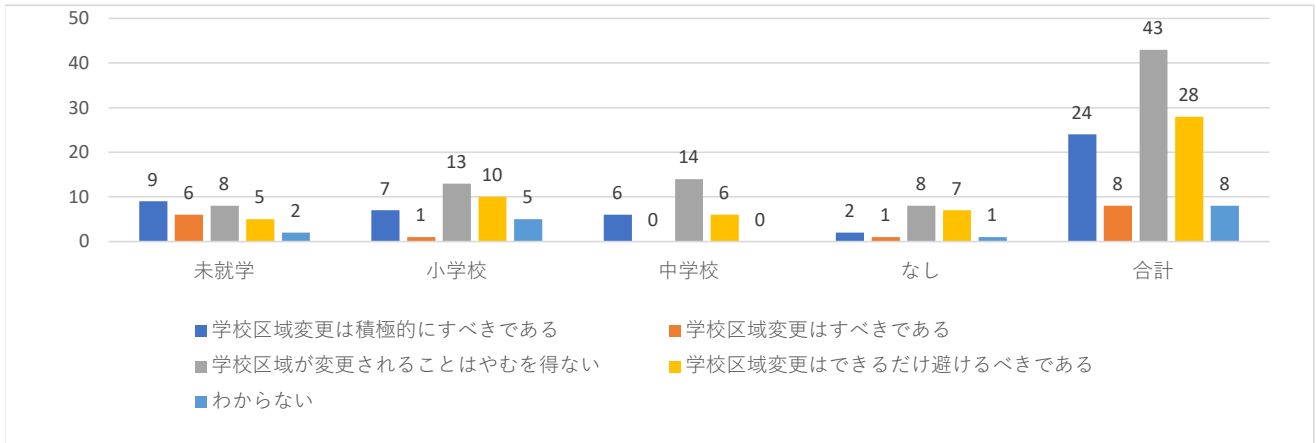
今後、児童生徒数減少化傾向が続くことが予想されていますが、適正規模に満たない小中学校（小規模校といえます）に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

下有知小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
小規模校は早急に統合すべきである	8	8	6	6	28	9.5%
小規模校は統合すべきである	13	7	4	5	29	9.8%
小規模校が統合されることはやむを得ない	70	64	17	15	166	56.3%
小規模校でもできるだけ統合は避けるべきである	20	16	4	9	49	16.6%
わからない	12	9	2	0	23	7.8%



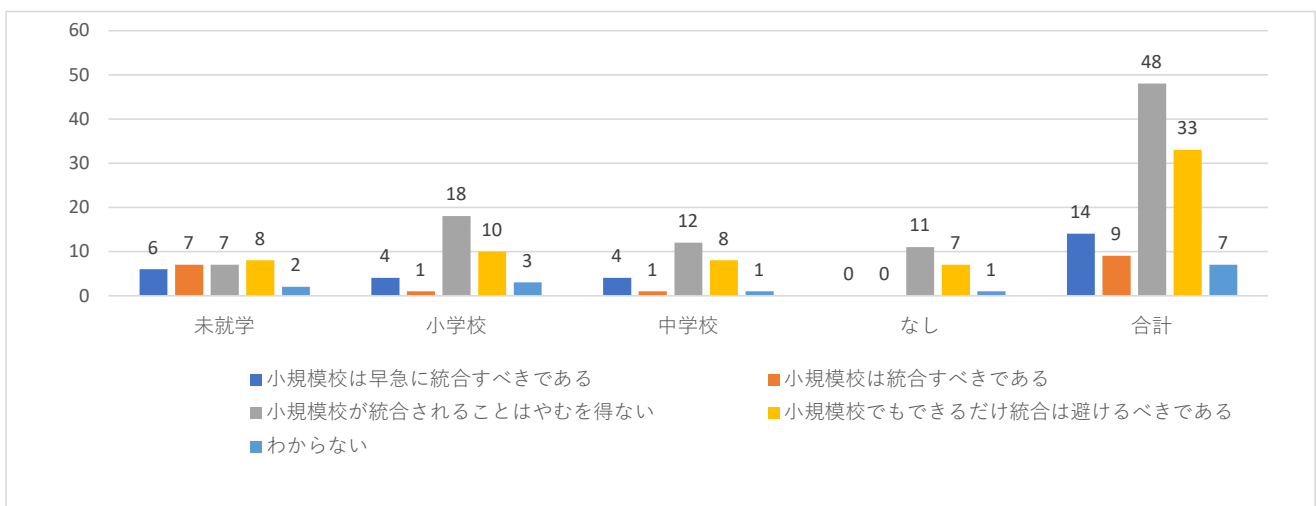
適正規模校にするため、隣接学校区との境界を見直す学校区域変更に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

富野小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
学校区域変更は積極的にすべきである	9	7	6	2	24	21.6%
学校区域変更はすべきである	6	1	0	1	8	7.2%
学校区域が変更されることはやむを得ない	8	13	14	8	43	38.7%
学校区域変更はできるだけ避けるべきである	5	10	6	7	28	25.2%
わからない	2	5	0	1	8	7.2%



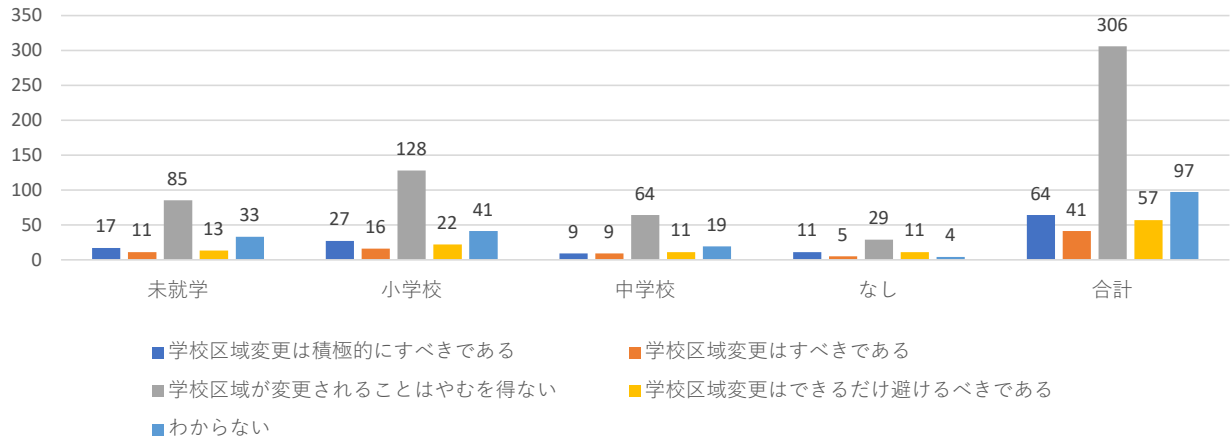
今後、児童生徒数減少化傾向が続くことが予想されていますが、適正規模に満たない小中学校（小規模校といいます）に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

富野小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
小規模校は早急に統合すべきである	6	4	4	0	14	12.6%
小規模校は統合すべきである	7	1	1	0	9	8.1%
小規模校が統合されることはやむを得ない	7	18	12	11	48	43.2%
小規模校でもできるだけ統合は避けるべきである	8	10	8	7	33	29.7%
わからない	2	3	1	1	7	6.3%



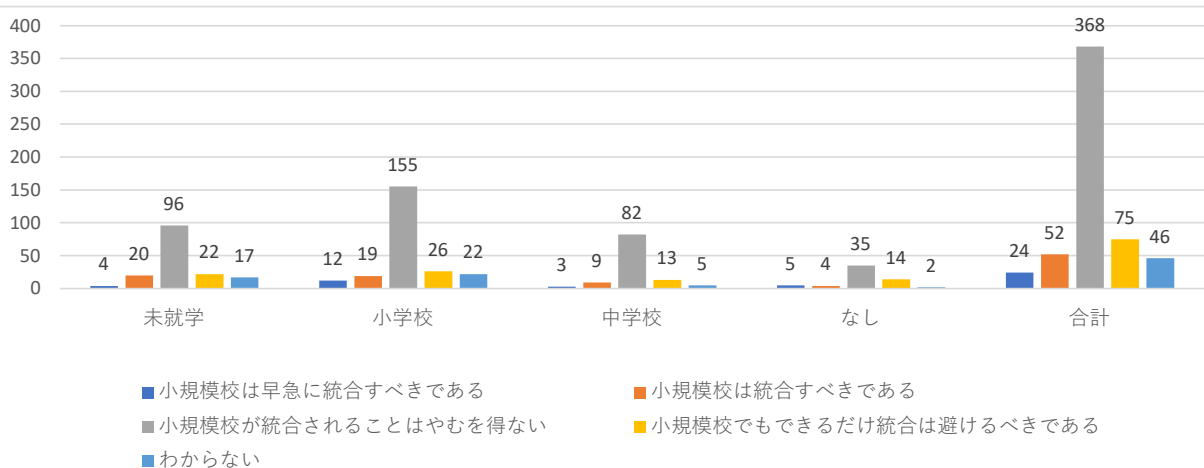
適正規模校にするため、隣接学校区との境界を見直す学校区域変更に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

金竜小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
学校区域変更は積極的にすべきである	17	27	9	11	64	11.3%
学校区域変更はすべきである	11	16	9	5	41	7.3%
学校区域が変更されることはやむを得ない	85	128	64	29	306	54.2%
学校区域変更はできるだけ避けるべきである	13	22	11	11	57	10.1%
わからない	33	41	19	4	97	17.2%



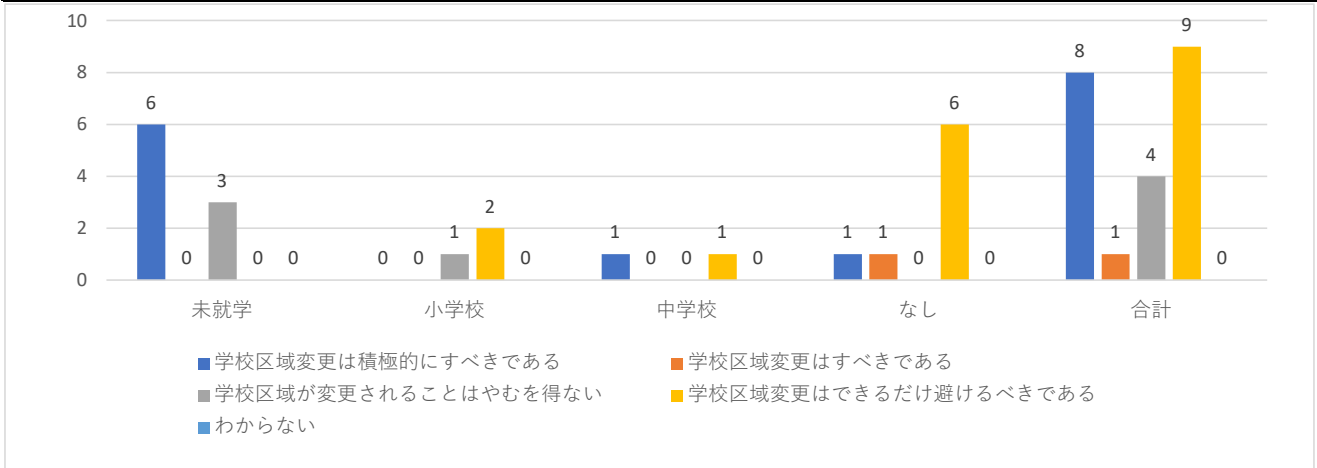
今後、児童生徒数減少化傾向が続くことが予想されていますが、適正規模に満たない小中学校（小規模校といいます）に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

金竜小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
小規模校は早急に統合すべきである	4	12	3	5	24	4.2%
小規模校は統合すべきである	20	19	9	4	52	9.2%
小規模校が統合されることはやむを得ない	96	155	82	35	368	65.1%
小規模校でもできるだけ統合は避けるべきである	22	26	13	14	75	13.3%
わからない	17	22	5	2	46	8.1%



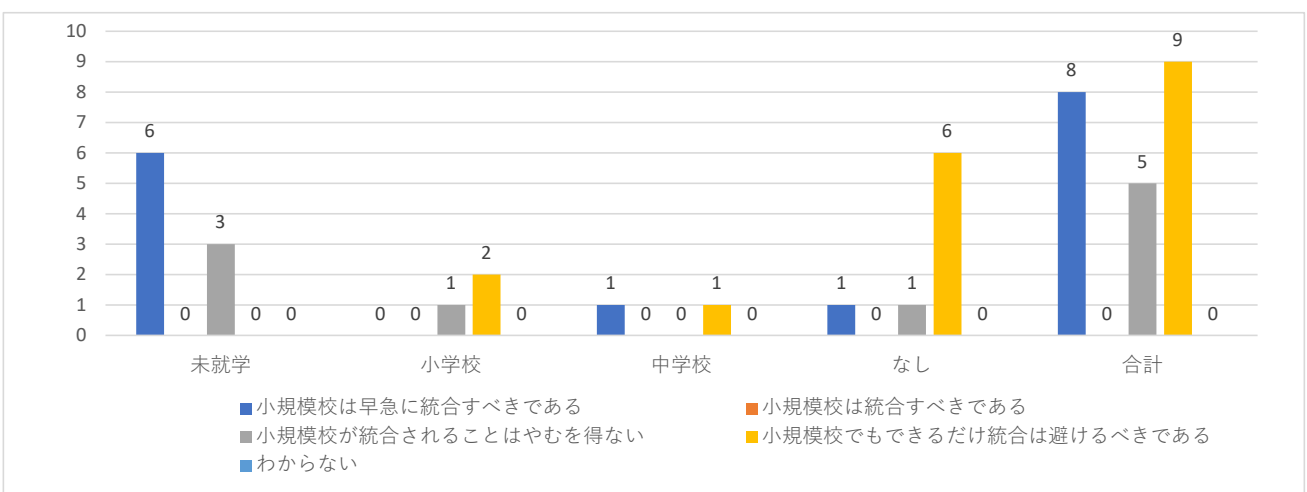
適正規模校にするため、隣接学校区との境界を見直す学校区域変更に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

板取小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
学校区域変更は積極的にすべきである	6	0	1	1	8	36.4%
学校区域変更はすべきである	0	0	0	1	1	4.5%
学校区域が変更されることはやむを得ない	3	1	0	0	4	18.2%
学校区域変更はできるだけ避けるべきである	0	2	1	6	9	40.9%
わからない	0	0	0	0	0	0.0%



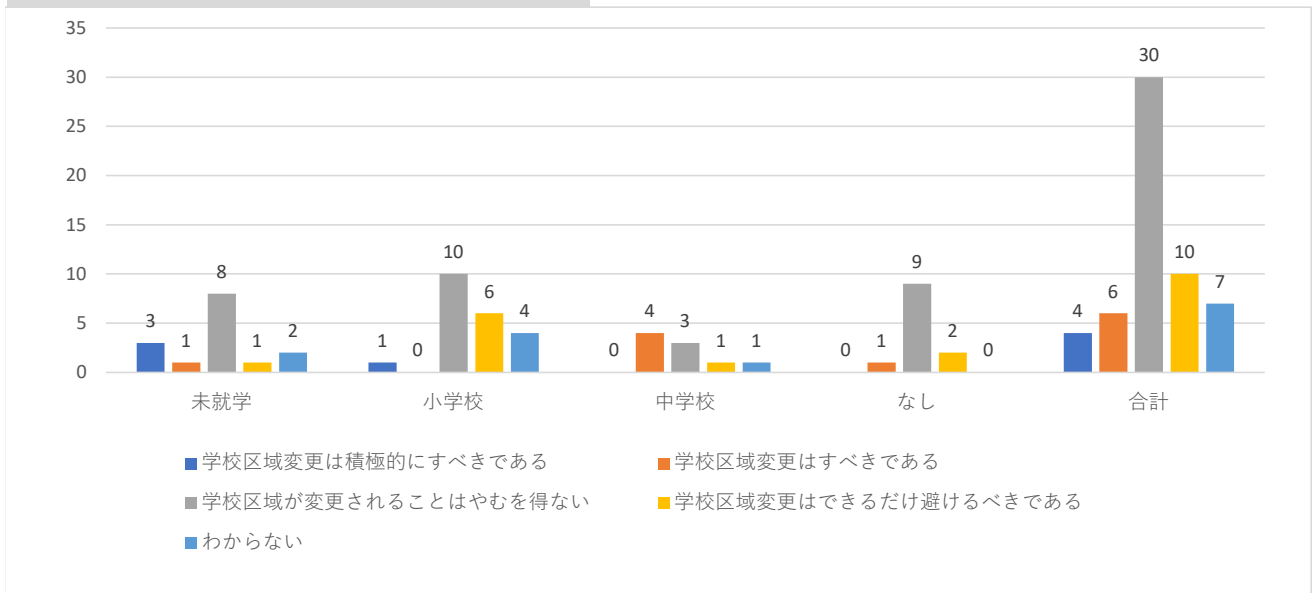
今後、児童生徒数減少化傾向が続くことが予想されていますが、適正規模に満たない小中学校（小規模校といいます）に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

板取小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
小規模校は早急に統合すべきである	6	0	1	1	8	36.4%
小規模校は統合すべきである	0	0	0	0	0	0.0%
小規模校が統合されることはやむを得ない	3	1	0	1	5	22.7%
小規模校でもできるだけ統合は避けるべきである	0	2	1	6	9	40.9%
わからない	0	0	0	0	0	0.0%



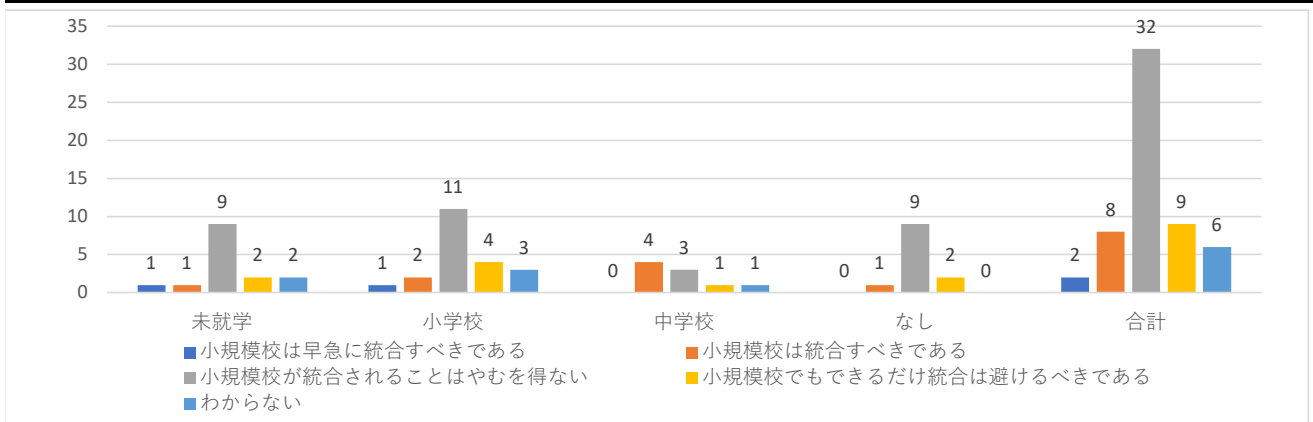
適正規模校にするため、隣接学校区との境界を見直す学校区域変更に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

洞戸小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
学校区域変更は積極的にすべきである	3	1	0	0	4	7.0%
学校区域変更はすべきである	1	0	4	1	6	10.5%
学校区域が変更されることはやむを得ない	8	10	3	9	30	52.6%
学校区域変更はできるだけ避けるべきである	1	6	1	2	10	17.5%
わからない	2	4	1	0	7	12.3%



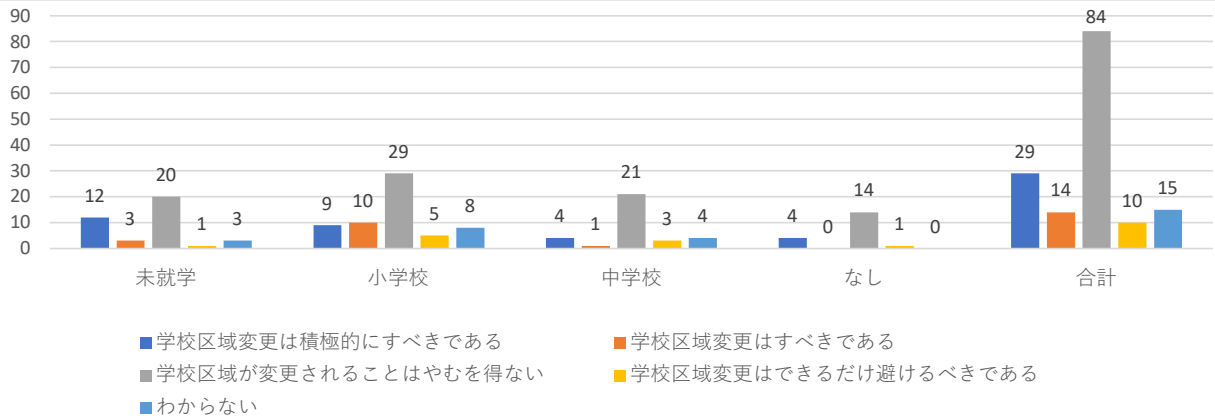
今後、児童生徒数減少化傾向が続くことが予想されていますが、適正規模に満たない小中学校（小規模校といいます）に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

洞戸小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
小規模校は早急に統合すべきである	1	1	0	0	2	3.5%
小規模校は統合すべきである	1	2	4	1	8	14.0%
小規模校が統合されることはやむを得ない	9	11	3	9	32	56.1%
小規模校でもできるだけ統合は避けるべきである	2	4	1	2	9	15.8%
わからない	2	3	1	0	6	10.5%



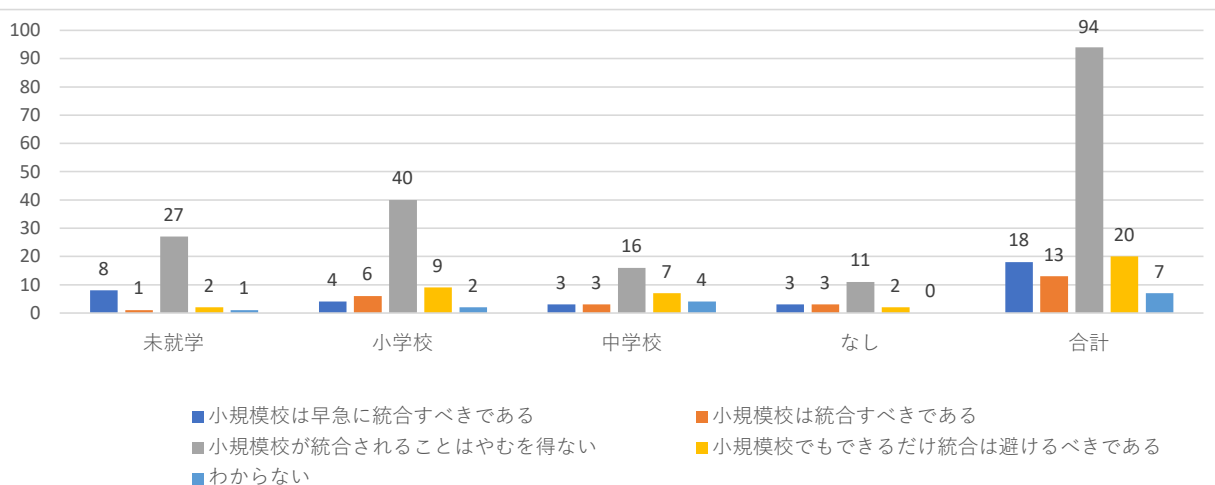
適正規模校にするため、隣接学校区との境界を見直す学校区域変更に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

博愛小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
学校区域変更は積極的にすべきである	12	9	4	4	29	19.1%
学校区域変更はすべきである	3	10	1	0	14	9.2%
学校区域が変更されることはやむを得ない	20	29	21	14	84	55.3%
学校区域変更はできるだけ避けるべきである	1	5	3	1	10	6.6%
わからない	3	8	4	0	15	9.9%



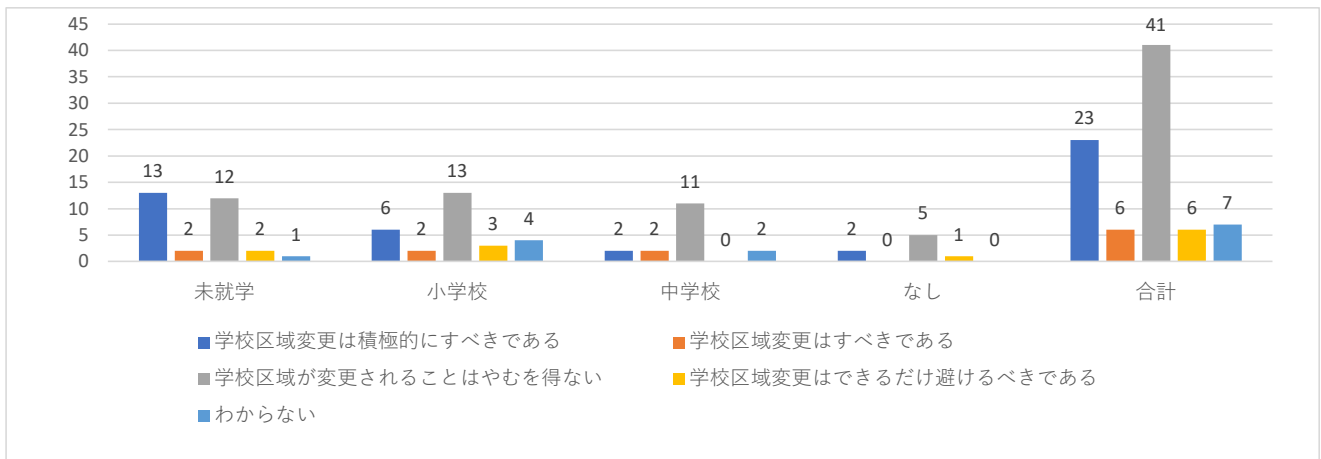
今後、児童生徒数減少化傾向が続くことが予想されていますが、適正規模に満たない小中学校（小規模校といいます）に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

博愛小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
小規模校は早急に統合すべきである	8	4	3	3	18	11.8%
小規模校は統合すべきである	1	6	3	3	13	8.6%
小規模校が統合されることはやむを得ない	27	40	16	11	94	61.8%
小規模校でもできるだけ統合は避けるべきである	2	9	7	2	20	13.2%
わからない	1	2	4	0	7	4.6%



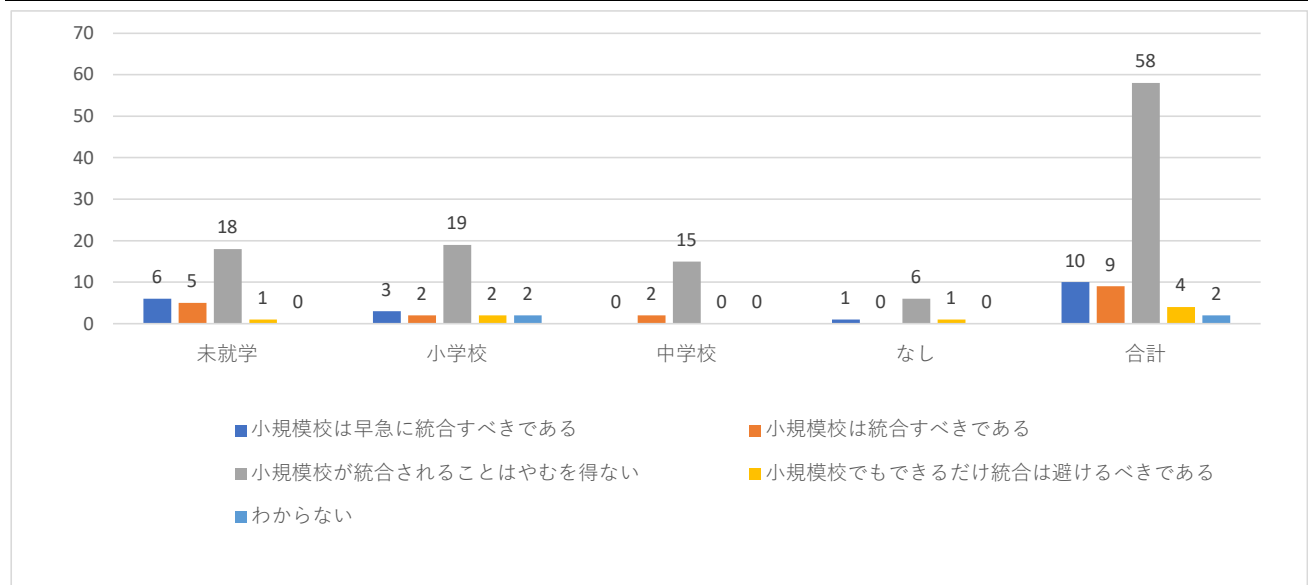
適正規模校にするため、隣接学校区との境界を見直す学校区域変更に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

武芸小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
学校区域変更は積極的にすべきである	13	6	2	2	23	27.7%
学校区域変更はすべきである	2	2	2	0	6	7.2%
学校区域が変更されることはやむを得ない	12	13	11	5	41	49.4%
学校区域変更はできるだけ避けるべきである	2	3	0	1	6	7.2%
わからない	1	4	2	0	7	8.4%



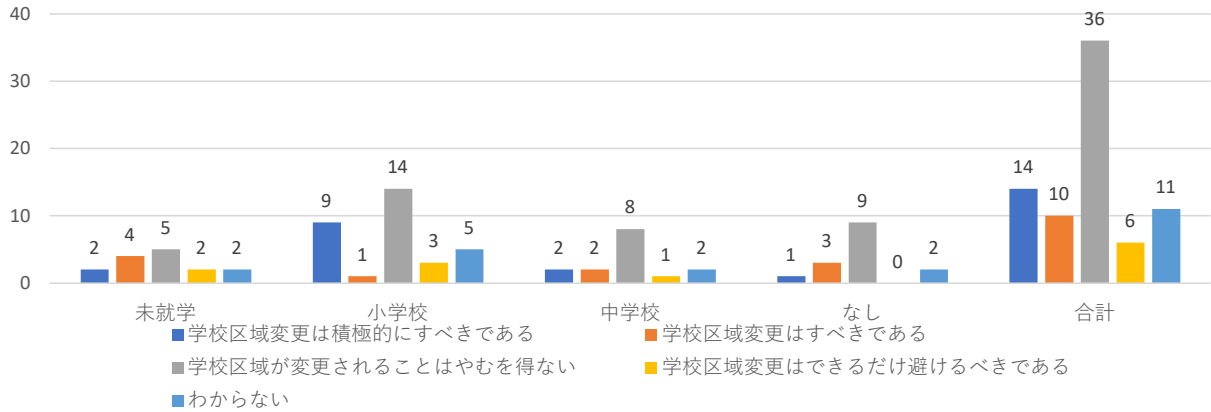
今後、児童生徒数減少化傾向が続くことが予想されていますが、適正規模に満たない小中学校（小規模校といいます）に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

武芸小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
小規模校は早急に統合すべきである	6	3	0	1	10	12.0%
小規模校は統合すべきである	5	2	2	0	9	10.8%
小規模校が統合されることはやむを得ない	18	19	15	6	58	69.9%
小規模校でもできるだけ統合は避けるべきである	1	2	0	1	4	4.8%
わからない	0	2	0	0	2	2.4%



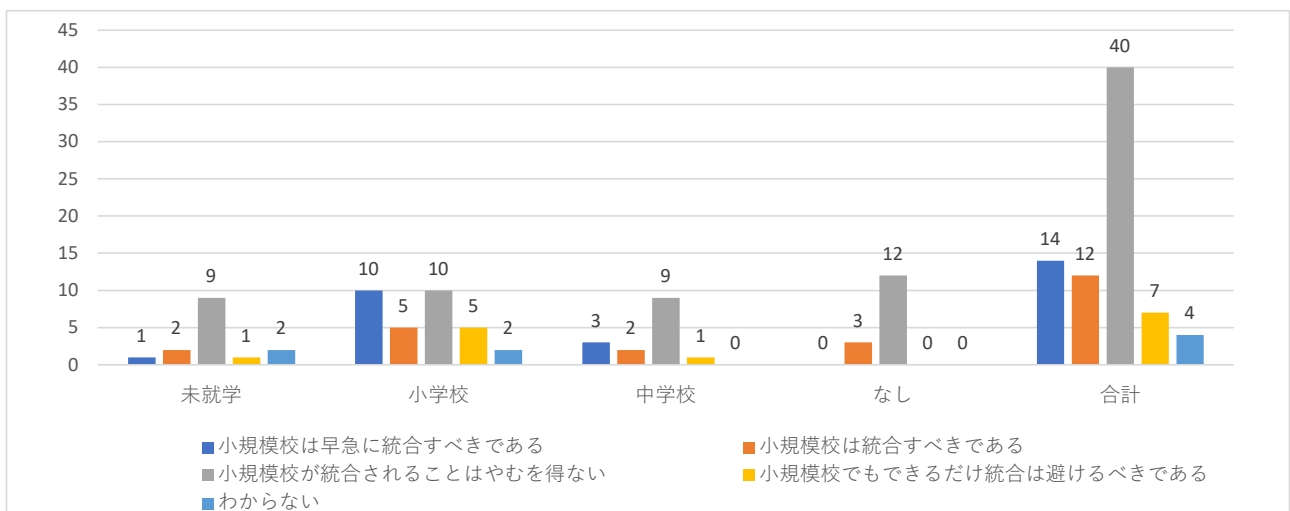
適正規模校にするため、隣接学校区との境界を見直す学校区域変更に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

武儀小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
学校区域変更は積極的にすべきである	2	9	2	1	14	18.2%
学校区域変更はすべきである	4	1	2	3	10	13.0%
学校区域が変更されることはやむを得ない	5	14	8	9	36	46.8%
学校区域変更はできるだけ避けるべきである	2	3	1	0	6	7.8%
わからない	2	5	2	2	11	14.3%



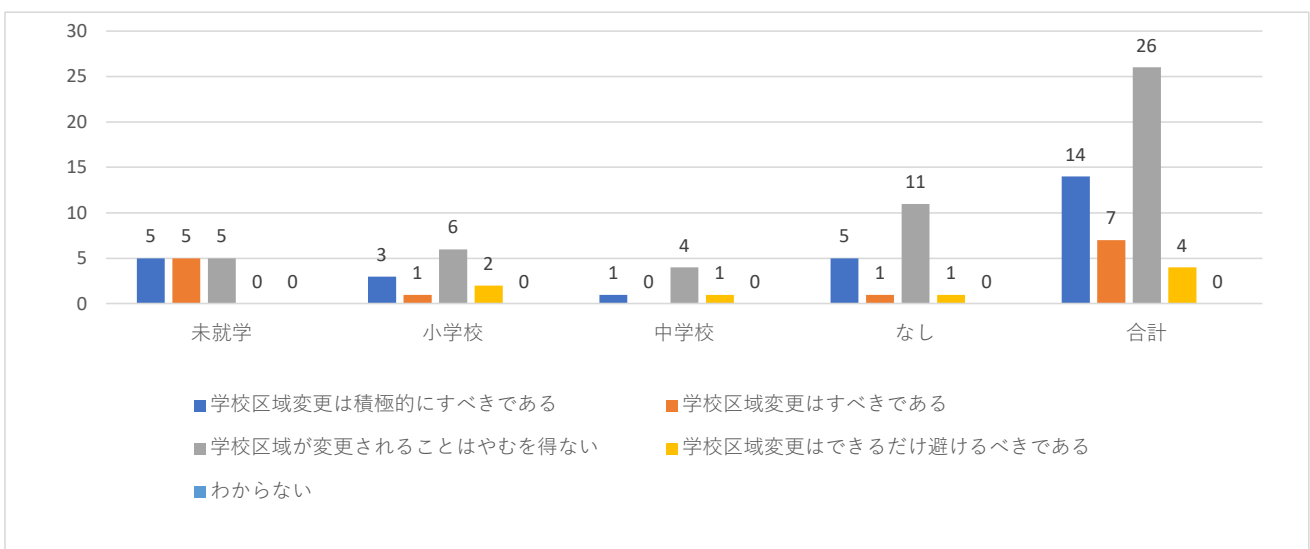
今後、児童生徒数減少化傾向が続くことが予想されていますが、適正規模に満たない小中学校（小規模校といいます）に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

武儀小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
小規模校は早急に統合すべきである	1	10	3	0	14	18.2%
小規模校は統合すべきである	2	5	2	3	12	15.6%
小規模校が統合されることはやむを得ない	9	10	9	12	40	51.9%
小規模校でもできるだけ統合は避けるべきである	1	5	1	0	7	9.1%
わからない	2	2	0	0	4	5.2%



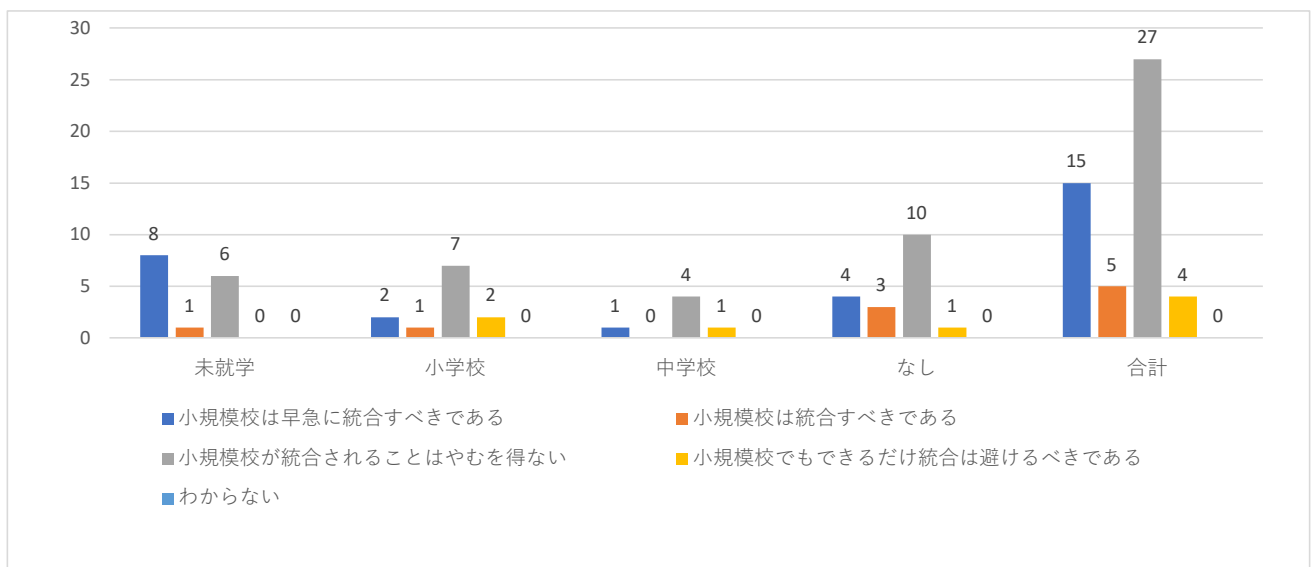
適正規模校にするため、隣接学校区との境界を見直す学校区域変更に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

上之保小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
学校区域変更は積極的にすべきである	5	3	1	5	14	27.5%
学校区域変更はすべきである	5	1	0	1	7	13.7%
学校区域が変更されることはやむを得ない	5	6	4	11	26	51.0%
学校区域変更はできるだけ避けるべきである	0	2	1	1	4	7.8%
わからない	0	0	0	0	0	0.0%



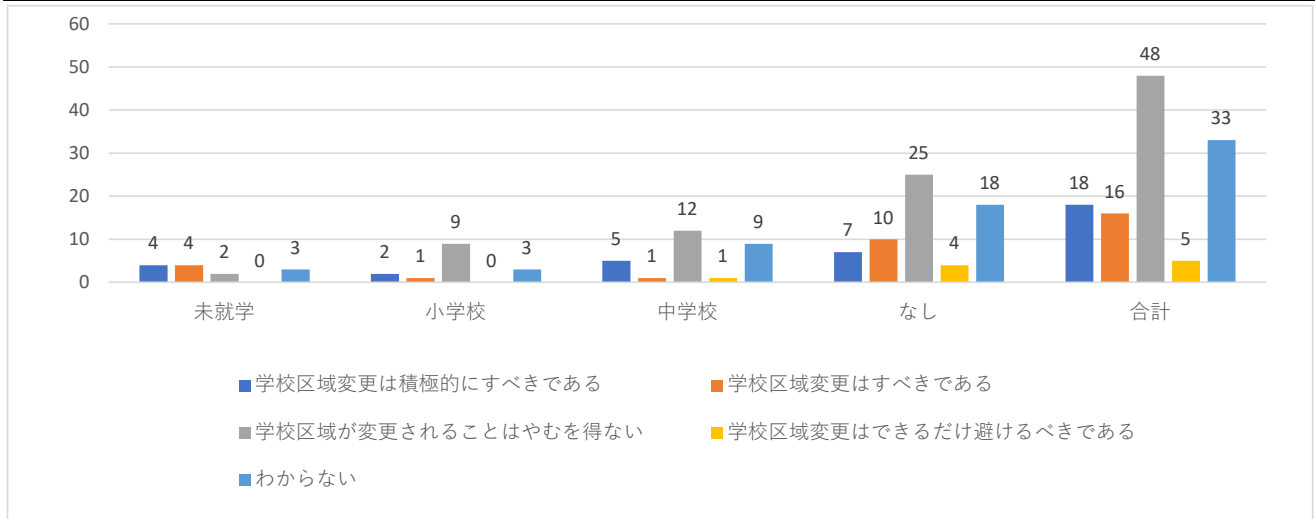
今後、児童生徒数減少化傾向が続くことが予想されていますが、適正規模に満たない小中学校（小規模校といいます）に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

上之保小	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
小規模校は早急に統合すべきである	8	2	1	4	15	29.4%
小規模校は統合すべきである	1	1	0	3	5	9.8%
小規模校が統合されることはやむを得ない	6	7	4	10	27	52.9%
小規模校でもできるだけ統合は避けるべきである	0	2	1	1	4	7.8%
わからない	0	0	0	0	0	0.0%



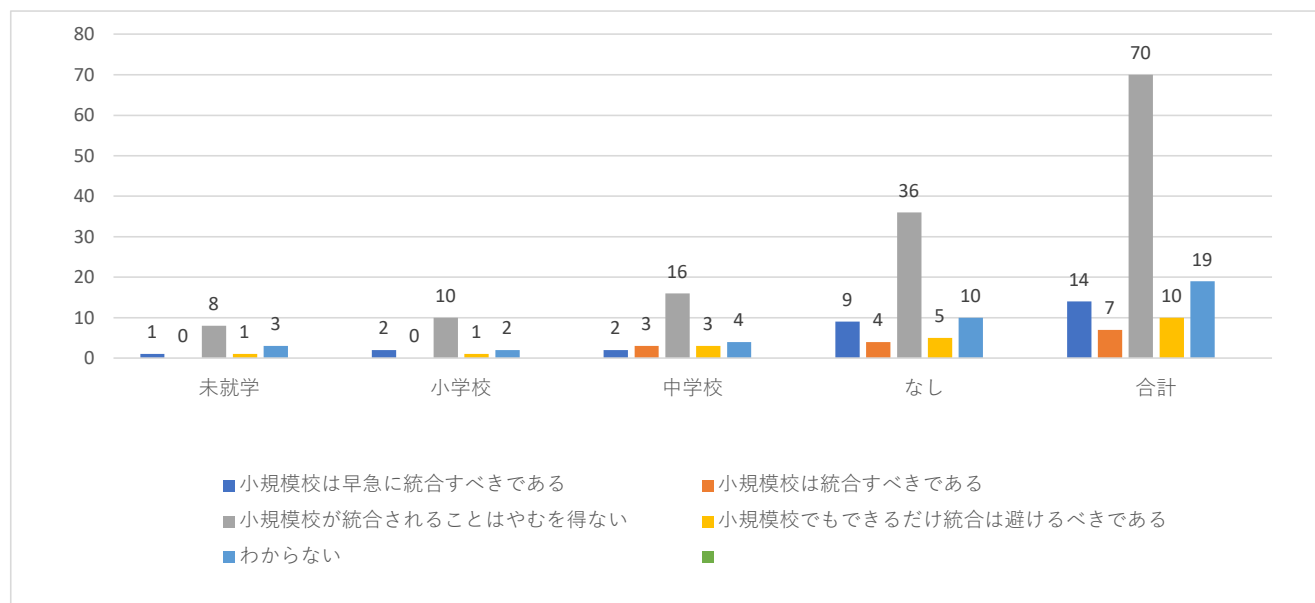
適正規模校にするため、隣接学校区との境界を見直す学校区域変更に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

市外	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
学校区域変更は積極的にすべきである	4	2	5	7	18	15.0%
学校区域変更はすべきである	4	1	1	10	16	13.3%
学校区域が変更されることはやむを得ない	2	9	12	25	48	40.0%
学校区域変更はできるだけ避けるべきである	0	0	1	4	5	4.2%
わからない	3	3	9	18	33	27.5%



今後、児童生徒数減少化傾向が続くことが予想されていますが、適正規模に満たない小中学校（小規模校といいます）に関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

市外	未就学	小学校	中学校	なし	合計	割合
小規模校は早急に統合すべきである	1	2	2	9	14	11.7%
小規模校は統合すべきである	0	0	3	4	7	5.8%
小規模校が統合されることはやむを得ない	8	10	16	36	70	58.3%
小規模校でもできるだけ統合は避けるべきである	1	1	3	5	10	8.3%
わからない	3	2	4	10	19	15.8%



5. 学校教育で配慮してほしいことは何ですか。その他

※個人が特定される恐れのある内容については、抽象化しています。

- ・ アレルギー症状が出た時の対応 校外学習で呼吸が苦しく話すことも出来ずその場から動く事も出来ない状態で誰も気がつかない病院にも行けなかった事がありました。声かけや様子見ていただけると助かります。
- ・ いじめなどトラブルが無いような環境
- ・ いじめなどを素早く発見できる環境
- ・ いじめのない学校生活
- ・ えこひいきのない指導
- ・ オンラインの活用。好きな場所で授業が受けられること。
- ・ カリキュラムの関係で難しいのかもしれませんが、古い考え方かと思いますが昔と違い道德教育が疎かになっていると感じます。英会話やIT、SDGs等も大切ではあると思うがまずは道德かと思います。
- ・ キャリア教育の更なる推進。民間企業の方から学ぶ機会。
- ・ クラブ活動の音楽、楽器などの選択肢
- ・ その子その子の個性を大事にしてほしい。
- ・ デジタルへ早めに慣れさせて欲しい。今後の社会への苦手意識を無くす為に。
- ・ ハンディのある子に対しての教育のあり方と理解
- ・ ひとり親のため全学年での運動会の場合、子どもを家に置いて場所取り出来ない。場所取りが出来ないため観覧がテントやテントから出た人の日傘で見えない。場所取りが出来ていないため自分は良くて下の子の休憩場所がなく空いてる所を見つけ昼食するのも厳しい。家族で昼食のため行くけど見えないのに行く意味あるのかなと…。緩和された今年からの運動会が怖い。授業参観後に大きな荷物を持ち帰る事が多く仕事を休まないと行けない。一人一人の発表の場があるときも同じ。
- ・ 安全性
- ・ 一クラス、三十人以下が理想
- ・ 一人一人が楽しんで学校に行けるようないじめがない学校生活。
- ・ 学区の自由な選択
- ・ 学校が楽しいと思える環境 ○○小学校に関してですが、先生の前に人としての質が悪い方が多く見られます。厳しくも愛を持っている先生は子どもでも分かります。先生が温かい それだけで苦手な教科や気分が乗らない日でも学校に足が向かない そういう事は減るんじゃないかなと。
- ・ 学校で不快な思いをした子への対応
- ・ 学習が多様化しているので宿題の量を減らしてほしい。特に漢字ドリルの二回目は作業になっておりマイナス記憶として脳に残り漢字嫌いの原因となっています。
- ・ 学童保育を小学校6年生まで行って欲しい。
- ・ 共働き家庭でも子どもが受けられる経験に不利益が出ない仕組み・配慮
- ・ 協調性や団体行動の慣れ、道德など。
- ・ 教員の負担軽減
- ・ 教師の発言。過去に、あたかも将来わが子が泥棒になるかのような話をされた。
- ・ 現在の学校教育法の改訂による小集団での教育の実施。現在は、約30名ほどで1クラスとなり教育されているが、1クラスあたりを20名以下に設定し、子ども一人ひとりをよくみて、教員の目の届きやすい環境を作してほしい。

- ・ 個々にばかり配慮し過ぎとコロナの影響も含め、集団で一致団結する機会が減っている。少子化という時こそ、横や縦の繋がりの強化、集団で成し遂げる成功体験を増やしていかなければ、大人になった時、協力の言葉がけや知恵、方法が分からず孤立してしまうと危惧する。それに対応出来る力をつける機会を子ども達に与えて欲しい。
- ・ 公立校以外の安心して通える場所の確保
- ・ 校長の生徒に対する態度を考えてほしい。
- ・ 国際的な教育
- ・ 今までに先生がしてくれたこと。
- ・ 今年度より自主学習ということで宿題というものがなくなりました。家での勉強が自分で出来る子とそうでない子で学力に差が出るのが心配です。両親共働きの家としてはせめて毎日課題だけでも出してほしいです。(学校からの課題なら取りかかれます。親の「勉強しなさい」は効果がないので。)丸付けなどは今まで通り親がします。先生の手をわずらわせないで上手く行く方法はないでしょうか。
- ・ 子どもの数に対して、適切な教師の人数を確保してほしい。
- ・ 支援学級に関して頭数で先生の割り当てが決まるやり方。子どもがまともにコミュニケーションが学べるとお考えでしょうか。社会に出て生きていく力をつけなければなりません。そのための義務教育と考えています。ひっくるめてまとめようとしても子どもは別の行動を取ります。もっと個別対応し
- ・ 叱られ慣れていない子ども達が増えています。暴言や体罰はもちろんあってはいけませんが、いけないことはいけないと毅然とした態度で親、子ども達に学校全体で対応してほしいです。社会に出ても逆境に負けないメンタルを育てる。社会全体で考えないといけないことだと思いますが。あれダメこれダメ、みんな一律にこれをしなくてはいけないなど、子ども達にもっと考えさせて判断することができる機会を与えていかなくは、考える能力を失っていくと思います。学校現場だけではありませんが、遊具の事故→撤去など、危ないと思うものをどうしたら怪我なく遊べるか等経験させて考えさせることを大人がしなくてはいけないと思います。
- ・ 障害や病気がある子への個別対応
- ・ 信頼できる教育者の育成。警察沙汰になる人間は教員免許剥奪、再取得をさせない制度。及び個々の教員の負担の削減。先生に無理をさせすぎるツケは子どもに回ってくる。悪循環。
- ・ 人間力を付けさせてほしい。
- ・ 人権の授業障がいに対する理解
- ・ 世論や一部の過激な大人に翻弄されないこと。自分たちがやろうとしていることは適切か、また本当にやらなければいけないことは何か、それを吟味しながら、改悪を改革と履き違えないように学校を運営していただきたいです。
- ・ 先生方が子どもたちと接する時間の確保。事務作業等の軽減。余裕のある人員の確保。先生方の仕事の余裕がある事が大切だと思います。
- ・ 素行不良の生徒に対する対応。その他生徒が快適に学校に通えるようにして欲しいです。
- ・ 他校との差別化。オリジナリティ。
- ・ 多様な特徴を持つ子どもが同じ集団（社会）の中で違いを理解し、互いに認め合って生きる姿勢を育ててほしい。
- ・ 大人数の学校に賛成させたい設問ばかりで答えられません。
- ・ 地域間の教育格差

- ・ 特別支援の充実
- ・ 不登校になる理由を理解して行ける様にして欲しい。
- ・ 不登校の児童に対する対応
- ・ 不登校の児童生徒に対する適切な指導を、考えてほしい。もっと道徳的な時間を増やして人間形成を作る授業を、してほしい。また最近の若いひとは、我慢が出来ないので、ある程度生徒を縛るのも必要かと思います。
- ・ 部活動の活性化と保護者負担の両立
- ・ 分かりやすく、楽しい授業の工夫
- ・ 友達関係、いじめについて
- ・ 乱暴な子や悪ふざけをする子への指導
- ・ 良好な友人関係の形成
- ・ 令和の日本型学校教育の世界観を着実に実行して頂きたい。

8. 学校規模を審議するにあたり、配慮してほしいことは何ですか。その他

- ・ 特に小学校の通学区域を決める際、同じ小学校の卒業生が分かれて進学することがないように、同じ小学校の卒業生は同じ中学校に進むことを原則とすべきです。理由は、子どもたちが小学校で築いてきたより良き人間関係を壊すことなく、中学校生活にスムーズになじんで行ける環境を作るためです。現在、安桜小学校を卒業した児童は緑ヶ丘中と桜ヶ丘中に分かれて進学していますが、このような状況は作るべきでないと思います。
- ・ スクールバスなどの利用による子どもの体力低下への対策
- ・ そもその学校の適正規模に疑問があります。
- ・ 一クラス、三十人以下が理想
- ・ 遠方からの登校の配慮として、登校時間を少し遅らす。スクールバスを市の循環バスなどで補う。
- ・ 学校まで通学距離がある場合は送迎をお願いしたいです。
- ・ 学校をまとめることにより効率化し、先生方が目の届くレベルの学級生徒数にすること。
- ・ 学内トラブル、教育レベルに関する問題、家庭の事情等により学校生活の継続が困難であると本人又は保護者が判断した場合の転校先について
- ・ 教員の人数と適正
- ・ 区域外通学は、柔軟にしていく。部活動の地域移行を進めても、箱や母体は学校単位になりやすい。
- ・ 小規模も大規模もあっていいんじゃないかと思います。
- ・ 地域をまわるスクールバスを導入してほしい。出来ないならば、オンラインを活用してほしい。
- ・ 通学バス
- ・ 適正規模の基となる標準規模は昭和33年に条文化された学校教育法施行規則を参考に定められた考えられ、現在の子どもの実態や特徴、生活環境等を考慮しているとはいえない。適正規模に関して現在の子どもの姿から再考するべきと考えます。
- ・ 統合する学校に優劣がつけられないよう配慮（小規模学校の児童生徒へのいじめや冷やかし。学校名や学校目標。）クラス編成時の配慮（小規模校の児童生徒が各クラス均等に編成されるように。）
- ・ 統廃合により、徒歩で通えない場合の通学バスを検討。

9. 学校規模に関するご意見があればご自由にお書きください。

※個人が特定される恐れのある内容については、抽象化しています。

- 【意見を分類】 1. 反対 2. 賛成 3. やむを得ない 4. 通学選択 5. 前山地区
6. スクールバス 7. 小中一貫校（義務教育学校） 8. 交流 9. 少人数学級 10. その他

1	安桜小	児童生徒が少なくなったからといって、安易に学校を統廃合すべきではない。児童生徒が減らないような、学校の統廃合を検討する必要が無くなるような、そういう施策を採るのが行政の務めだと思う。一部地区では人口が増加している(市全域では変わっていないが)ということは、その地区に何か魅力があるはず。それを市全域に拡げる方法を考えてほしい。それが市全体の人口減少への歯止めともなるはず。	1
1	安桜小	小学校教育に限っては、地域との繋がりを最優先に考え、国が示す規模指針や教育関係予算ありきで考えることは、絶対に避けるべきだ。但し、やはり学年が一人だとか全校生徒数が一桁の状況は望ましくはない。	2
1	安桜小	少子化で子どもが少ない状況です。少子化対策で今後子どもが増えていくことは難しいのかもしれませんが、増えていくかもしれないことを考えるとすぐに統合を考えるよりも一人一人に目を配ってその子その子に対応していけるといいのではないかと思います。	3
1	旭ヶ丘小	規模に拘り、個々の子どもの教育をないがしろにしてほしくない。多くの人の中で競わせるばかりが学校教育ではないのではないかと。	4
1	旭ヶ丘小	児童生徒の減少→学校の統廃合という短絡的な問題解決の方法には、大きな問題が包含されていると思います。	5
1	桜ヶ丘小	大きくなりすぎるより1人1人が活躍できるようなほうがいい。	6
1	桜ヶ丘小	闇雲に統合してしまうと、廃校が増えるだけで私達の母校が無くなってしまおうのでは？との不安もある。小規模でも生徒と良い学校は作られると思うので大きくすることには賛成できかねない。	7
1	桜ヶ丘小	小規模でも、そこには通う子どもが居る限りは、統合しない事が理想です。地域との繋がりが統合される事により遠ざかり、しいては安全安心も阻害される事への懸念があります。効率は悪いかもかもしれませんが、過疎地には、数人しかいない小学校もある現状、少し少ないからと言って、統合の考えには、賛同しかねます。	8
1	桜ヶ丘小	人数だけで、全てを決めていくのは時代に逆行していると思う。	9
1	桜ヶ丘小	学校が遠くなるのは嫌なので、なるべく変えて欲しくない。	10
1	瀬尻小	子どもたちが無理のない通学距離にしてほしい。特に自分から物事をはっきり言えない子どもたちもいると思うので、仲間はずれにならず楽しく過ごせる学校生活にしてほしい。少人数で困るのは子どもたちではなく大人の都合。少人数というのは仲良く過ごせるいい人数だと思います。	11
1	倉知小	学校に通うのは子どもなので、子どもの立場になって通いやすい方法、環境を考えて、子どもの意見も大事にしていきたいです。小規模校のメリット面も全面的にアピールして市外からの里山留学等新たな方法も検討してその地域の子の環境を保てていけるような形も検討していきたいです。（ニュースで岡崎市の山の奥の方の小学校で取り組まれてるのを見ていい取り組みだなと思いました。その小学校は、市内の小学校からも希望者を募って市内の自宅から通えるようにスクールバスも出していました。学校では街中の小学校では経験できないようなその地域の取り組み田植えなども出来るようでした。）無くすのは簡単だけど、学校を減らしたらその地域の過疎化は進むので難しい問題だけれどもよりいい方法が考えられればと思います。	12
1	倉知小	少人数の学校では、教師が生徒一人ひとりに細やかな配慮が出来るのに対し、国の求める規模のクラスでは生徒に対して細やかな配慮が難しい面がある。小規模の学校から転校した子どもが馴染めずに不登校になった経験があるので、少人数に慣れた子どもには負担が大きいのではないかと。親としては少人数で一人ひとりにしっかりと向き合える環境が望ましいので、安易に統合するのではなく、子どもの特性や学習のレベルに応じた配慮の事もしっかりと審議してほしい。	13

1	南ヶ丘小	規模が小さいなら小さいの良さはあり、だからこそ叶えられたことも越えてこれたこともあります。全てを人数に適した学校にするのではなく色々な学校があっても良いのではないのでしょうか。統合には反対です。	14
1	富岡小	富岡小学校区で土地を買って富岡保育園に入れているので子どものためにも校区変更はやめてもらいたい。	15
1	富岡小	校区の再編で 上の子と下の子の学校が変わる様な事だけはやめてほしいです	16
1	富岡小	国が考えている学校規模と、関市の現状における学校規模との間に差があるのではないのでしょうか。現状の学区に問題があるとは思えませんが、子ども達に無理をさせないようにご配慮ください。	17
1	富岡小	学校が一度閉鎖になると今までの例から見ても再び復活する事は不可能であると考えます。更にそれによってその地域の衰退は加速されるだろうと考えられ、学校閉鎖、統合などは学校教育だけの問題とせず、地域を含む地方公共団体の問題として広く、歴史的にも深く検討されるべきとかがえます。	18
1	富岡小	複式学級の良さを生かした学校経営	19
1	田原小	学校の維持管理する経済的な面からすると市の負担が大きくなることが予想されるが、地域から学校が亡くなることによってより過疎化が進みます。できる限り、継続できるように学校の運営形態等について工夫していくべきと考える。	20
1	下有知小	少子化により学校区の統合の検討が必要なことは理解できます、しかしながら、少人数であることのメリットもあると思います。 例えば、先生一人当たりが指導する児童の数が少ないと、より手厚い指導ができるのではないかと考えます。国の定める適正規模の根拠がよくわかりません。少ないと何が問題なのでしょう。なぜダメなのか教えて欲しいです。先生の確保が難しいのでしょうか。お金がかかるということなら、教育にお金を掛けることは大事だと思う方ですが。	21
1	富野小	小規模校だからこそ育つ人材がいるということ配慮してしてくれるとありがたい。また、小規模校は他校や他者と関わる機会や他者からの刺激が少なく、高校生活とのギャップや人間関係など様々場面で悩むことがあるということも考慮してもらいたい。	22
1	富野小	学年に1クラスしかなくても、それが悪いことだとは思わない。小規模な学校は個々の生徒への指導がよく行き届くと思う。また、学校をその地域からなくすことは過疎化を進める要因の1つとなるので、単に児童生徒数が少ないからという理由だけで統廃合を決めないで欲しい。	23
1	富野小	中学3年生は受験があるので、その時に統合の年になった子ども達は環境の変化によって、学力低下や心身の不調に繋がり、自分の実力を発揮出来なくなる事が絶対あると思います。なので、統合には反対です。	24
1	富野小	国の適正規模の意味がわからない。何十年も1クラスなので、なんだか不愉快アンケート。	25
1	富野小	富野も小規模校ですが、子ども達はとても健全に育っていると感じます。地域に密着した行事も多く、子どもの育つ環境としては理想的だと感じています。居住区から離れた学校に通う事で、地域との繋がりが薄くなるのではないかと不安に感じます。	26
1	金竜小	現在大規模な学校だが、一人一人に目が行き届いていないと思っている。なんでもかんでも規模を大きくすればいいとは言いきれない。	27
1	金竜小	私自身学校区域変更でたった5人だけ小学校の仲間と別れ別の中学に入ったことがあります。すぐに馴染めればいいのですが、ある程度年齢があがると、グループが出来上がってる所にいきなり投げ出された感があり、それによってイジメ、仲間ハズレなど、苦しんだ期間があります。自分の子どもにはそんな苦しみは味合わせたくないの出来るだけ避けて欲しいです。	28
1	金竜小	小規模の学校今後増えていくのがダメなこととは思わない。学校経営的には大変だと思うけどそれだけ一人ひとりの子どもをみてあげることができると思う。	29

1	金竜小	小規模は、それだけ先生の日も届きやすく、アットホームな雰囲気が出るのも魅力のひとつだと思います。でも確かに特に中学校だと、専任教科以外も指導することになり、先生の負担が増してしまうので、統合した方がいいと思う反面、通学距離が延びる子も沢山出てくるので、それはどうかとも思います。	30
1	金竜小	効率だけで良いのでしょうか？例えば、国鉄からJRになったらどんどん廃線になり過疎が進んでいます。小学校がなくなることは過疎化が進むことだと思います。公立なら利益を考えなくてもいいのでは。	31
1	金竜小	地域の自治と特性を教育に反映させて欲しい。合理化を重視して、教育が画一化される事には懸念。私事ですが、小学校の図工や社会科の授業で時々学校近くの裏山に行き、思い切り遊んだ事が、一番楽しい思い出です。皆と楽しく遊ぶと、勉強も頑張れました。そんな中で、創造力や仲間づくりが育まれると思います。小さな学校でしか出来ない教育があると思うので、出来るだけ統廃合は避けて欲しい。	32
1	洞戸小	たとえ小規模になっても、自然や地域住民などとのふれあいを大切に、心豊かな人間関係を築ける学校にして欲しい。最近の世の中を見ていて特にそう思います。	33
1	板取小	田舎に住んでいるため、どうしても小規模校、あるいは過小規模校となってしまっている。今でも学校が遠くバス通学であるが、距離がのびる事によってそれに耐えられない子どももいると思います。そして田舎であれば田舎であるほど、学校区を変更した際により遠くの学校になってしまうのは、我々過小規模校の子ども達である。	34
1	板取小	親である自分が言うのは気が引けますが、過小規模、小規模の子ども達はとても気持ちや心が美しく、時にはびっくりしてしまうほどキレイで優しいです。小さな学校の中において、次少し大きな学校に行くと、不登校になるリスクも多いと思いますが、それも重々承知しておりますが、それでも学校区が変わって遠く遠くの学校まで通う子どもの負担を考えると、消極的になってしまうのです。	35
1	板取小	大規模になれば分割することも必要。小規模校を無理やり統合する必要はない。	36
1	博愛小	少人数での授業は個々に目が行き届くので悪いとは思わない。武芸川では統合すると通学にバスなど使用しても長時間になるので子どもへの負担が大きいのと思う。	37
1	武芸小	それぞれの学校の持ち味を生かすことができるよう配慮が必要。大きい学校に、小さい学校が吸収されるようなイメージでは、いじめや、環境の変化によるストレスや、PTA活動のやりにくさが生じる。	38
1	武芸小	現在武芸小学校に通っているが今くらいの規模で小学校のうちは適正であると思っている。高学年から低学年まで顔を知った中であるし、先生たちも子ども達のことを見てくれていると感じる。子ども達も少人数ながらのほほんとした感じで育ち男女仲もよいと感じる。また地域との連携も地元だから地域の方の協力も得やすい。大規模校の人から見ると少ないね、かわいそうと思われがちであるが、小学生のうちはこれくらいがちょうどいいと思っている。むしろ大規模になりたくない。人数が多くなるのは中学校からで十分。効率化などのために地域から学校を簡単に無くさないでほしい。寺尾のような前に、今くらいの規模で減少を食い止められるように市には手を打ってほしい。地域から学校が無くなるということはその地域にとって廃村に近いものがある。子ども達が歩いて通える地元小学校を残してほしい。人数規模的にも博愛と統合したくないのが本音。	39
1	武儀小	在学中に何度も統合があったりするのは、環境の変化によって子どもへの影響が心配なのでやめて欲しい。今後統合が必要になるときは、数年後の子どもの減少だけをみるのではなく、その先の事も考えて統合するかどうかを考えて欲しい。統合によって学校が遠くなったりしたら、PTA活動などを見直していかないと(役員会など)保護者が関わる事も難しくなると思う。	39

1	上之保小	市の中心部の小中学校は適正規模で問題が余り無いと思いますが、武芸川から西、富野から東の地区は子どもだけでなく人口が激減しています。その為移動手段がスクールバスしか無く全員の帰る時間に合わせてだったのでそれまで図書室などで待機でした。何かあれば親が送迎するしかありません。子どもも通学時間がかかる事からおこるストレスがあらゆるところに現れたように思います。例を上げると睡眠不足、勉強時間の確保などです。親も部活の送り迎えなどに苦労しました。統合は仕方ないのかもしれませんが、さらにまた遠くなると気の毒に思います。	40
2	安桜小	小規模の学校を統合させるのには賛成ですが、人数が少ないと手厚くしていただけるけど、人数が多くなると親も子どもも不安なところはあります。勉強だけでなく友達関係とか	1
2	安桜小	人数が少なくクラス替えが出来ないと環境が一定化してしまい困る。少ないなら統合を積極的にして欲しい。多すぎると目が届かなくなるので緑ヶ丘中のこともどうするか考えて欲しい。	2
2	安桜小	児童数の少ない学校では、活動できることに制限ができてしまうと思います。少人数では味わえないことが大人数ではあると思うので、統合して一定の人数を確保すべきだと思います。これから社会に出るにあたり、多くの人と接することが必然になってくるので、小さい頃から大勢の友達と接することが大切だと思います。	3
2	安桜小	児童生徒数が減っているのは少子化でしかないと思いますので、郡部の上之保、武儀、板取、洞戸、富野地区はスクールバスの対応等で通学して統合し、小規模学校を減らすべきと考えます。	4
2	旭ヶ丘小	旭ヶ丘校区と富岡校区の境を少し富岡寄りにして、旭ヶ丘の生徒数を増やしてほしい。	5
2	旭ヶ丘小	うまく校区わけし、ひとクラスの人数が減ればココに目が届きやすいなど。隣接する学校区で極端に生徒数が少ない、多いなどは改善するべきだと思う。スクールバスも検討してもらえれば、子どもの負担の軽減や安全確保もでき、校区わけしやすいのではとおもいます。	6
2	旭ヶ丘小	旭の場合は圧倒的に富岡の方が生徒数が多く、どこかのタイミングで見直さないといけないと思っていた。やっと動き出した今、反対意見も多いと思いますが、積極的に話をすすめて子どもたちの為に早い決定・行動をよろしくお願いします。	7
2	旭ヶ丘小	教職員の不足や働き方改革、又、人権遵守による子どもや親への対応をもっと明確にしていく必要があると思います。家庭と義務教育の切り離しも今後の課題かと思っています。学校規模に関しては、統合によるある程度の一極化を目指して関市としての教育方針を定めて、各先生による指導能力の差を埋めて行くべきだと感じます。各クラスの担任は必要です。算数や英語などは専任の先生がより理解しやすく、やらなくてはいけない学習から、やりたいと思える学習にシフトして行けたらいいと思います。レベルに応じたクラス分けも必要だと考えます。	8
2	旭ヶ丘小	生徒数は多い方が多種多様な人と関わり合える、通学の距離はスクールバスで補えばいいのでは、安直な考えであるが校舎の維持費その他経費を考えると学校は統合していくことがよいと考えます。また廃校になった校舎は福祉に使うとよいと考えます。近隣の独居老人の憩いの場、子育て世代、出産直後の母子または父親の一時避難など、子育てで夜眠れない、育児につかれてごはんも作れない、食べる時間もとれない、そういった方への24時間ケア、特に夜、お金だけでなく本当の支援があれば若い世代が関に残ったり、入ってきたりするのではと考えます。	9
2	旭ヶ丘小	早急に見直すべき事案で、教職員の確保や、授業の減少などから子ども達への負担は増し各学校との教育の質の違いを感じる。義務教育をある程度の人数で過ごす事で、切磋琢磨、協調、多様な自ら感じ学ぶ機会を軽視している。	10
2	桜ヶ丘小	児童生徒数が少ない学校では、人間関係が固定化されてしまう傾向にあると感じる。また学校職員の配置等においても、小規模の学校では免外教科を受け持つ必要性が生じてしまい、専門性や勤務の適性化とは反する事態が起きてしまうのではないかと感じる。	11
2	桜ヶ丘小	あまりにも生徒数が少ない小学校は統合するべきだと思います。	12
2	桜ヶ丘小	クラス替えができるぐらいの規模がいいと思う。	13

2	桜ヶ丘小	桜ヶ丘小では、昨年度教師が足りなかったと聞いている。小規模校は統合し、それぞれの学校に余裕ある数の教師を確保してほしい。これ以上教師に負担をかけるのは無理がある。	14
2	桜ヶ丘小	子どもの環境を思うと距離が短いなら、学校同士統廃合すべきだと思う。	15
2	桜ヶ丘小	学年ごとの人数のばらつきはない方がいいのではないかと思います。学校区の変更もやむを得ないところですが、できるだけ地元愛を深めるためにも地域の優位性も考えて頂きたい。	16
2	瀬尻小	個人的に子どもはある程度の人数のいる環境で育てて欲しいと考えています。ですから人数が少なれば統合することに賛成です。1校減ることで経費が浮く分、統合により登校に時間がかかるようになる地区の子どもへは通学バスを走らせるくらいできるかなと思います。	17
2	瀬尻小	私も実家で小学校、中学校が合併されましたが、母校が無くなったことに何も思いません。それより、少人数への対応で削減出来るはずの費用や、多数で学ぶ機会を奪う方が問題だと思います。	18
2	瀬尻小	少数には、少数の良い箇所があると思います。しかし、数年に渡り同様の価値観を維持し続けるだけでなく、反発意見や、敵対意識のある人物との接触。もちろん、多くの可能性を秘めた出会いを、子ども達に与えられたらと思います。多感な時期です。好き嫌いもあり、感情に振り回される姿もあると思います。自分の姿を、友達から学ぶには 多くの出会いが必要かと思っています。	19
2	瀬尻小	統廃合に否定的な人は今しか見ていないのではないかと思います。これから先の関市の児童生徒のことを考え、将来的に関市に学校を残していきたいのであれば、統廃合を早急に進める以外の選択肢は無いと思う。人数の少ない学校は運営コストが割高になる上、子どもにとっても集団生活から得られるはずの学びについて機会損失を被っていると思う。	20
2	瀬尻小	私自身が1学年30人以下、全校生徒150人ほどの小学校出身です。校区見直しはやむをえないかと思っています。小規模校が故の問題も分かりますが、統合の際は通学時間や安全を協議して頂きたいです。	21
2	瀬尻小	1クラスの数30人以上だと、先生の目が行き届かないと聞いたことがあるので、大規模校になっても1クラス30人以下のクラスにして欲しいです。小、中学校の時期は人間形成に非常に大事な時期だと思うので、いろんな考えの友達に触れて欲しいと思います。そのためにも、一学年クラス替えが出来る人数はいて欲しいと思ってます。	22
2	瀬尻小	クラス替えがあることで子どもたちの人間関係について勉強ができると思ってます。クラスでやむを得ず離したくても離せないなどで結果子どもの未来を潰すことがないようにある程度的人数は必要と考えます。しかし子どもの通学負担とならない対応は必須ですので色々な角度からみて考えてもらいたいです。	23
2	瀬尻小	スクールバスを走らせて小規模校の生徒数を増加して活動を確保してあげてほしい。部活動、体育行事など選択肢がなさすぎる。そして高校に入学すると関わり少ない校の生徒は他の生徒と関わりから学んでいかないとならないから人間関係も大変である。	24
2	倉知小	学校が合併して教員が潤うならそうするべきだと思います。	25
2	倉知小	子どもの人数が少ないと聞いている。仕方の無いことですが、やはり自分の子どもにはもっと沢山の子達と関わる機会を与えてあげたいです。学校規模の見直しには賛成です。	26
2	倉知小	小中統合して施設を大きくし、コストをさげたりするのはどうでしょうか。	27
2	倉知小	友達と離れてしまうというのは、あまり考えなくても良いように思う。	28
2	倉知小	クラス数が少ないと、性格が合わない生徒を分けることが出来ず、クラス運営に支障を来すなど、子ども達の成長にも良くなうい。早く手を付けることを希望します。	29
2	南ヶ丘小	親であり学校で働く職員として、ある程度の児童がいないと、色々な面で子どもも高まっていかないと感じる。高校に行った時に小規模の児童は、やはり不安も多く、学校に行けなくなる子どもも多くでてきてしまう。やはり一つの学年で二つの学期があるぐらいがちょうどよいと感じる。	30

2	南ヶ丘小	地域の役員をしております。今後、南ヶ丘は確実に児童数が減少します。個々の細やかな学習指導をしてもらえる分にはとてもよかったです。その一方で、子どもがいじめにあっていたのですが、メンバーが変わらないので逃げ場がありませんでした。また、先生の人数も減り、先生1人あたりの負担がかなり増えているように見受けられます。やはり、学年2クラスは維持できるような規模が必要かと思います。ただ、中学校区は必ず合わせていただきたい。南が丘地区は倉知に入れられがちですが、中学は桜ヶ丘校区です。子どもの過ごしやすい環境づくりをお願い致します。	31
2	南ヶ丘小	教育の平等を図るためには学校規模を適正にすることは必須事項。教科の学習だけではなく、学校生活全体から学ぶべき社会性や協調性など学校が持つ役割は大きい。こうした点からも適正規模は必要と考える。一番大切にしたいことは、子どもたちの将来で、大人や地域の都合を優先すべきではないと思う。中学校部活動の地域移行が問題となっているが、10年後、そんな悠長なことを言っていられなくなっていると思います。	32
2	富岡小	小規模校では限られた人間関係のため逃げ場がなくなってしまう恐れがある。また、幼いうちから多種多様な人がいる事を知り、彼らと関わる事が経験になるが、それができなくなる。だから、統合して減らすべきだと思う。コスト削減にもなるので、小規模校はどんどん減らした方がよい。	33
2	富岡小	教員も人手不足の点からも、統合し、合理化するとよい。	34
2	富岡小	人口減少、人口移動は今後やむを得ないことですので、学校の統廃合は積極的に行い、大規模校や適正規模校に人材を集約していくべき。その上で、魅力ある学校運営をして頂くことで、関市内での人口移動を促進させスモールタウンの実現を目指していただきたいと思います。	35
2	富岡小	沢山あり過ぎるので統合をすぐに進めるべきである。	36
2	田原小	たくさん子ども同士が関わる機会は大切だと思うので、規模の変更も大事だと思う。	37
2	田原小	今の学校でさえ、徒歩40分ほどかかります。統合は賛成ですが、スクールバスなどの手段を取り入れて欲しい。夏は熱中症で下校中に倒れそうです。	38
2	下有知小	学校の統合には賛成ですが、生徒を一ヶ所に集めた集団教育の中で、教員の数が少なくなる事には反対です。大人の目が届かない状況になる事もいじめの増加や、揉め事の内容把握が出来なくなる事が懸念されます。	39
2	下有知小	昔ながらの考え方は無くして、今までこうだったからこうしようではなく、多数決はありで、せっかくこのようなアンケートをするならば積極的にアンケートは取り入れるべき。少数の意見は大事だが子ども第一に考えたやり方がよいと思います。	40
2	下有知小	近隣の郡上市、山梨市も、今後どんどん統合されていきます。教員不足に対応するためにも、早急な検討が必要かと思われます。来年度広報、再来年度実施くらいのスピードが絶対必要です。関市は出遅れています。	41
2	下有知小	小規模だと部活などやりたいことがないかもしれないが行き届いた教育が受けられる良さもあると思う。大規模を適正にする方が子どもたちにはいい環境が生まれるのではと思います。	42
2	下有知小	待ったなしです。早く覚悟を決めて取り掛からないと、取り返しのつかないことになる。	43
2	富野小	今通っている中学校の人数が少なすぎるためクラス替えもなく固定化された人間関係に子どもがストレスを感じ不登校になったことがあり、今もなりそうです。下の子たちも男子2人しかいないなど、偏っているため他校と合併して欲しい。	44
2	富野小	人数が少なくPTAなどの負担が半端ではなく、子どもも人間関係に変化がないため転校も考えている。	45

2	富野小	生徒数が少なく全学年1クラスで、中学校ももちあがりのため人数も増えないので早急に合併して欲しいです。	46
2	富野小	富岡地区は子どもが多いため、必要があるかはわかりませんが、子どもたちの思いや意見が一番大切だと思います。それと、教員減少に伴い、先生方の負担があるのであれば、統合し教員の潤い＝子どもたちの見守り・勉強の強化ができるなら、統合ができれば素晴らしいことだと思います。	47
2	富野小	この人数のまま中学校卒業までなので、早く統合してほしいです。習い事も遠くまで行き、ほかの地域と関わりをもたないといけないので大変です。	48
2	富野小	富野地区在住で年々子どもの人数減少により、同級生が少ないことが心配です。保育園～中学校までどこの地域とも交わることがないので、張り合いがない、内向的など心配事が多いのが事実です。子どもを産む若い世代が減少しているので、自分が子どもを作りたいなと思っても同級生がないというのが現状です。早く統合してほしいなと思います。	49
2	富野小	富野の子は、保育園から中学校まで12年間同じです。同世代の子と様々な経験を積み、お互いを認めていく力をつけるには、クラスに適正な人数が必要だと思います。区域が広がりますが、寺尾小の子が武芸小に通うように、バス通学でも構いません。また、小規模同士が統合してもきっとまたどこかの学校と再統合になりかねません。小規模校は、適正数のある近隣の学校と統合するのがベストなのではと思います。	50
2	富野小	富野小学校で、ある学年に女子一人しか、児童がいないという話を聞きました。学年一クラスしかないで、女の子の友達がいらないのは、気の毒に思います。その子どもさんの寂しさ、悩みが早く解決されると良いと思います。	51
2	金竜小	今現在でも、スポーツ部員が少ないが為に部の存続が危ぶまれている、又は存続できなくなった学校があると聞きます。やりたいのにやれない状況なのは子ども達にとって機会を与えてあげる事が出来ていないので、これは一例ですが、私達が子どもの頃と同じ様な楽しい体験、苦い経験ど刺激のある学校生活だったとえるようにしてあげたいと思っています。	52
2	金竜小	少なすぎても多すぎても、影響はでるのだと思うので、国で適正だと思われる規模が定められてるのなら、それなりの根拠があってのはずなので、それに合わせるのが良いのでは、と思います	53
2	金竜小	中学校においては小規模の場合、例えばやりたい部活動(スポーツ)がなかったり、あっても部員が少なく試合どころか練習すらままならないこともあります。そのためやりたいことを、断念している場合もあるのではないのでしょうか。部活動の指導が学校から地域へ移行していることで、部員数の確保がうまくいくこともあるでしょう。でも、反対に自分の学校で行えないことで親の負担も増え、部活動から離れていく生徒が増えていくようにも思います。部活動に限らず、子ども達がやりたいこと学びたいことのできる環境をつくって頂けたらいいのではないのでしょうか。	54
2	金竜小	少人数でクラス替えなく人間関係が固まると、社会性が偏ることが多い。お互いに刺激があってこそ教育だと思うので、クラス替えが行える規模が学校として望ましいと思う。学校が近いことも大切だと思うが、教室環境が整うことの方が重要ではと、子育てが終わってからの感想である。	55
2	洞戸小	地域の方々の小学校を残してほしいと言う意見もあるとは思いますが、小学校に通わせる当事者や子どもたちの環境、影響を第一に考え、早急に統合して頂きたいと思っています。	56

2	板取小	私は、子どもがずっとクラス替えのない環境で育つことで、高校へ上がる時の不安が大きいです。板取小と洞戸小が合併したところで、クラス替えのないまま中学卒業まで行くのは仕方のないことだと思いますが、それでもやはり、合併を望みます。合併した上で、他学年との交流などが盛んにあることが理想です。今のままでは、サッカー、野球、バスケ、バレーなんて、とても出来ません。高学年になった時、グループワークもできませんよね？集団生活で、ある程度身につけて、たくましく育ててほしいと思いますが、保育園からずっと仲良しだけでは、不安しかありません。今の時点で、今後小学校へ入学する子も産まれてませんよね。それは行政もわかっていることですよね。数年後に廃校になるぐらいなら、早急に、板取と洞戸の合併を進めてほしいです。通学距離が長くなること、バスに乗る時間も長くなることに、不安がないわけではないですが、それでも、少しでも多い人数の中で学習できる環境を望みます。なかなか進まない、板取小と洞戸小の合併について、板取地域の保護者皆、ヤキモキしています。合併するにあたり、反対している保護者はいません。どうぞよろしくお願い致します。	57
2	板取小	隣の小学校との合併、もしくは自分で選べるようにしてほしい。	58
2	板取小	もうこの先6人しか確実な子どもはいないのに板取に小学校を残しておく必要はあるのでしょうか？疑問に思います。また板取に移住したいと思えるような活動であったり子どもたちが増えるという未来があるのであれば分かりますが、そういった活動が行われているということは聞いていません。板取から洞戸へ通うことを考えると板取の奥の方からだと大変かもしれませんが、板取小学校へ通ったとしても歩いて行ける距離じゃないのは変わらないので朝の出発時間が早くなる事が大変になるという課題だけだと思います。ですが朝30分程早くなるだけで1人では無く友達と学校生活をおくれるようになると考えれば親としたり、遠くなくても集団生活をおくって欲しいと思うのは当然かなと思います。なので私としては板取と洞戸小学校の合併をいち早く行って欲しいと思っています。行きたい小学校を選べるようにしてもらえただけでもとても嬉しく思います。	59
2	博愛小	博愛小学校へ入学予定です 同級生の人数が少ないため通わせたくありません 是非統合をお願いします	60
2	博愛小	武芸川は年々、児童が減っていってると聞きました。武芸川はどのみち中学校になれば、博愛小と武芸小が一緒になりますし、早いうちから統合してもいいのではないかと思います。どちらの校舎を使用するのか、遠くなる児童の通学手段などをしっかりと確保できれば、統合しても問題ないと思います。積極的に議論を進めてもらいたいです。	61
2	博愛小	ちょうど我が家でも食卓の話題に毎日登っています。多様性ということが昨今取り沙汰されていますが、それ以上前に色々な考えて方を持つ大勢の同年代の仲間の中で切磋琢磨あすることが、教育の本質でないでしょうか。同級生が同じ学校に20人満たないというような状況では子ども達の未来の可能性を狭めてしまっていると考えています。1学年2-3クラスは確保できる環境で色々な刺激を受けながら育っていくものだと考えています。公立では難しいのであれば私立へ、という事も選択肢の一つだと考えています。年配者の意見も大切ではありますが、実際子どもを育てている世代の意見を尊重して是非大規模な学校の統合を実現してください。	62
2	博愛小	学年の壁を超えて仲が良かったり、一人一人に目が向けられる、小規模の良さも感じます。ただ、人間関係が固定されて世界が狭いことも心配になるので、適正な人数で子ども一人一人が生き生きと過ごせる環境を考えていきたいと感じます。	63

2	博愛小	早急に統合はすべきだと思います。大規模校に通わせている保護者は別に統合しなくても良いんじゃないか？と大半の方が思うかもしれませんが、小規模校に通わせている保護者は、早急に統合させた方が良いと思っています。生徒数が多いと集団の中で、多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、1人1人の資質や能力を伸ばす事が出来ると思います。また、クラス替えがあることにより、豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成が図れる。切磋琢磨すること等を通じて、社会性や協調性、たくましさ等を育みやすいと思います。こういった事が小規模校の子どもたちには既に経験出来ないことだと思います。生徒数が多ければ多い程、様々な人との関わり方や競争心、協調性が自然と学べる。授業でも、グループ学習や習熟度別学習等が取り入れやすいのではないかなと思います。子どもたちにはこの大事な義務教育9年間で色々な経験をさせ、社会で活躍出来る人になってほしいです。これから関市を支えていく、保護者や子どもたちの意見に早急に動いて頂けたらと思います。こうやってアンケートをとって意見を言える機会を作って下さりありがとうございます。ぜひこの統合の問題が早く解決して下さることを期待しています。宜しくお願い致します。	64
2	博愛小	統合をすることで、教員の確保を十分に行ってほしい。	65
2	博愛小	武芸川地域は、保育園は1つで小学校は2つに分かれ、中学でまた1つになるため、早急に小学校の統合をして頂きたいです。ご検討よろしく申し上げます。	66
2	博愛小	学校は子どものためにあるもの。地域から学校がなくなることに、単に寂しいからと反対する意見は聞く必要はないと思います。	67
2	博愛小	まず一番に改革してほしいのは、どの学年もクラス替えのできる人数にすることです。強い心優しい心を育むためにも、いろんな人達と触れ合う機会を増やしてほしいと思います。そして第二に重要なことは、安全な登下校。必要ならば、通学バスを時間差で登下校各二台ずつ出すようなこともありだと思えます。子どもたちには活気あふれる学校生活を送ってほしいものです。	68
2	博愛小	色んな個性ある子達との繋がりやコミュニケーションの取り方や関わり方などの人間関係が勉強できる場を沢山、作って欲しいです。	69
2	武芸小	武芸小と博愛小を統合してほしい。	70
2	武儀小	子どもの数が少なくなってきたのですぐにでも統合するべきだと思う。	71
2	武儀小	通学距離や通学手段の問題はあると思いますが、旧郡部の小規模校の統合は早急に行ったほうが良いと思います。	72
2	武儀小	少子化が進む中、関市においても学校の再編は避けて通れない問題です。子どもたちにとってバランスのいい教育が受けられるよう長期的な展望で進めていただきたい。	73
2	市外	デメリットも協議し、少しでも解消して統合の実現を図りたい。	74
2	市外	第一案 緑中校区、旭中校区、桜中校区、小金田中校区を基本に、スクールバスを利用するなどして、統合を進めてもらいたい。そして、関市の強味を活かした中池義務教育学校、不登校特例校わかさ中学校を新設して多様なニーズに対応しながら、さらなる統合を進める上での受け皿としても想定しておく。下有知小は安桜、瀬尻に吸収し緑中へ、富野と津保川は富岡小、旭ヶ丘中へ入ってもらう。旭小は桜小や富岡小と、桜小は田原小や富岡小・旭小と区分けを見直し適正規模の可能性をさぐる。 武芸川中校区と板取川中校区の小学校は博愛小にまとめ、金竜小と共に小金田中校区とする。中池に公園施設を活用できる義務教育学校をつくり、市内在住で条件に合う児童生徒から希望抽選をし入学、在籍を決める。通学はスクールバスなどを取り入れる。可能なら特例校とし多様なニーズに対応するカリキュラムを実施。多才なお子さんもお子さんも活躍できる学校をつくる。 第二案 市役所北側に緑ヶ丘をベースにした新緑ヶ丘中を作り、現緑ヶ丘中、旭ヶ丘中、下有知中、富野中、津保川中、武芸川中、板取川中は閉校し、新緑ヶ丘中と桜中と小金田中の三中学にする。緑ヶ丘中、旭ヶ丘中を更地にして市内再開発に役立てる。旭ヶ丘の名前が残せなくなるのは辛いですが、せっかくなら関市が令和時代の日本型学校教育を率先して実施できるように進めていただきたいと思っています。	75

2	市外	特に旧関市内の小学校のうち、南ヶ丘小学校については、旧関市内でも対応が必要かなと思います。	76
3	安桜小	色々事情はあるかと思いますが、子どもたちの事を優先的に考えていただいて、結論をお願いいたします。	1
3	安桜小	私自身は、小規模小学校に通い、中学校は適正校でした。小規模校には小規模校なりの良さがあり、他学年や地域との交流が濃かったり、のびのびと育つことができ、特に不便さを感じたことはありません。逆にクラスが多い方が指導が行きたわらないのではないかと不安があります。ですが、それが適正規模ではないというのなら、廃統合して、地域差を無くすことも大事だと思います。色々な意見があると思いますが、子どもには様々な経験を通して、対応していく力をつけて欲しいので、関市の対応にお任せいたします。	2
3	安桜小	あまり頻繁に統廃合があるのは、地域子どもも混乱するので、やめた方がいいと思います。また廃止になる学校に素晴らしい行事や考え方がある場合は、統合後の新しい体制でも残すなどの配慮もお願いしたい。教育上もその方がいいと思います。	3
3	安桜小	一般的な意見を集めるのも良いのですが1番影響を受けるのは対象の学校の生徒とその親です、またどのような形がベストなのかは人によって異なると思いますので、可能な限り当事者の考えによって決定して欲しいと思います。	4
3	安桜小	区域変更や統合がやむを得ないと思うが、学校までの距離が遠かったり、登下校時にひとりになる距離が長かったりすると、子どもの安全面で心配があります。親に頼れる家庭ばかりではないので、大人の見守り隊の存在が今まで以上に大切になると思います。	5
3	安桜小	新しい環境に慣れるまで個人の気持ちを時々には聞いていただき楽しく学校生活を送れるように配慮していただけると子ども達も過ごしやすくなるのではと考えます。	6
3	安桜小	GIGAスクール構想で、小中学校にタブレットが配布されました。コロナ禍の際、リモート授業を見ておりましたが、正直、一方通行の内容で、本来の授業とは、程遠いものと感じました。児童数の減少に伴い、学校規模の適正化は仕方ないと思います。しかし、この適正化によって、遠方から通学しなければならない児童が出てくると思われるので、タブレットを活用し、リモート授業の質を高めて頂きたいです。	7
3	安桜小	廃校該当校区の方は、自分の母校が無くなる寂しさはあると思いますが、フリースクールの場合として提供するなど、地域で有効に活用して頂ければ報われるかと思います。統合については子どもの心身の安全が確保されるよう推進して頂ければと思います。	8
3	安桜小	私学であれば、電車やバスなどを使って通学するのだから、統合も仕方ないと思います。また、10人に1人、いろんな障害を持つ子どもがいるといわれているので 先生が不足しているところにまわしてほしい。	9
3	旭ヶ丘小	通学路の安全が確保できれば、多少通学時間が伸びても区域変更や統合していいと思う。ただし、安全確保のための旗振りなどは保護者の負担もあるので、シルバーの方の支援やなんらかの方策を考えなくてはいけないと思う。	10
3	旭ヶ丘小	少子化に伴う学校区変更は仕方がない。施設、設備に関して充実して、個人の能力を伸ばす環境があればよい。将来、社会貢献、社会を担う人材が育てばどんな形でもよい。今のことだけを考えるとはいけない。特色ある小学校をつくって選択制にする方法もある。	11
3	旭ヶ丘小	少子化を考えると統合は仕方ないことだと思います。ただ、環境が変わり友達も増え、トラブルや悩みを抱える子が増えるのではと思います。先生も多忙な中で、どのように子どもと向き合い、関わり合ってくれるのが今よりも重要になってくると思います。統合によってどこかに皺寄せがくるのであれば、慎重に時期を見極めて、十分な準備が必要だと思います。	12
3	桜ヶ丘小	小規模校の地域に住まれている方には申し訳ないですが、小規模校なりのいい面はあると思いますが、あまりにも児童数が少ないところでは、学校の設備や教員の人数など効率が悪いところも出てくると思います。反面、やはり通学時間など考えると親の負担が増えてくると考えると一重に統合してしまうのもと考えます。なかなか難しい問題ですね。	13

3	桜ヶ丘小	小規模校の統合はやむえないにしても、スクールバスを使用するなどして、児童生徒が自宅から安全に通学出来るように配慮して頂きたいです。現在の学区でも自転車通学者は雨天時は保護者が送迎せざるを得ないので負担がかかっています。また遠方だと不登校になりやすい一因もあると個人的には感じています。	14
3	瀬尻小	もしやむを得ず統合により無くなってしまいう学校があっても、その学校の良さや伝統、なごりなどを残した形で跡地を再活用して欲しいです。	15
3	瀬尻小	今後子どもの数は減少する一方なので学校の統合や校区の見直しは仕方のないことかと思えます。ただ、一番考えるべきことは子どものことなので、地域や保護者、子どもたち自身の意見も取り入れ十分に審議してもらいたいです。そしてもし、統合や見直しをしなければならぬ状況になった場合には急に事を動かすのではなく説明、準備期間も十分に確保し突然翌年から、などならないようにしていただければと思います。	16
3	瀬尻小	子どもの減少により統合することはやむを得ないが、保育園から小学校を見据えて選んでいる地域があることも考えてほしい。	17
3	瀬尻小	施設の維持や、先生の確保、経費を考え 考慮していけばいいと思う。	18
3	瀬尻小	先生の負担を考慮すると境界見直しもやむを得ないと思いますが、いざ変更となった場合には子どもの環境変化が心配です。	19
3	瀬尻小	小規模学校の統合や、隣接学校区との境界を見直す学校区域変更に関しては、やむを得ないと思うが、統合や区域変更した際に、地域自治会等との連携はどうかと不安に思う。地域自治会は、そのまま、子どもだけ、学校区域が変更になると、そこにどうしても歪みが出てくるのではないかと。	20
3	瀬尻小	町内の子ども会も、この10年でどんどん子どもが減ってしまい、今年からついに廃止となってしまいました。それが学校規模でも起ころうとしているのですね。予想はしつつもまだ実感はありませんでした。 私はこのアンケートに、小規模校が統合されることはやむを得ないと答えつつ、でも通学時間に配慮してほしいと、矛盾したような感じの回答になってしまいました。 これを機に、この学校区に住む者としてこれからの子どもたちの学校のことを一緒に考えていくことは大切なあと感じました。	21
3	瀬尻小	統合に関しては保護者の考えを軸に話し合いを進めることが大切に思います。地域の年長者の意見は生のものではありませんので。また通学手段や補助など具体案は早めにお伝えすることが大切だと思います。	22
3	倉知小	統合はやむなくしても、子どもたちにとって何が最適であるかをきちんと精査していただけたらと思います。	23
3	倉知小	やはり、大規模過ぎても小規模過ぎても問題はあると思うので、学校区域変更はやむを得ない場合があると思う。区域変更の可能性がある場合、可能な限り、何年も前からその地域に住む人達との意見交換の場を持つのが良いと思う。	24
3	倉知小	統合等は、学校の規模や子どもの数等で、やむおえないと思いますが、地域住民への早い段階からの十分な説明をしっかりと頂きたいし、意見を十分に聞いて頂きたい。子どもたちの環境の変化に伴う影響が心配であるため、そこも含めて慎重に判断して頂きたいです。	25
3	倉知小	少子化で子どもの人数が今後も減っていくので、学校を統合するのは仕方ない事なんだけど、それに伴い、慣れるまでは、学校までが遠くなったり、環境の変化で親子共々、気持ちの面で不安定になりそう。	26
3	倉知小	今後、少子化が進み学校の統合は、避けられないと思います。統合の区切りも難しいと思いますが、今の中学校を基準にした校区で考えるのもいいと思います。お金は掛かりますが、新たな小学校の建築も長い目で見ればいいと思います。	27

3	倉知小	小規模校に関わる職員の子どもに対する割合は理想的だと思うので、やむを得ず統合された場合も、できれば子ども達のリスクを無駄にする事なくきめ細かな対応ができるよう先生の数やサポーター（地域のさまざまな年代の方に協力してもらう）の数を増やすなどして、学校で1人1人が大切にしてもらっていると感じられるような豊かな生活を送ってほしいと思います。余裕のある大人に囲まれて安心して失敗の経験を積めるためであれば学校区域の変更もやむなしと思います。	28
3	倉知小	色々と難しい問題だと思います。私は子育てが終了しており具体的な意見を持ち合わせていませんが、少子化が進むと切り捨てる点も必要かと感じています。	29
3	南ヶ丘小	生徒数が少なくなれば統合もやむなしですが、当時生徒数の増加もありましたが距離が離れているから学校が増設された面もあるので、小学生の為にスクールバスの運行など通学に支障の出ない様にしてあげてください。	30
3	南ヶ丘小	小規模校が統合されることはやむを得ない、と回答しましたが小規模校には小規模校の良さがあるので、その辺りもご理解いただいた上で協議して下さるようお願い致します。	31
3	南ヶ丘小	学校のランニングコスト予算削減からも統合はやむを得ずです。	32
3	富岡小	統合に関しては考えていかないといけないと思う。区域を変更するタイミング、距離、時間など不利益が生じてはいけないと思う。不利益と感じる人がいる場合は統合するべきで無いと感じる。	33
3	富岡小	積極的に統合すべきとは思わないが、子どもたちの成長のために、いろんな友達や先生と接する機会は必要と考える。少なすぎると、人間関係が固定化されコミュニケーション能力も偏ると思う。	34
3	富岡小	もしかしたら学校ごとの児童数は多くなくても問題ないのかもしれませんが。しかし老朽化する学校施設などの経費の増大を考えると(保護者が考えることではありませんが)、再編等によっておさえることのできる経費を施設や設備、教員の加配など、教育環境の充実に回せる可能性があるのなら、ある一定の基準で学校規模を維持していくことはよい結果につながると思います。	35
3	富岡小	教員の確保も問題となっているのは感じています。統合することで、先生方の負担が少しでも減るような学校運営がしていただけたら保護者としてもありがたいです。	36
3	富岡小	統合など仕方のない事もあるけれどそれにより、子どもにたくさんの負担がかからないような配慮は必要だと思います。	37
3	富岡小	ある程度の児童生徒数がないと、人にもまれる、まわりとの協調性など、十分ではないかと思います。また、より多くの先生がたと関わりが得られにくくなるのではないのでしょうか。ただ、先生方が多忙となって、個々の細やかな対応ができなくなってしまうのは困りますね。	38
3	田原小	どうしても統合しなければならぬ状況なら仕方ありませんが、可能な限りは現行維持していただきたいと思います。また、通学時間の拡大で小学生はとくに体力や安全性に十分な配慮をしていただきたいと思います。逆に問題の解決が見込めなければ、統合してほしくないと思います。施設や環境の変化などは配慮していただきたいことですが、統合でなくとも子どもたちの成長の過程で変化していくものなので順応するように見守っていただきたいと思います。	39
3	田原小	子どもの人数が減ることによって学校統合が行われるのは致し方ないことかもしれませんが、こういった機会に規模に関することだけでなく、インクルーシブ教育の推進など、これからの関市、日本を支える子どもたちがのびのびと安全に、そして一人ひとりの子どもが未来に希望を持って生きていく力をつけられるような学校生活を送れるよう様々な角度から（教育関係者だけで検討することなく）意見を交わしてほしいです。前例をならうのではなく、関市ならではの、関市だからこそできるような学校づくりを期待します。	40

3	田原小	部活動のあり方も考えなくてはいいけないが、今のまま存在するならば、もっと選ぶことができるいろいろなジャンルの部活動にしてほしい。(例:音楽がやりたいのに吹奏楽部がないといったような。)消去法で決めるような状態ならやらない方がいいと思う。統合してある程度の部の数が確保できるといい。統合するならば、交通安全が1番重要な問題だと思う。スクールバスを運行するなど思い切ったことをやってもそこに力を入れてほしい。また、PTA活動で廃品回収などを地区ごとに受け持っているが、子どもの数が減りその担当範囲が広くなり、受け持つ回数も多くなっている。統合をしていくのにPTA活動はそのままではなく、もう業者に任せてしまうなどして偏りをなくしてほしい。	41
3	田原小	一言で言うなら、難しく時間が必要な問題だと思います。我が子が通っていた学校でもこの問題がありました。そしてお世話になっている間に、順調よく新校区変更が終わりました。我が子がお世話になっていた学校ともう一つある生徒数のバランスが悪くなり、校区変更がされました。周知に数年。変更数年を要していた記憶が。変更前に兄弟、上の子が通学。下の子が入学する時は、校区変更後で別の学校になる。そういう場合の兄弟に限り、上の子のみ学校の変更、転校が認められる。それを完了するのに3年ほど。校区変更が決定してから、周知、完了まで6年程の時間があつたようなので、同じ場所でいながら2つ学校に通う子どもたちがいる地域がありました。保護者の役員問題等もありますし。説明がきちんとそれていたのか、知らない長子を持つ親さんへも、伝わって行ってました。短時間で完了しないで、これから家を建てられる方にも早目に周知して事を進めていかれると、小さいお子さんやこれからの方にも、戸惑いは少ないと思います。大変だと思いますが、皆さんが納得できる新校区ができると良いですね。	42
3	田原小	人数が少なくなるのは間違いない事です。学校の統廃合も仕方がないと思います。通学手段は確保出来るように配慮が必要だと思います。	43
3	田原小	少子化によりどうしようもない事だと思いますが、統合により関係する子ども達の負担や精神的ダメージを最優先に考えた対応を望みます。	44
3	下有知小	中学校の統合化は、やむを得ないかもしれませんが、小学校は歩いていける範囲や地域との関わりが出来る範囲が望ましいです。	45
3	下有知小	統合には住民合意が必要であると思います。ですので早急に協議をしながら時間をかけて住民合意を得ていくのが良いのではないかと思います。ただし、小中全てとは思いません。まずは中学校から検討していくのが良いのではと思っています。	46
3	下有知小	中学校は適正化を保つための統廃合はしょうがないと思う。小学校は自転車通学もできないので通学距離も考慮して決めるべき。むやみな統廃合は良くない。	47
3	富野小	少人数の学校では出会える人も限られていて競争力もなくすごくかわいそうだと思う反面、そうやって育ってきた子どもを突然遠くの学校と合併し環境が変わってしまうのは不安要素が多い。小学校入学、中学校入学のタイミングでの環境の変化ができるなら理想だと思います。	48
3	金竜小	教員としても、小規模校すぎると一人一人の先生の負担が大きいと思う。ある程度の人数であれば、それぞれの役割も分担されると考える。大勢の中で色々な意見に普段から触れ合えたり、競い合えることは良い経験となると思う。ただ、通学への負担が保護者や教師に行ってしまうか心配。よく考えたいこと。	49
3	金竜小	区域変更や統合は仕方ないとは思いますが、登校しぶりなどが無いように子どもへの配慮を十分気をつけて実施してほしいです。	50

3	金竜小	少子化なのでやむを得ず変更というのは仕方のないことだと思います。 ランドセル問題や猛暑、不審者のことを考えると通学を安全にできることは大前提になると思います。しかしながら昭和の時代と違い共働きは当たり前、地域で見守っていくということも難しい時代です。PTAで一丸となってと言うのも前述の通り時代錯誤となりむしろPTAは廃止させるべきだと思います。話はそれでしたが、たかが通学路の問題に關しても根本的な改革等が必要だと思います。教育現場はいつも対応が遅く柔軟な考えや臨機応変、改革といったことが難しいところだとは重々承知しておりますが、問題山積みにするのではなく、根本的な改革が必要かと思ひます。ぜひ柔軟な対応をして教育の未来を変えていく市として全国のさきがけになることを祈っています。	51
3	金竜小	規模縮小による統合は仕方ないと思うが、統合されたことにより通学が大変になる児童は、通園バスなどの配慮はして欲しいと思う。	52
3	金竜小	小規模でのいい部分もあるが、やはり学年が変わるたびにクラス編成が行われることでいい意味でのリセットされる面がある。登下校の安全確保を第一に通学バスを利用するなどして統合、校区の境界見直しもやむを得ない時が来ると思われる。	53
3	金竜小	小規模校の統合は、仕方ないとは思いますが、通学時間がかかり過ぎるのは子どもたちの負担が大きいです。安心して、かつ負担も考え、登校が出来るようにしなくてははいけない。	54
3	金竜小	統合も状況で柔軟に対応しながら少ない規模でも登校時間や危険度で仕方がない事も配慮すべきだと思います。	55
3	金竜小	統廃合はなかなか難しいと思ひますが、多様な人間関係や意見に触れるためにも、適正な規模が望ましい。一方、統廃合の結果、通学時間が相当以上かかる場合、子どもの安全のためにもスクールバス等で対応すべきである。また、そうした対応をしてでも、統廃合で適正な規模を確保した方が将来的に見ても望ましいと思う。	56
3	金竜小	小規模の学校が統合すると、最初、クラスに同じ校区が2.3人と少ないため肩身が狭かった(馴染めなかった)記憶があるため、そんな気持ちにならない配慮は必要ではないかと思う。	57
3	金竜小	小規模高齢化は今後も続きどうにもなりません。教員不足もあり統合はやむを得ないと考えます。	58
3	洞戸小	子どもの人数が減って統合するのはやむを得ないし、学校が遠くなくても出来る限り協力したいと思ひています。子どもがしっかり学べること、自然やいろいろな環境に触れ合い体験出来る様な取り組みがあると嬉しいです。	59
3	洞戸小	将来的に統合するのはやむを得ないが、なにがなんでも早急に国の基準に合わせなくても地域の事情に合わせてしっかり話し合いをし、統合、そのまま継続を考えても良いのでは？子どもや保護者の負担が増えるのは大変。	60
3	洞戸小	人口減少やリモートワークが顕著になり、人との関わりが希薄になっている状況で、学校規模も柔軟な変化をしていくのは大切だと思います。加えて、人口減少、児童の減少となると多様な考えや事柄に触れることも減少と思ひます。したがって、選択と集中のもと、適正なリバランスをすることにより学校規模を見直していただけたらと思ひます。	61
3	洞戸小	高校、大学、社会人と考えると、小中ともにある程度の人数のなかで生活することが必要だと思います。	62
3	板取小	井の中の蛙にならないよう、少しでも多くの友達と関わり学校生活を送れるようにして欲しい。委員会活動なども、地域の寄合などの予行演習です。たくさんの意見を聞きながら進めていってほしいです。	63
3	博愛小	トータル的にいい面ばかりでは統合は難しいと思ひますが、子どもたちが人と関わり自分を見つけていく環境は必要だと思います。なので、少なすぎる環境より、適度な人数の中で社会性を身につけながら成長していけたら素敵だと思います。	64
3	博愛小	学校の統合はやむを得ないとは思ひますが、それにより、通学時間が長くなるようなら、統合は控えた方がいいと思ひます。	65

3	博愛小	学校を変わらなければいけない子ども達もそうですが、役員活動や学校行事等も今までいた学校と勝手が違ってくると思うので、保護者達の配慮も必要になると思います。統合によって先生達の負担が減るかもしれませんが、子ども達は人数が増えるので友人関係でトラブルが増えるのではないかと心配です。あと中学校の部活動(社会体育)が統合によって出場校が減る事になると、今までよりライバル校も減るので、モチベーションが下がるのかなと思ったりもしました。統合はやむを得ないと思います。それまでに学校からお手紙だったり、この様なアンケート等が何回もあるといいと思います。最後まで読んでいただきありがとうございます。	66
3	博愛小	自分自身が40人×4クラスという小学生時代を送ってきました。現在子どもは20人の1クラス。最初は不安もありましたが、おかげさまで優しいクラスメイトに囲まれて大きなトラブルもなく「クラス全員がお友達」というような温かい環境で伸び伸びと学校生活を送っています。少人数のクラスは低学年では特に先生の目が行き届いて安心だという感想でした。逆に合わない子がいるなどトラブルがあった場合は逃げ場がなく辛い思いをする子もいるかもしれません。地域の人たちや卒業生などいろいろな思い入れもあるとは思いますが、これから少子化が進む中、学校の統廃合も致し方ないとは思いますが。ただ小学生(特に低学年で)が登下校にとても時間がかかる距離になるは少しかわいそうかなと思っております。どんな状態になるにしても、子ども達の気持ちも汲み取ってもらい、これからの小学校生活が楽しい思い出になればいいなと思っています。	67
3	武芸小	これから先、統合はやむをえないと思いますが、学校数が減れば市としての予算が余るのではと思います。その余った予算をどうするのか、見える化してほしい。また、廃校になった学校の使い道を鮮明にしてから統合してほしい。	68
3	武儀小	小規模校の統合は仕方ないことかもしれないけど、PTAの役員会議など月に1回学校に集合する場合統合地区区域が広すぎるのも、役員さんに負担がかかる。通う子どもの中にも、知らない子たちの中にいきなり仲間入りできない子もいるので、子どもの心身の状態を考える必要もある。いくら人数が少ない学校で統合しても、もう少し子どもの意見なども聞いたほうがいいと思う。子どもたちが納得してないのに、大人が勝手に決めるのも良くないと思う。	69
3	武儀小	少子化に伴い隣接学校区や境界を見直したり、統合も大切だと思うが、今の環境もとても良いのでそれが、極端に変わることがないようにあってほしい。	70
3	武儀小	統合は仕方ないと感じるが、地域の伝統は継承してほしい。	71
3	武儀小	統合はやむを得ないと思いますが、ふるさと、地域の誇りや愛着が失われることが心配です。	72
3	上之保小	いまでも将来でも少子化は分かっているので、先を見据えた統合が必要だと思います。統合したら先生が余るかもしれないので、その分部活とか専門的な事とか教えられる人が配置できるのかな?とってます。学校が遠くなると学童に入りたいケースが増えると思うのですが、希望者は制限なく受け入れてくれると良いと思います。(これは現状でもそう思います)	73
3	上之保小	今回、上之保という地域で今回の問題を考えたときに将来的に武儀小との合併はやむを得ないと考えています。ですが一気に併合してしまうのではなく保育園、小学校と数年をかけて2校の交流を持つ機会を増やした上で合併して欲しいと考えます。やはり津保川中学校を見ていても(コロナ禍の中だったので今までは難しい面もあったとは思いますが)入学式で「さぁ今日から仲良くしなさい」と言ってもほぼ交流のない者同士がいきなり、というのはハードルが高いように上の子ども達を見ていて実際にそう思いました。ただそう言ったら転校生や高校入学も同じじゃないかという思いもありますが、できるだけ子ども達の心身にストレスのかからない方向でこの問題を考えていただけたら、と思います。	74
3	上之保小	少ない児童が、中学まで一緒にいると高校生活で大規模になり、生徒がその環境に馴染めずに不登校にもなった自身の子どもが過去にある。子ども自身も、たくさんの友達がほしいと希望していた。	75
4	安桜小	通学範囲(子どもが歩く距離)は荷物も考慮して考えて欲しい。	1
4	安桜小	学区が変更されることはやむを得ないが、出来るだけ選択できる様にしてほしい。	2

4	安桜小	利便性や友人関係などで中学校を選択できる地区があると聞きましたが、その辺はしっかりとした基準を作って欲しいです。また緑中は生徒数と学校施設の規模があっていないと思います。もう少し、ゆったりとのびのび学校生活を過ごして欲しいです。	3
4	安桜小	自由に行きたい学校を選択できる制度が早くできるといいと思います。大人数の学校に行きたくないけど、そこが学区だった場合は選択できないと、強制にその学校に通わなくてはならなくなってしまうので。子どもにも親にも選択させてあげることができるといいですね。今は中学校はネクタイとかりボンを変えるだけで制服を変更できるので、お金もそんなにかからなくなったのですが、体操服なども共通にできると楽ですね。小学校の学区問題も、いじめなどがあった場合、学校を変更がもっとハードルが下がれば人生の選択も気軽にできると思います。無理して行かせるよりも、他の学校に通えと、選択させてあげられるとまた色んなことが変わって前向きに変わる事ができるかもしれません。行政の方はどうしても選択をさせてあげるチャンスを与えてくれないので、もっと他の選択をさせてあげることができたらいい方に変われると思います。小学校、中学校の時期はとても多感で大事な時期なので見直すきっかけがあると改革できると思います。	4
4	安桜小	決定する前でも希望する生徒には積極的に希望の学校への入学を推奨してほしい。	5
4	旭ヶ丘小	うちは旭小ですが隣の富岡小は子どもが多く教室も足りないと聞いたことがあります。距離など安全を配慮して学校を選べれる選択肢もあっていいと思います。	6
4	旭ヶ丘小	これから先のことも考えて、関市内で学校同士の交流を取り入れていくと良いと思う。統合するなら小学校からの方がいいと思う。少人数ほどクラス内の濃さが強く、そこから環境を変えるには中学生では厳しいかと思う。クラスに馴染めず不登校になったりしないよう、配慮が必要だと思う。小規模校は小規模校で良さもあると思うが、馴染めない、気の合う友達がいなくて、本当の自分を出せない等、窮屈な人間関係になってしまい、子どもの世界観が狭まってしまうよう、色々な選択肢があるのだという多様性を持たせると良いと思う。タブレットも活用し、他校との交流や、合同の授業の開催、小規模校の生徒が学校を選択できる等。	7
4	旭ヶ丘小	旭ヶ丘小学校は元々マンモス学校だったので、空いている教室もあり受け入れる側になると思います。ただ、学校全体の人数が増えても、ひとクラスの人数を、最大人数ではなく少なくして欲しいです。最終的には、様々な教育方針・多様性のある小学校ができ（シュタイナー、自然保育、IT特化等）住居に関係なく好きな小学校を選択できるといいなと思います。	8
4	旭ヶ丘小	小規模校は区画に関わらず親の職場の近くなど理由によって選択できるようにする。（それにより学童を6年まで利用可能にする）また学童の費用負担が減るように希望します。	9
4	旭ヶ丘小	我が家は学区の境界地にあります。境界区域での線引きではなく、通学距離等も含め、2校から選択が出来るようにして欲しかったです。他県では市内の中学校から選択して通う事が出来る話を聞いた事もあります。地域密着も良いですが、希望があれば選択も可能というのがあって良いのではと思います。	10
4	旭ヶ丘小	学区の境界線上に住まいがある場合は、対象者家族の意見を考慮して、どちらでも学区を希望できるようにして欲しい。現状の判断基準があいまいで、わかりづらい。	11
4	旭ヶ丘小	距離や校区だけの決まった学校編成だけでなく、隣接の学校への通学も可能であるようなシステムの方が、子どもたちのいじめ等で行き場のない子の選択肢を増やせるのではないかと思います。	12

4	旭ヶ丘小	旭小と富岡小校区の境が分かり難い。資源回収で他校区から「資源物が回収されていない」と連絡が入ることが度々みられます。富岡小校区は資源回収を廃止されたと聞いていますが、現在の線引きでは今後も同様なことが起きうるかと思えます。県道58号の東西で分けてはどうでしょうか？関市も合併を機に一学年ークラス、複数の学年を一教室に合併させた形での学校も増えているかと思えます。旧関市地区などでは合併により生徒の人数規模を確保し昨今憂慮されている教員不足の影響を最小限にするため、合併校へ教員のマンパワーを集中させ、よりきめ細やかな指導を目標する必要は充分理解できます。しかし、多様な生き方を尊重する上では過疎地区で生活する子ども達へも個別に手厚い教育を受ける機会を準備すべきだと思います。一見、矛盾した考えとは思いますが「全ての子ども達に、等しく多様な学びの機会を与える」ことこそ校区改変のあるべきすがたなのだと思います。既にお気づきだとは思いますが、コロナ禍で経験したオンラインを活用した授業など、私が小中学生の時代には無かった学校へ通わずとも学習をする方法が現在はあります。集団の中での学びも勿論大切なことは承知していますが、過疎地域で登校が困難な子やいじめや何かしらの理由で学校に通えなくなっている子たちへ学びの機会を提供する手を差し伸べることも併行して進めて頂きたいと願っています。	13
4	旭ヶ丘小	「小規模」までは、ある程度の児童生徒数があり、居住地に近いという利点から、統廃合しなくても良いと考えるが、「過小規模」となると、統廃合を考えなくてはならなくなるのではないか。その場合も、数だけを問題にして進めるのではなく、地域住民の声をきちんと聞くことが大切だと思う。また、美濃加茂市で行なわれているような、校区外からの通学を押し勧めるような対策や、移住がしやすいような政策を工夫していくことも大切だと思う。	14
4	桜ヶ丘小	〇〇小学校のほうが近いのに△△小学校の校区だから遠いとかよく聞く。遠いと猛暑の中の通学が余計に心配になる。富野小は同級生3人しかいないと聞いたが、富岡と合体するなりした方が良い。バス通学は必須。	15
4	桜ヶ丘小	何分もかけて行く遠くの学校より家から見える近くの学校の方がいいに決まっています。もう少し学区に柔軟に対応して欲しい。通学路なのにもガードレール少すぎる。市外から引っ越してきて関市はすごく子育てしにくいと思いました。	16
4	桜ヶ丘小	途中変更は避けてほしい。大人でも人間関係を築くのは大変だから、子どもが築いた人間関係が、壊れてしまうようなやり方は避けてほしい。自宅から距離があり、登下校に時間がかかるのはやむを得ないが、日没が早くなる場合の下校の時間を配慮していただくことと、校区外に引越した場合【桜小⇒富岡小】などの近い場合 今までの学校に通えるようになれば尚よい。	17
4	桜ヶ丘小	桜ヶ丘地区でも外れに家があり、はっきりいって旭ヶ丘の方が中学校は近く、どうやら線路で桜か旭で区切られていましたが、旭に行けるならそちらのほうが近かったし、どちらかを選べるようにしてほしい。そのような区切りに近い地域の方は、どちらも選べるようにしてほしい。	18
4	桜ヶ丘小	校区域の境界線付近の家は自由に学校を選ばせてほしい。決められた学校に行くより隣の校区の学校に行くほうが遥かに安全で近い場合は特に。	19
4	桜ヶ丘小	本人や家庭の事情による隣接地域の小学校中学校の選択が出来るといいと思う。	20
4	瀬尻小	学区外で通っています。自治会の所属で学区外の選択ができました。居住地的にはどこに行っても同じ距離の場所に住んでいるので、手続き上の選択肢の自由度がもっとあるとありがたいです。	21
4	倉知小	現在、保育園に上の子が通っています。発達障害があり、あまり環境を変えたくないことから、今の保育園の子が行くと思われる小学校区に家を建てました。そのような場合に、学区が変わっても元の小学校区の方に通えたりなどの配慮があると嬉しいと思います。また、小規模校は人数が少ない分、教員の目が行き届いたりなどのメリットもあるかと思うので、全てを統合しなくても良いのではないかなと思います。	22
4	倉知小	途中から学校が変わるのは、やめて欲しい。一年生から変わるのであれば子ども自身も不安はないが、途中の学年から学校が変わるのは子どもも親も学校の方針に慣れるまでが大変かと思えます。自分の家が子どもたちが通う学校以外で、二つの学校の境目辺りにあるので、心配です。	23
4	倉知小	部活動に積極的な学校を選びたいので、学校自体選べると嬉しい。	24

4	倉知小	学区を自由に選べたら良かったです。学校までが遠く、近所に同じ学年の子があまりおらず、1人になる時間が多くあります。保護者として不安もあります。少ない人数ならば、規模も小さくなることは仕方ないと思います。事件事故が多い中で皆がGPSを持つとか、スクールバスを出すとか子どもを守る方法が増えて欲しいなと思います。	25
4	倉知小	区域の変更は何年も前から予告して、保護者とも話し合いを重ね、経緯を理解できるようにして、境界の人が翻弄されないことを望みます。できれば、自主的な意思決定と行動ができるような教育をしてほしいです。その選択項目がなかったなので、お願いします	26
4	南ヶ丘小	小規模校も大規模校もあっていいんじゃないかなと思います。それぞれの良さがあると思います。小規模校の方が先生の日も行き届やすいし、子どもたちも小規模の方が意見を言いやすかったりすると思います。そして統合すると通学距離も遠くなるし、通学手段もバスなどになり、1年生の親からするとすごく心配になるんじゃないかと思います。各務原の方では、大規模校から小規模校へ区域外で転入できるということも聞きました。もしかしたら大規模校の中にも小規模校の雰囲気の方がいいという子もいるかもしれません。私は小規模校も大規模校もあっていいと思います。	27
4	南ヶ丘小	子どもの人数が年々減少している昨今、通学時間はかかる、人数もない、の現状、地域の小学校に通わせたいという魅力がありません。少人数でよいこともあるかと思いますが、近隣の大きな学校に行かせてもらいたいと願います。	28
4	富岡小	通う学校区域が変わる場合、ぎりぎりの場所の人は選択できるというと思う。	29
4	富岡小	美濃加茂の三和小のように希望であれば校区が違って通えるようにすれば小規模校も人数が増えるのでは？と思います。個々で理由は色々あると思いますが例えば不登校の子も今の学校(決められた校区の学校)じゃなかったら学校に行きたいと思う子もいるかもしれません。また、廃校になった校舎は耐震工事がしてあれば地域のイベントや店舗として貸出する等してぜひ活用してほしいです。そのままにされていると寂しいなと思います。	30
4	富岡小	公立でも自由に学校を選べるようにしてもよいと思います。	31
4	富岡小	少人数の学校の方が合う子どももいると思うので、区域変更もありですが選択制度があってもよいのかなと思います。	32
4	富岡小	前例やら既成概念に囚われる事無く、保護者、子ども達が自由に選択出来る学校選びが今後の時代、必至だと思います。確か、昔新聞で美濃加茂の市街地に居住する生徒が、よい環境を求めて市内山間部の学校に保護者が学区の登校場所まで毎日送り届け、その学校へ通う記事を拝読した記憶があるが、PTA等含めてその様な柔軟な考えは今後必要だと強く思います。	33
4	田原小	学区の自由選択制もあっていいと思う。	34
4	田原小	小規模校も大規模校も共存してそれぞれの特徴を伸ばし、子どもたちの適性にあった学校を(校区を越えて)選択できるようになるとよいですね。そうしたら不登校も減るのでは。	35

4	田原小	これからの社会を作り出す今の子どもにとって最も良い教育環境はと考える場合、多数の子どものベターな選択をしなくてはならないことはわかります。しかし、少数派の子どもが多数派にあわせなくてはならないと苦しんでいることをこの機会に考えたいと思います。つまり、多くの子どもの教育環境に適正とされる国の方針に従うことだけを考えるのではなく、個人であるこの子がどんな環境で教育を受ければこの子は幸せか、という視点を忘れないようにしたいです。そのように考えると、まずは選択肢が多くあると良いです。地域のたくさんの同年代の子どもたちと一緒に学校で生活するのが良いのであれば、それで良い。少数の仲間の方がのびのび成長できる子は、少数で学ぶことができる環境を。自分のペースで学ぶのが良い子は、それぞれのペースを大切に学ぶことができる環境を。せっかく学校の統廃合を考えるのであれば、地域にきっちり境界線を作るのではなく、子どもに最も良いところをいつでも気軽に選ぶことができるような仕組みを考えていきたい。小規模校はその方が良い子のために整備する。ネット学級や、午後からクラスなども整備する。大きい学校の空きスペースなどで対応していることは知っていますが、多数派の子どもたち、多数派に入って欲しいと願っている学校や地域、場合によっては家族のプレッシャーの中では苦しいと思うのです。地域とは学校の校区であるという従来の考えから、子どもがどこでどんな生活をしていると守るべきものが地域である、と発想を変える必要もあるでしょう。子どもが最も自分に合った環境で気兼ねなく学ぶことができるようにこの機会に工夫していきたいのです。関市の子どもたちが、一人残らずその子がいちばん幸せになれる教育が受けられますように。	36
4	田原小	タブレットを持ち運びしたりして、ランドセルがとても重たいと思います。身体の小さな子どもの肩や腰に負担がかかり、猫背の姿勢になっていると思います。ランドセルはとても高価なので、軽い素材のリュックなど、自由に選べたら良いと思います。家から近い学校があるのに、通えないのはとても残念です。	37
4	下有知小	下有知在住ですが、現状ですと下有知小学校、下有知中学校と通学させないといけません。下有知は広域のため瀬尻小、安桜小、緑ヶ丘中の方が下有知小中学校に通うより明らかに近い場合があるので精査してもよいと思います。出来れば該当地区は選択制にしてもらえると嬉しいです。	38
4	下有知小	美濃市の学校も可にしてもいいと思う。	39
4	富野小	少人数で良いこともあります。大人数での関わり方がわからないので高校生になった時に不安があります。さらにこれから思春期に入り男の子→女の子への性的ないじめも考えられます。教師も男性教師になるとさらに相談できる人がいなくなります。小学校を他の小学校区に通える制度を作ってほしいです。他小学校から富野小学校へ、富野小学校から他小学校に行けるようになれば、友達も増えたり毎日楽しくなるかもしれません。富野小学校の先生方は見守りや心配してくださっています。学校には感謝しています。できればこのまま通いたいので児童を増やしてほしいです。それが難しいのであれば早急に他の小学校へ通わせたいです。子どものメンタルを優先して楽しく学校へ通えるように望んでいます。	40
4	富野小	小規模特認校制度を活用してはどうですか。	41
4	金竜小	何処の学校にも行けるよう、選択させて欲しい。	42
4	金竜小	学校区域の学校へ通うことが安全面においても良いと思いますが、希望者には学校を選択できるようにしてほしいと思う。通っていた学校になんらかの理由で通えなくなったとき、引越せずとも転校できたら、不登校にならずに済む子もいるのでは。選択肢が無い状況では、その環境に適應できなかった自分を責めるしかなくなってしまう気がする。学校区域だけではなく、ルールや規定の考え方がより柔軟になるといいと思います。	43
4	金竜小	小規模校に学校区外からでも希望者は通える制度があってもいいと思う。	44
4	洞戸小	子ども達に通う学校を選択できるようにしたらどうか。自然豊かな板取地区や上之保地区での教育には意義があると思います。この地区でしかできない森林教育や環境教育をするべきでは。期間限定の市内留学も面白いのでは。	45
4	武芸小	近くの小学校まで1.5キロ今の小学校まで3.4キロ、早急に見直して欲しい。	46
4	武儀小	小規模特認校や通校選択制も議論してください。	47

4	上之保小	統廃合ありきではなく、過少規模校や小規模校の存在が生きような方向を探ってほしい。具体的には、美濃加茂市がやっているような特例校制度の導入を望む。理由1、適正規模校や大規模校が抱える不登校児童生徒対策の一方途となりうる。理由2、これ以上統廃合を進めたら、過疎地の過疎化が急加速する。以上、宜しくお願いいたします。	48
4	市外	学校選択制も導入していくとよいと思います。	49
5	安桜小	関市稲口や前山町あたりは桜ヶ丘小の方が近いので学区の見直しを検討してほしい。	1
5	安桜小	安桜小から、桜ヶ丘中へ進学する地域に住んでいますが、近年、学区を無視して緑ヶ丘中へ進学してしまう子どもが多いです。選択出来るエリアでもないですが、子どもの気持ちを尊重するという傾向で安易に変更できます。それであれば、全員緑ヶ丘か、小学校を桜ヶ丘に変更していただきたいです。今年度は安桜小から5名しか桜ヶ丘に進学していません。同じエリアから緑ヶ丘に進学した子どものほうが多いです。理由は、6年間過ごした友達と離れ、知らない人ばかりの集団に入ることへの不安からです。その気持ちは良くわかります。であれば、小学校を変更するのが良いのではと昔から言われています。今は通学路も危険で距離も遠いです。緑ヶ丘が大規模になっているなら尚更良いのではないのでしょうか。	2
5	安桜小	安桜小学校の稲口、赤尾地区の子どもは通常、桜ヶ丘中学校に進学(他の子は緑ヶ丘中)になるので、最初から桜ヶ丘小学校に入学させて、桜ヶ丘中学校に進学させるのがよいのではないか。	3
5	桜ヶ丘小	学校規模とは異なりますが、桜ヶ丘中になる安桜小の子ども達は南ヶ丘小もしくは桜ヶ丘小への通学でも良いような気がします。	4
5	桜ヶ丘小	関市の小学校は、校区の端に位置している学校が多く、境界を見直すのは難しい部分もあると思うが、見直せるところは見直しても良いと思う。ただ、在校の子ども達やその兄弟が無理に変わる事がない様、長い年月をかける等配慮が必要だと思う。中学生は、少規模、大規模それぞれメリット、デメリットがあると思うが、中学生の一番肝となる、学習面で、少人数での授業ができる小規模の学校の方が、先生の目が行き届きやすいのか、一部の人から聞いた話からのイメージですが、学力が高い気はしますが、学力にもそういった差は、出ていないでしょうか。また、安桜小のほんの一部の子は、桜中への進学となるが、ただでさえ少ない人数なのに、子どもは減る一方で、ほんの数人だけが桜中へ進学せざるを得ないのは、可哀想では？バス通学などにしてでも、いっそ、こちら減りつつある南ヶ丘の校区にする等して、小学校入学時から、桜中校区にしてあげてもよいのでは。	5
6	安桜小	私自身、小学2年生時に小規模校から中規模校へ転校し登下校の道を覚えるのに苦労した経験がある。新居までの道が分からず迷子になり地域の人に助けもらったことがある。家庭での目配りが必要であるのは当然として、学校規模が変わることによる不登校や天候不順による登校不可など様々な理由で通学困難な場合にも、全ての子どもが平等に授業が受けられるようIT環境を整えてほしい。通学路の道路状況、天候、荷物量等を考慮して3km以上家と学校の距離が離れた児童にはスクールバスを導入してほしい。教員の数・質を高めて教育現場に余裕を持たせてほしい。	1
6	安桜小	学校の統廃合における一番の懸念事項は子どもへの影響、特に通学距離だと思います。自分が子どもの頃の実体験として、片道2キロを超えての徒歩通学は相当な負担になります。統廃合の結果、学校から遠方となる家庭をスクールバス等でどのようにフォローできるか検討をお願いします。	2
6	安桜小	徒歩通学になる距離は決まっているのか。規模が小さく、距離があるとバスになるのか。	3
6	安桜小	少子化が加速する中で、多くの人とふれあい学ぶ機会を作っていくためには、学校の統合はやむを得ないが、通学の安全は関市が担保して欲しい。美濃市の様な通学用バスもありだと思う。	4
6	旭ヶ丘小	黒屋はスクールバス希望です。灯もない道を歩くのは春から夏にかけてとても危険。すぐに検討してほしい。	5
6	旭ヶ丘小	通学距離が長くなる場合はスクールバスを活用すべき。	6
6	桜ヶ丘小	スクールバスがあってもいいのかな。	7

6	桜ヶ丘小	統合した場合、通学の長距離化について、低学年では体力的にも大変で、真夏は熱中症の懸念もあり、通学手段については親の送迎に頼ることなく、通学バスなどの検討が必要。また大規模になればなるほど、支援の必要な子どもが増えると思うので、支援専門の教員を増やして欲しい。うちの子どもは適正校へ通っているようですが、支援の先生が少ないと感じる。乱暴な子、授業を妨害する子ども（その親にも）へ、支援の必要性を訴え、支援できる体制しっかり整えて欲しい。	8
6	瀬尻小	バスを出して欲しい。暑さがしんどい。遠い。雨の日は自転車が危ない。自転車が通るところがない。	9
6	瀬尻小	安全で安心して登下校出来る環境であることが大事かと思えます。(交通手段や防犯カメラの設置など) 子どもだけでなく親の心労と時間的な負荷が一部の人のみにかかるのはなるべく避けられるといいと思えます。	10
6	倉知小	お世話になります。通学の手段を考えてほしい。統合された小学校のバス通学や中学の自転車通学ができる範囲を広げるなど専門教員を増員してほしい。	11
6	南ヶ丘小	小規模校には、良い面も多いと思う。変更の場合、児童生徒の安全確保の為、スクールバスの運用等、考慮していただきたい。	12
6	富岡小	徒歩による登下校片道30分を目処としていますが、統合によって、これ以上の所要時間が発生する事が無いように通学手段を準備してほしいです。	13
6	田原小	小規模校には小規模校の良さがあると思いますが、経験の差が出てくると思うので、やむを得ないと思えます。ただ、家からの距離が遠すぎたり、通学路が危なかったりすると心配なのでそこを考慮していただきたいと思えます。	14
6	田原小	スクールバスの運用を検討していくことも必要と考えます。	15
6	田原小	通学が遠距離になる場合は交通手段を検討してほしいです。現状でも重いランドセルを背負っての徒歩の通学は、低学年の子どもにとっては体力的につらいと思えます。	16
6	田原小	新しく住宅地が増え子どもの人数も増えてしまっている学校は、学校の規模に合わない人数になっている場合は、受け入れ可能な学校に新年度から通学地域を変更してもやむを得ないと思えます。又、変更した場合には通学路が遠い日場合、スクールバス等での通学を認めた上での変更をして頂きたいです。	17
6	下有知小	学校へバスで通う選択ができると良い。	18
6	富野小	今でも家から学校まで3キロ以上の距離があり特に低学年ではランドセルと他の荷物を持つての通学が大変で雨の日は親の送り迎えが必須になっています。統合するにしても、通学バスを利用出来たり、他に安全で困難でない通学方法になってもらいたいです。	19
6	富野小	小規模学校が他の学校と合併すると、通うのに遠くなってしまうので、スクールバスなどになると思いますが、やっぱり毎日歩くことも大切だと思いますので、バス乗り場まで歩くか、降りてから歩けるようにしてもらえるといいと思えます。部活動の選択が増えることはとても良いと思えます。	20
6	富野小	小規模校な故に、色々な活動の選択肢が限られている為と、学校までが遠すぎるとゆう問題は、かなり昔から議題に出てるはずですが、統合が無理ならスクールバスを要望したいです。	21
6	富野小	小規模校の統合はやむを得ないと思えますが、通学手段が最も気になります。働いている方も多いと思うので、なるべく負担のかからないよう配慮していただけると有難いです。	22

6	富野小	<p>少子化の中で統合されることは致し方ないと考えるが、学校が遠くなることによって多くの児童生徒の通学が困難になる。共働きが普通となった現代において、親が学校の送り迎えをしないとけないというようなことは現実的ではないため、例えば郡上市のように義務教育期間中は各地区に通学バスを走らせて保護者が送り迎えをしなくてもよいようにしてほしい。保護者に負担のない通学バスなどの通学方法が確保されるのであれば、学校が離れて学区が統合されることも賛成である。関市は子どもにやさしい街と言っていると聞いたことがあるが、郡上に住んでいる知人も言っていることだが、関市は通学バスもないし、子どもにやさしいと言っている割には子どもや教育にお金をかけているとは思えず恥ずかしい。また、通学路に関しても車が一日に何千台も通過するような県道で、時に100km/hぐらいで暴走する車も見受けられる道路で非常に危険なのに歩道すら無い部分があったりして、とても子ども老人などが歩けるような道路ではない。関市はその辺りを県道事務所に要望するなどをしているのか。学校で通学路に危険場所アンケートなどがあるが、アンケートだけで全く改善はない。子どもが歩くことさえ危険な歩道のない道路を数十年も放置しているのは疑問だし、しっかりと子ども老人の安全について考えて歩道の整備について要望して欲しい。スピード違反の取り締まりについてもこのところはほとんど行われていないし、いったいどうなっているのか。具体的には県道神野美濃線など、美濃と美濃加茂の抜け道になっているような道路。(一部学校規模以外についての意見もありますが、いずれも子どもや地域に関することで大切だと思いましたので記載させていただきました。)</p>	23
6	富野小	家からの距離や通学時間も考慮していただきたい。	24
6	金竜小	統合した時に通うのが困難な場合はスクールバス制度を導入するのはどうか。廃校舎グラウンドや校舎内をキレイで映える遊び場にしてほしい。	25
6	金竜小	<p>学校規模を見直すにあたり、こんなご時世なので学校の防犯も視野に入れていただきたいと思います。この地域の生徒数が減っても高校、大学、社会へ出たら色々な人と関わることは避けて通れないことなので、子どもたちが『自分』を持つ為にもある程度の人数がいる中で学校生活を送ることは大切だと思います。ただ、通学時間や通学方法などは子どもの負担と安全を第一に考えていただきたいです。今も登下校に40分前後かかりますが特に夏の下校は途中から水筒も空になってしまい真っ赤な顔してフラフラになりながら帰ってくる姿は見てとても辛いです。そういうのもありますので、子どもたちのことを1番に考えていただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p>	26
6	金竜小	極端に距離が長い子にはスクールバスを配備してほしい。クラスごとに授業の扱い方があまりにも違うので、担任による授業格差がないようにしてほしい。	27
6	金竜小	住んでいる地区が子どもが少なくて通学が不安である。変質者や夏は熱中症で倒れないか等…遠いところはバスを出して欲しい。	28
6	金竜小	遠い、1人で下校するところがあり心配、習い事が有るなどの理由で迎えになる事も増えてきているので、送迎時の安全確保と近隣に迷惑をかけない様に駐車場の確保。徒歩下校しないから迎えに来る家庭の勝手ではなく、事情がある前提で学校も下校する子どもの安全と駐車場の確保をすべきだと思う。	29
6	金竜小	学校への距離が遠くなるのは子どもにとってかなりの負担です。タブレットでランドセルも昔より重いです。車やバスで送迎が前提の統合ならいいですかね。	30
6	金竜小	学校規模はやむをえないと思いますが、そうなると距離などの問題がでるかと思います。対策案として、送迎バスなどの配慮、通学路の安全策などの確保。	31
6	金竜小	今でも遠い距離を歩いています。朝は出勤する方が多いため危険に感じる場合があります。帰りも遅くなるので宿題をやるのも遅くなります。やむを得ず統合になった場合はバスを用意するなど働く親への負担軽減は考えてほしいと思います。	32
6	金竜小	子どもの体力や交通量や通学路の危険性を配慮した遠方からの登校学童にはスクールバスなどの運用、徒歩での通学者が遅刻しないような始業時間の設定変更の見直し確認。	33

6	金竜小	小学校低学年は教科書の他、タブレットPCや水筒に加え貸出し図書、日傘など5kgを超える荷物による負荷はかなり負担となっている。予想外の気温や天候の厳しさもあり、ある一定の距離或いは希望者にはスクールバスを検討していくべきであると考えている。理由として、毎年4～5月になると足底部～足、膝、股関節の痛みで来院される児童が少なくないと感じているからである。また、通学そのものがストレスとなり、学校生活そのものが嫌になりかねないのではと危惧する。また、小学校に近く通学距離は短い場合でも、荷物の重さに苦痛と疲労を訴えている。子どもたちが少しでも幸せで楽しいと感じられる学校生活を送れ、大人になった時に地元で子育てしたいと思える学校環境を是非とも構築して頂きたいと切に願う。	34
6	金竜小	当事者の方々の意見を尊重した上で慎重にかつ迅速に対応をすべきである。そして子ども達が安全に通学できるように美濃市のようにバス通学を取り入れるべきである。	35
6	金竜小	平均的な児童数が望ましいが、地理的に無理な事もあるだろうと思う。統合したりして遠くなってしまった時は、スクールバスの運用を考えてもらいたい。今現在でも、登下校で疲れ果ててしまって、勉強する時間もなければ、家族で過ごす時間もなくなる。登下校の問題さえ解決すれば、統廃合は積極的に検討してもいいと思う。	36
6	金竜小	理想を言えば、各学校の特色や強みを活かして授業ごとに学校を移動する、移動教室が出来たら面白いと思った。自宅から通えない児童が増加してスクールバスの運用本数も今後増えると予想されるため、そのスクールバスで移動すれば良いと思う。すぐに廃校、休校ではなく、生き残れる共存を模索する事も大事な事だと思う。	37
6	金竜小	統合により、数多くの同学年または、上級生と触れ合う事により、気の合う友達関係を多く作れるかと思えます。私自身、小学生高学年で転校してきており、まわりは保育園、小学校と同じメンバーで、中学まで皆同じメンバー構成で、ガッチリ友人関係が出来ている中に入らねばならず、窮屈に感じました。高校から色々な地域から人が集まり、気の合う友達が作れたように思います。しかしながら、ずっと同じメンバーに慣れてきた同じ学区の子は、初めて他の地域の子に触れてどうしたら良いかわからず、仲間作りに苦戦しているようでした。大人になれば、様々な人と常に関わらねばならず、早くから色々な人に関わる事は良いことだと思います。ただ、通学があまりにも遠いのは子どもにとっても、負担になるのでスクールバスなどの配慮も必要だと思います。	38
6	金竜小	統合はできる限り避けるべきであるが、統合するなら通学用バスなどの対応策を講じる。	39
6	金竜小	自分も子どもも同じ金竜校下でしたが通学距離が3.5キロありました小学生にとって徒歩通学は重いものかと思えます 学区統合されるとこういった問題も出てくるかと思えます 通学バスなど交通手段はどうお考えなのでしょうか。	40
6	金竜小	小中学校ではある程度の人数でいろいろな関係性や行事など様々なを経験する事が必要だと思います。限られた変化のない集団の中では体験できないことがあると思います。統合によって通学に支障が出るのであれば、市が責任をもって通学手段を確保(スクールバスとか)しても良いのではないかと考えます。人数が増えることによってスポーツチームが成立したり、いろいろなタイプの先生と出会う機会が増えるのも子どもにとって良いことではないでしょうか。限られた人間関係の中で起きやすいトラブルも選択肢が増えることで少しは押さえられるように思います。	41
6	洞戸小	学校が統合されることにより、最も遠方となる地域から通学する児童生徒のことを重視してほしい。	42
6	武芸小	昔とは違い一緒に登下校する人数もかなり減っている状況で歩いて45分以上かかる地区の小学生はスクールバスを検討して頂きたいです。時代は変わってきています。	43
6	武儀小	合併に伴うスクールバス等の運行について、これから入学する世帯も含めて、各世帯の意見をきいて検討してほしい。小、中学校合同で利用できるスクールバスについての検討なども考えてもらいたい。	44
6	市外	少子化で子どもを守るためにもアメリカのようにスクールバスを取り入れて事故から守ってほしい。	45
7	安桜小	小中の一貫校にしてほしい。	1

7	旭ヶ丘小	<p>基本的には、この先は家庭や子どもが学校や教師を選ぶ時代になってくる。それも踏まえて、あえて言うならば、過疎地域の小学校を統合するくらいなら、まずは小中一貫の義務教育学校化。地域の学校がなくなれば、地域は衰退するしかない。どんな田舎でも、そこにコミュニティがあるならば、学校はその集いの場になれる。予算の問題もあるだろうが、そこは工夫でなんとかならないかと思う。以下、私の考える過疎地域の学校を残すことのメリット①小学校でも、教科担任制による専門性の高い授業→教員の教科での充当が難しいというならば、何のためにオンライン授業ができるようにしたのか。②高学年へいくにつれて自治性や社会参画意欲の育成③地域と繋がりやすくすることで、高齢世帯へのサポートなど、複数の福祉の目と手を向けることができる。④災害時に共助を成立させるためのベースが作れる⑤学校に地域を入れることで、児童生徒の見守りや学習補充⑥地域の力を借りることで、元気な高齢者、活気のある地域づくり、世間知らずな教員ではできない教育の実現⑦通学時間の軽減→仮に、将来、その地域に残らないとしても、故郷を語れるアイデンティティを持つことは、国際感覚としても重要な資質○別の意見 不登校生徒の解消のために作ったL教室は、他校の生徒、また児童にも門戸を開きたい。また、その中で数%はいるであろうギフテッドの子どもたちのための、特別な学習ができる教室が一つくらいあってもいいのではないかと思う。現行の教育制度を外して、個別最適に特化した、体験や高度な学習ができるクラスを作れると面白い。</p>	2
7	瀬尻小	<p>人数だけの基準で、学校統合を進めるのはふさわしくない。学校は子どもたちが学ぶ場という機能だけではなく、地域の中心という役割も担っている。特に小学校は地域特性もあるので、統合ありきで考えるべきではない。教員の人員確保などの課題があるのであれば、義務教育学校など小中一体化などの議論もあってしかるべきだ。特色ある学校が増えることで、子育てをしようとする親や、市内への転居を考える子育て世代も増えるのではないか。</p>	3
7	倉知小	<p>小学校同士、中学校同士の統合よりも小中一貫への統合が可能であれば検討するべきかと思いません。</p>	4

7	南ヶ丘小	<p>学校がなくなると地域は寂れていくことが多いと思われます。上之保や板取の時も、なぜ義務教育学校のように小中での統合を行う選択がなされなかったのかと残念に思っていました。子どもの数が少なくなることはわかっていますが、旧市内で有れば特に、どこかに団地ができれば子育て世帯が集まるので、当然のように南ヶ丘のように、開校時の4分の1になることもあります。これからどこかが開発されればまた増えることもあるわけです。団地ができた頃に住宅を購入された方が多くいらっしゃいますので、現在は独居のお年寄りがお住まいになられている家が多いです。その方々がだんだん住まわれなくなりますから、必然的に世代交代されて行きます。団地はどうしても同じ年代の方々が集まりやすいので仕方がないと思います。義務教育学校にすれば地域から学校がなくなることはないので、地域連携もしやすいですし、地域で子どもを育てるという気風も保たれるのではないのでしょうか。もし、富野が旭ヶ丘と統合するようなことになったら、富野の方々は地域で子どもを育てるという気持ちを無くされるのではないかと懸念します。家庭や地域との連携が大切だとされている学校教育において、地域連携しにくくなりませんか。義務教育学校にすると、子どもは多くの教員と関わるのが可能となりませんか。小学校の高学年の授業を一部教科担任制にすることも可能になりませんか。小学校の英語や5、6年生の理科など、専科で雇用されている教員が必要なくなります。中学校の教員が受け持つことができるのですから、教員全体の数を減らすことが可能になります。何より子どもたちは専門の先生から教授される機会が増えます。これは逆に小学校にいる家庭科の先生が、自身の担任するクラスの授業を教科担任制で他の教員が教授している間に中学校の授業を担当できます。小中どちらにも、また子どもにも教員にも良いのではないかと考えます。飛騨市に山の村小中学校がありますが、学校経営としてはここをイメージされたいです。ここはとても地域に大切にされていると聞いたことがあります。私の子どもは南ヶ丘が好きです。今は仕事でここにおりませんが、結婚して子どもを育てることになった時、南ヶ丘が統廃合されることになったらきっと、ここには戻っては来ないだろうと想像しています。地域を捨てるだろうと思うのです。子どもが小中学校に通いやすいことを一番に考えたら戻らないでしょう。とすれば、地域を寂れさせることになると考えられます。子どもの数が少ないと、授業やさまざまな活動で、意見交換、コミュニケーションなどの機会が減ることは、人との関わりを考えると統廃合でクラスの人数を増やす方が良いでしょうが、今は、他県の離島の学校でもオンライン授業で多くの意見に交わる機会を持っているようです。この時代にあるべき方法を取り入れながら多くの経験をさせる教育は可能ではありませんか。今思いつくままに書きました。学校の統廃合のことだけでなく、関市のまちづくりと大きく関わる検討事項であることをよく考えていただきたいです。</p>	5
7	富野小	<p>地域に小中学校がなくなると子どもがいる世帯が住まなくなる。悪循環で地域にとっては良い話ではないので、小中学校を統合するなどの検討も含めて欲しい。</p>	6
7	富野小	<p>関市内のどの地域でも平等で質の高い学校教育を受けられること。通学時間や安全性、バス利用等考えると、学校間をバスで移動し合同授業を行う方式は一定の地域では可能だが、コストはかかると思う。地域によっては義務教育学校にすれば、中学年から教科担任制ができ、専門教科の指導もできると思う。</p>	7
7	富野小	<p>生徒数が足りないから小中統合は仕方ない。地区から学校がなくなるのは避けて欲しい。田舎こそ公共の施設、交通、学校等が必要です。学校が身近にある地区です。誇りに思います。</p>	8
7	富野小	<p>地元地域の特色を生かして他校区からも魅力を感じて通学していただける小学校、中学校一貫での教育校を目指し、存続させる。</p>	9
7	金竜小	<p>金竜小から小金田中に進学する子がほとんどです。この先生徒数が減少した場合、小中一貫の9年制の義務教育学校にしても良いのかもしれませんが。隣の小中と統合すると、なかなか遠い気がします。</p>	10
7	洞戸小	<p>板取、洞戸等特に生徒数の減少している学校は、小学校と中学校の統合もあって良いのではないかと思います。小中一貫教育はどうでしょうか。細かい決め事があると思うので、難しいとは思いますが、運動会などの行事では少ない生徒だけでは限界もあると思います。設備の維持費も削減出来るのではないかと思います。</p>	11

7	市外	人口減少が続く中、それでも学校は将来は自分が生まれ育った地域で活躍できる人材の育成に努めています。地域に根ざす子の育成を鑑み、これからは小中が連携できる義務教育学校を設置していくのが望ましいのではないかと考えます。	12
8	安桜小	板取川中、津保川中、武儀東・西小学校に続き、寺尾小学校と武芸小学校も統合されました。各地域でメリットとデメリットがあり、統合後も地域と各校の先生方により今も試行錯誤が続けられています。児童数が減ることで活動が制限・削減されるのは非常に残念ですが、このところ統合のスパンが短く現場は大人も子どもも落ち着かないのではないのでしょうか。人数が少ないことが問題となる場合、スクールバスを使って合同の活動を組む（クラブ活動、タグラグビーのチーム編成、練習など）、オンラインによる合同授業（討論会、合唱交流など）、各校の施設の合同利用（柔剣道場やプールなど）等、統合以外の方法を検討することはできないかと思えます。	1
8	旭ヶ丘小	児童数を担保するだけであれば、小規模での個別授業やオンライン授業なども交えながら、その時々で大勢がリアルで集まる、など、「完全に統廃合」ではなく「半分統合」などの緩やかな仕組みを検討しても良いかもしれません。先生たちの緩やかな働き方と地域の存続と、突然に完全統廃合だと切って捨てるものが多く感じるため。	2
8	南ヶ丘小	我が子を通っている小学校は一クラスしかない小規模な学校にあてはまっていると思います。学習面ではじっくりみていただけるという利点もありますが、ある程度の人数で行ってほしいこともあります。統合ということは通学の事、地域とのつながり、個々の考え方などでなかなか難しいと思います。コロナが緩和されてきたので学校同士で（同じ学年の）交流する機会があると他の学校の様子などもわかるのではないかなと思います。	3
8	田原小	子どもたちの学校生活という社会を維持できる環境が保たれることが大切だと考えます。規模の審議は、人数だけでなく学校を取り巻く地域特性に応じて臨機応変に対応することが望ましいと思います。例えば、人数が少なくても、地域で子ども達を育てる環境が整っていれば、遠隔授業も取り入れたりしながら継続できる道もあると考えます。	4
8	下有知小	最近近所では田んぼを埋め立て、住宅になるところが増えています。大体幼児～小学生のお子さんがみえます。なのであまり子どもが減っている感覚はないのですが、もし子ども達が学区が変更になったり、お友達と離れ離れになったりすると思うと、今のままがいいと思ってしまいます。逆に子どもが少なくなってきたと聞いて、先生達が子ども達に寄り添ってくれる時間が増えるのかな～と喜びの方が正直強いです。もし小規模で統合するなら、1年生から密に統合する学校の子と交流するなどして、子どもたちのストレス、違和感を限りなく少なくしてほしい。	5
8	富野小	各地域に学校があるから幅広い年齢が住み続けられると思う。富野はどこでもくっつくことが不可能と感じこのまま形を残して欲しい。他と差が心配であれば定期的な交流会等で学ぶようにするなどに対応してはどうか。もし無くなった場合の跡地の活用も問題となるなら、そのまま学校として活用した方が地域も学校と繋がり活気ができると思う。	6
8	金竜小	統合となると、子ども達は不安があると思うので、統合までの期間に、できるだけ多く子ども同士の交流を深め、新しい所での学校生活も楽しめる様や配慮をしてほしい。長い期間かけて心のケアが必要な子もいるので、先生方やSC、相談員と気軽に話せる環境があると安心すると思う。	7
8	板取小	少人数だから統合することがいいという考えは反対です。少人数のいいところもあると思います。また、地域とのふれあいも子どもにも親にもいいので壊して欲しくないと思います。また、通学するのも大変だと思います。今のままで、交流をしてもらえたらと思います。	8
8	上之保小	人数が減ったから、併合して大きい方へ。という流れではなく、しっかりと子どもたちへの影響を考慮してほしい。合併対象の小学校との交流はコロナになってからますますなくなっているため、子ども同士に面識がかなり薄い。合併に向けて話しを進めるのであれば、数年かけて、子どもの融和をしていく必要があると思います。保育園や、中学校とも連携し、合併校の児童の交流を持てる機会を用意してほしい。	9

9	安桜小	子どもたちがのびのび生活できるように少人数クラスにしてあげてほしい。また統合したら自宅から遠くなる場合がある為心配。	1
9	安桜小	少人数制のクラスにしてほしい。	2
9	安桜小	教員確保の問題が難しいとは思いますが、個人的には少人数学級が望ましいと考えていますし、昨今の病的観点からも教室を広く有意義に利用できることは生徒・教員ともに利点しかありません。経済的な問題として統合した場合、地元では結局スクールバスの運行がコロナで難しくなってしまう例もありました。健康面や安全にも留意し、各校舎のもつキャパシティとともに（おもに）教科活動での少人数・学習進度別クラスも積極的に取り入れて欲しい。個人的な考えとして、現状の小学校・中学校に求めるものは教科教育です。統合した後の学校跡地利用としては、各特別教室や図書室が地域に開放されることが望ましいです。ふつうに木工室とか使いたいですし、家庭科室のミシンなんかも部屋ごと時間貸ししてくれたら子育て主婦や手芸好きおばちゃんたちが助かります。そのままこどもセンターになった例もありますし、私の小学校も中学校も更地になってしまって、実家に帰って通りすぎるたびにさみしいきもちになります。	3
9	安桜小	数字的にみて規模を統合するのは、仕方がないのかもしれないが、国の示している今の人数が、果たして適正なのか少し疑問に思う事があります。小中学校の先生方々への業務のハードさに目を向けて、もっと少人数制にしたり、子どもたちが様々な教育が受けられるよう充実した個々への目が届く教育ができる事を望んでいます。	4
9	安桜小	子どもが減るのであれば、統合はやむを得ないと思います。できれば、1クラスの人数を減らして、一人一人に対応できるきめ細やかな教育ができるといいですね。	5
9	旭ヶ丘小	児童生徒一人あたりによる教員の人数をもっと増やして、先生方の負担を減らしてほしい。学校が統廃合されて、数が減っても、先生の人数は減らさないでほしい。	6
9	旭ヶ丘小	少子化を理由に子ども関連政策のコストカットを進めるのはいかがなものでしょうか。さらなる少子化と人口減少への悪循環につながらないか心配です。逆に、これを機に少人数教育を実現した方がいいと思います。手厚い教育が受けられることを関市のアピールポイントにして、ぜひ若い世代の人口を増やしていきましょう。	7
9	旭ヶ丘小	規模の大小に関わらず、児童生徒が生き生きと活動できるように、教職員の数を増やして欲しい。	8
9	桜ヶ丘小	1クラスあたりの人数をもう少し少なくして欲しい。少なくとも35人学級。教科担任を増やし、現場にゆとりがほしい。教員が疲弊すると、その子どもにも指導が行き届かない。育休復帰など、時短を希望する教員を教科担任にするのもいいのではないかと思う。（担任復帰しか選択肢がない場合と比べ離職率も減らせるように思う）難しい場合でも、図工や音楽などの専門教科に、数時間でも専門の講師の先生による授業を増やして欲しい。学校だけの部活動を廃止し、市のクラブ・サークル活動に参加しやすくするようにすると思う。学校の固定化した人間関係から開放され、いじめを減らしたり、子どもの孤立化を防ぐきっかけになるように思う。また、教員の多忙化解消にもなる。	9
9	桜ヶ丘小	学校規模とは話が異なりますが、1クラス20人まで程度にしてクラス数は増やすべき。	10
9	桜ヶ丘小	統合することによって、クラスが多くなるのは避けたい。現実、今の低学年を持つ親として一クラス30は多い。見きれていないと思います。統合などして、うちの学校が減るならありがたい。	11
9	桜ヶ丘小	教職員志望者の減少もあると思いますが、小学校は小規模で目の行き届く教育をお願いしたいと思います。	12
9	倉知小	もし学校を統合するにしても、クラスの人数が増えるのは避けて、クラス数を増やし、生徒に目が行くようにしてもらいたい。学校の人数が増えると言うことは 全校生徒の人数が増えるので、子ども一人一人の活躍できる場がなくなったり、進路選択においては、推薦枠などはどうなるのか気になります。	13
9	倉知小	学校全体の規模は多い方が良いかと思うが、クラス編成としては、もう少し人数を少なくして、教員にとっても余裕を持った指導ができるようになると良いと思う。	14
9	倉知小	1クラスを少なくして行き届いた教育は悪くないと思う。	15

9	富岡小	1クラスの人数も30人以下とするなど、見直した方が先生方の負担も軽減するのではないか。親としても一人ひとりみてもらえる体制が安心である。	16
9	富岡小	子ども達のために、いろいろ考えて頂き、ありがとうございます。私は、一学年あたりのクラスは、多いほうが良いと考えています。そして1クラスの人数を減らして頂きたいと思います。なぜかというと、生徒が多ければ多いほど、生徒同士の多様性が生まれるからです。卒業しても同じ学校という仲間意識が生まれると思います。ただ、1クラスの生徒数は、1人の先生に対して、どれだけ安全に質の良い教育が生徒に提供できるかが大切である。私は、教師では、ないので、今の1クラス人数で、どれだけ満足のできる教育ができていのかは、わかりません。しかし、日本人が減少するなか、より良い日本人作りを進めて頂かないと日本人が、いなくなります。子育ては、おとな全員の義務だと考えています。これは、あくまで自論なので、安全でより良い教育のために、最善の選択を、お願いします。	17
9	富岡小	教師数の増員が前提にあり一人の教師が平等に生徒全員に心のつながりを保って指導できる可能な生徒数を基本とする規模が重要である。	18
9	田原小	今、田原小学校では1、2年生が35人弱の単学級で、教室はぎゅうぎゅう。一人の担任が見られる子どもの数を超えているように見える。 学区を見直すことで、1クラスあたりの人数が減ったり、クラス数が増えたりすることで、先生方の負担もかなり減ると考える(校務分掌の分散化、交換授業による教材研究の効率化など)。先生方に余裕ができれば、心身ともに健康で子どもと触れ合っていただく時間が増えると考えられるため、子どもたちにも良い影響があるだろう。	19
9	田原小	学校規模を文科省の適正規模にこだわる理由である行政にとってのメリットを子どもにとってのメリットに置き換えてはならない。文科省の示す適正規模は現在の子どもにとっての適正規模とは異なると考える。適正規模を学級数だけでなく学級規模と同時に考えるべきである。学級の規模を21人程度にすれば早急に統廃合は必要がなくなる。これからの子どもが成長するために必要な環境条件を総合的に把握し、十分に分析と検討をした上で、子どもと地域にとって今後の学校と学級の適正規模はどうあるべきかを判断してほしい。また、根拠となる資料は手元にはないが、統廃合によって学校がなくなった地域は過疎化がさらに進んでいく印象がある。これから統廃合する住民の意見だけではなく、関市だけでなく他市も含めた統廃合した後の住民の意見も調査し、反映させるべきと考えます。	20
9	下有知小	現状の国の適正規模の中では難しいかもしれませんが個別化を重視した、少人数化が進むことを期待したい。担任が20数人の児童を受け持つことは担任側の負担が大きく、一人一人の児童へも目がいきにくいことは問題だと考えます。国の適正規模も少人数化に進むべきと考えています。	21
9	富野小	小規模校を統合して、より多くの子に関わったり考えに触れたりできる環境にできるのは、よいと思う。ただ、総合学習等による地域の学習が偏らないように、工夫してほしい。また、大中規模校でも、人数減少によってクラス数が減り、1クラスあたりの人数が多くなっている。小規模校を統合するにしても、1クラスを25人、多くても30人までにして、クラス数を維持することと、より個に応じた教育を受けることのできる環境にするべき。今後、インクルーシブ教育を進めるのであれば、1クラスの定員を少なくしないと、一人一人に配慮するのは難しい。	22
9	金竜小	金竜は一年生が1クラスに35人と押し込められた状態です。もう少しゆとりのあるクラス分けをしていただきたかったです。	23
9	金竜小	大人数で目が行き届かないのであれば少人数の方が良いかなと思います。金竜はマンモス校なので、統制をとるために規律が多く、子どもたちが窮屈に感じることも多いのではないのでしょうか。もう少しいろいろなことに余裕があるといいなあと思います。	24

9	金竜小	一クラスの生徒数が、昔から変わっていない。子どもの数が減少していくのは目に見えている。統合するのもいいが、一クラスの人数を、低学年…15～20人まで 高学年…20～25人までなど、減らしたらどうか。中学も同じ。《一クラスの人数を減らすメリット》・生徒のフォローがしやすい・一人ひとりに目が届きやすくなる（子どもの多様化、保護者の姿も多様化している）・担当教師の負担も減る 《統合した際の懸念される事項》 学校までの距離がとてもの遠くなる地域もある。近年にみる猛暑、防犯の点からしても、通学バスを検討しなければならなくなるのでは。現在でも、徒歩1時間近くかかる地域もある。時代が様変わりしている中、いつまでも昔のルールのままではいけないと思う。改善すべき点を積極的に、有意義に討議してほしい。	25
9	金竜小	関市も広いので、通学時間を考えると、なかなか境界の変更は難しいと思います。規模もですが、それに伴う1クラスの人数も考えていただければ。今の人数では多いですね。	26
9	金竜小	少子化により児童が減少すると予想されるのであれば、1クラスの人数を減らした少人数学級にするほうがいいと思います。クラス数を現状維持とすることで「空き教室」も発生せず、1人当り広い教室で授業を受けることができる。また、例えば先生1人で40人担当するより30人あるいは20人見ることで1人当りに接する時間と気持ちも増えて教育的にも良く、また報道等で聞く教員の過重労働等の負担軽減にもつながるのではないかと。統廃合は避ける方針でお願いしたい。毎日の通学を考えると学校から遠い所から歩いてくるのは、「若い」から運動になってよいという見方もできる一方で、雨や雪など天候状況、また交通安全という観点からも心配の種ではないかと推測できる。	27
9	武芸小	1学年のクラスがせめて25くらいに、なるようにしてほしい。	28
9	武芸小	学校によって、クラスの人数が多すぎる所もある。なるべく少人数にして、先生が児童を見られるように、したほうが、生徒も先生にも良いのではと、思います。	29
10	安桜小	子どもの教育、成育環境に関してコストの話を持ち出すのは良くないと言われる場合もあるかもしれない。でも限られた予算で市を運営する中でこの案だと年間どれくらいの費用がかかるなど、言いにくいこと、つい目を逸らしがちの部分も見ながら話し合うべきだと思う。合併するならするで、合併により学校がなくなる地域が子育てをするのに住みにくい地域とされるのではないような案が見つけたいですね。	1
10	安桜小	スマートシティーになるよう、集落規模の適正も同時に行うほうが良い。	2
10	安桜小	暴風雨警報などの際の安全確認や土砂崩れからの安全確保に対策が必要かと思います。	3
10	安桜小	子どもの心身の安全が確保されるよう推進して頂ければと思います。	4
10	安桜小	こういう調査はとても大切だと思います。	5
10	旭ヶ丘小	このような内容よりも、個々の生徒が抱える問題解決ができなければ、どのみち不登校、不登校予備軍が増え、少子化の中、高校進学率、今後の就職難につながるだけです。規模ではなく内容を重視してください。高齢化がどんどん進む中、子ども達にその世代の生活の面倒を見ろというのであれば、先に解決をすべき問題を解決してください。	6
10	旭ヶ丘小	希望する学校校区内に土地がないと、そのエリアに住みたくても住む事ができない為、空き家を積極的に整備し次世代の子育て層に回せるようにして欲しいです。でないと、土地が整備されて新しく家を建てる場所が多くある校区に人が集まるのは必須で、開拓出来る土地が少ない校区は実家が元々そこにあり同居できる子育て層、または運良く空き地や売地がポツポツでた所にたまたま入れた人くらいで、どんどん減少していくことは避けられません。また、田んぼなどを埋め立てて家を建てる事だけに集中するのは限定的であり、学校周辺は空き家や子育てが終わった家が多く集まり、新しく家を建てる家族は学校との距離がどんどんと離れていく傾向になってしまいます。学校との距離も家を建てる時の懸念事項となり、距離が長くなるほど不人気となるため、どんどん空き家なども同時に整備し循環出来ると町全体が活性化できるのではないかと思います。	7

10	旭ヶ丘小	小規模と言われる小学校から中学へ進学するので人数が一気に増えます。環境に馴染めるのか等、人数が多いという事は、気の合う友達に出会える可能性がある分、逆に、いじめの心配もあります。色んな子がいるわけですから、その中で上手く立ち回れるのか、安心して通えるか、中学進学を楽しみにしている子どもがいますので、心配事は少しでも排除してあげたいと親としては思います。	8
10	旭ヶ丘小	Q6とQ7のアンケートが五段階評価でしたが、学校区域変更や統合する方の評価段階に偏っており、アンケートが操作的で回答に市民の意見が反映されにくく、アンケートの妥当性に欠ける点が残念だと思いました。	9
10	旭ヶ丘小	一律に学級数で適正でないとするのはよくないのではないかと。小規模校のよさも認めつつ、地域や子どもの目線で考えることも必要ではないかと思えます。	10
10	旭ヶ丘小	色々な面で規模の違いによる不公平が出ないようにすると良いと思います。	11
10	旭ヶ丘小	対象になる校区の地域住民の声、意見交換の場、地域の課題なども含めて、慎重に判断されたい。生徒数のみで規定の枠にはめ統合になることは避けたい。子ども主体に学校生活がかみも落ち着けて生活できる環境で判断されたい。家からの距離は大切にされる所である。小規模でも地域住民が安心して子育てできる環境が少子化対策にも重要と感じる。規定外になるケースも柔軟に子ども主体で判断されたい。	12
10	旭ヶ丘小	同じ市内でありながら学校区によって地域活動が違いすぎる。休日活動や予算が必要なものは市内統一すべきです。例えばPTAの活動の有無。資源回収の有無。他学区では何も活動がなかったのに、現学区に引っ越したら資源回収やるのに自治会費から車手配の謝礼金を払っていると聞き、引っ越す際も学校を選ばなければならない。私立でもないのにと感じる事も多い。	13
10	旭ヶ丘小	細かいルールはなしにした方が良いと思います。髪型など、フリースクールとの違いって微差だと思うんです。たった少しの縛りが大きく感じます。	14
10	旭ヶ丘小	以前、消防団の関係者との会話の中で出た事がありますが、消防団の分団が管轄する区域と学校の区域が異なっている地区があり、団員を確保する、依頼する活動にも影響しています。これは昔からの流れと言いますか、「そうってしまった」と言う感じです。話していた中では、区域が同じだと良いと言うものです。子ども達は通学に大変だったりする子も多いと思いますし、様々な問題点や課題があると思いますが、地域のみんが協力して、理解しあって、解決して欲しいです。	15
10	桜ヶ丘小	Q4、子どもがほしい欄を作ってもらえたら、私はそこを選びます。Q5、宿題はあった方がいい。愛知の小学校では漢字ドリル、計算ドリルをよくやって自分で採点していました。静岡の中学校では、毎日漢字をノートに書いて勉強し、英単語をノートに書いて勉強し、担当教科の係の学生が集めて先生にもっていき、担当教員が一人ひとり丸をつけて、担当教科の係の学生がみんなに配っていました。生活ノートには、毎日の日記のようなことを書いて先生に読んでもらい、コメントももらってました。Q6、静岡の中学では、2つの小学校から主に来ており、1つの小学校では少数しか来ていなくても、なかなか友達が出来なかったが、そのうち頑張れば友達ができるようになりました。その子と少し友達になれました。私は全く別のところから来ていたため、知り合い0でした。友達作りに苦労しました。Q7、静岡市立商業高校の話ですが、卒業後5年以内に他の高校と統合しました。当時、愛知県の岩倉の小学校では4キロ位内で5つの小学校がありました。	16

10	桜ヶ丘小	異次元の少子化と言われる昨今において、確実に統廃合は課題となる。その際、教職員の負担に配慮していく視点も重要になるかと考える。また、35人学級の導入は関市内だけでも確実に実施すべきである。田原小学校では1・2年生40人規模を一人の女性教員と男性教員で支えていると聞いている。明らかに負担がかかりすぎている。(市長さんは息子が通われているのでご存知だと思いが)規模の選定もさることながら、関市の教職員が安心して質の高い教育を受けさせる人的環境整備と並行して行うことが急務である。拙い提案だが、出産妊娠等で現場を離れている元教員の方が3時間ぐらいで復帰できる時間給与プログラムの制定、拡張などでも、少人数算数や家庭科等の実技は補えるのではないだろうか。そういった眠っている人材をより現場復帰しやすくサポートしていくことで、恒久的に関市の人材は潤うことにもつながるように感じる。活力ある教職員の働き方なくして、良い関市の未来は望めない。子どもを託すからこそ、教職員の皆さん、保育士の皆さんには働きやすい環境を整えて欲しいと切に願う。	17
10	桜ヶ丘小	毎日通うとなれば、通学手段も自転車では大変になるのではないのでしょうか。学校設備も整える必要があるのかなと思います。	18
10	桜ヶ丘小	リサイクルステーションがあるので、廃品回収とは、なしにしてほしいです。	19
10	桜ヶ丘小	学校の規模に関係なく、平等に同じような教育を受けられるようにしてもらいたい。	20
10	桜ヶ丘小	学校区域を変更する時、兄弟で異なる学校へ行くことを避けてほしい。	21
10	桜ヶ丘小	教える側の先生の人数も減ってきている中で、児童一人一人へ目が行き届く学校環境となるよう配慮いただきたいのが本音。とはいえ、通学路の距離が伸びることで登下校時のトラブルも増えるのも困るため、両者の問題を比較して最適な案を導き出して欲しい。	22
10	桜ヶ丘小	中学校を卒業しましたが、いつまですぐーるは配信されるのですか。	23
10	桜ヶ丘小	確かに、少子化ですが、学校の統廃合で、へき地の子どもやその両親が、遠方になった学校への、送り迎えが困難になると、緊急対応で、迎えが出来ない家庭も、出て来ます。後、少しずつ増えている、発達障害児やその両親に対して、学校や教育委員会・病院、発達障害者支援センターが、連携強化とお互いの意思疎通が、望まれてます。	24
10	桜ヶ丘小	学校規模を調整するために子ども達に環境の大きな変化を強いる事には出来る限り慎重であるべきだと思うし、実施するのであれば教育環境をより充実させる事が何よりも必要だと思います。	25
10	桜ヶ丘小	中学校単位での学力の格差がなくなるようにしてほしい。	26
10	桜ヶ丘小	部活動の地域委託を、早急に行なってほしい。	27
10	桜ヶ丘小	一定の集団規模の確保を最優先するという市としての基本方針を明確にすべきである。地区ごとに方針を変えるべきではない。その上で、通学時間・距離を考慮して板取小などは例外とするなどの配慮は必要だろう。一方で、存続させる学校については、地域の学校という認識をこれまで以上に住民が持てるよう、ふれまちなどの組織の協力体制を整えるよう、教育委員会以外の関係各課が積極的に動く必要があると思う。	28
10	瀬尻小	夏の下校時の気温が心配です。	29
10	瀬尻小	保育園の乳児無償化をするべき。	30
10	瀬尻小	マンモス中学である緑ヶ丘中学校の生徒を分散できたら良いのではないのでしょうか。広見地区の子どもは武芸川中へなど住まいの近くの学校への選択肢が広まると良いのではないのでしょうか。	31
10	瀬尻小	隠れたいじめがあります。規模が大きくても小さくても。子ども達の直近、将来に関わる事なので。しっかりみて指導いただきたいです。見ていただけるなら、どちらでもかまいません。	32
10	瀬尻小	統合する時に、同じ小学校の生徒を二等分したりするのは避けて欲しい。統合されても、全校生徒が、同じ小学校に通えるようにして欲しい。	33
10	瀬尻小	校区内の子どもがいない家庭との関わりが持てるように出来るといいと思います。	34
10	瀬尻小	今現在もそうですが、生徒数が多すぎて先生の対応が中途半端というか、浅いと思います。時間がなく大変なのはわかりますが、中途半端に関わって途中で有耶無耶になってしまうのであれば、担任以外でそういった相談のみの専属担当される方を常設されればいいと思います。	35

10	瀬尻小	様々な考えがあると思うが、大人の考えを子どもに押し付けるようなことにはならないように願いたい。学校に通う子どもたちの気持ちも大切にしてほしい。	36
10	瀬尻小	子ども達にも、それぞれの地域の風習とか伝統は伝授しながら守れるようにして行って欲しい。	37
10	倉知小	PTAなどの役員は必要性があまり感じられない。	38
10	倉知小	Q6.について、留守家庭児童教室の利用を考えて親の住まない学校区を選び家を建てたものもいることを踏まえ、学校区が変更となったことで留守家庭児童教室が利用出来なくなることはないよう、学校区の境界変更の際には、利用条件を見直すことも必要であると思う。	39
10	倉知小	中学生になった時に徒歩通学指定されている地域ですが、遠いです。荷物もかなり重たいようなので、通学方法を改善してほしい。	40
10	倉知小	学校の教室の席が本人が嫌がり、学校へ行きたくないという理由のひとつで、黒板が見づらく、友達も近くにいない。クラスのみんなが平等になるように一定期間ローテーションで席替えをしてほしいです。	41
10	倉知小	小規模校の統合はやむ得ないとは思いますが、小規模校は個々の子どもに寄り添える、子どもの変化に気付きやすい、個々のペースを保ちやすい等の良さもあると思います。（もちろん人数が少ない事のデメリットもあります。）学校生活の安定は、子どもたちの心の部分に大きく影響を受ける部分だと思うので、大規模校が必ずすべて良いとは言えない。子どもの人数だけで判断することが、本当に良いのか疑問もあります。	42
10	倉知小	少子化にも地域差や地域事情があるので、国の基準と異なることだけを理由に対策するのは少し短絡的かと思う。ただ教師の数が減っているとの情報もよく見るので、市内でカリキュラムをある程度統一して、オンライン授業などで賄うのもありだと思う。教師の役割を細分化して、地域と連携できる部分があれば穴埋めするなどできないものなのかなと思います。ただまだ私の子どもは保育園なので、小学校、中学校の事情があまりわかっておらず、机上の空論かもしれません。	43
10	倉知小	生徒数が増加傾向にある地域と減少傾向にある地域があるのは仕方ないですし難しい問題ですね。ただ設備が古いまま細々と学校が続くのも心配です。母校がなくなるのも寂しい話ですがみんなできあがるのを会をするなど新しい社会に向けて出発するのも時代の流れかと思えます。関係者のすべての方へ感謝を忘れず、伝えながら前へ進んでいくより仕方ないのかなと思います。空き家問題、核家族など課題はいろいろですね。。社会がどうあるべきか私も考えさせられます。	44
10	倉知小	廃校の利用について 素晴らしい設備があるのに、朽ちていくのは残念です。1番は、地域が再活性化し、子どもたちの声が戻ることなので、クラブ活動での利用や、文化活動での再利用、市民の親しみやすい施設への転換など、人の声の集まる利用法が希望です。	45
10	倉知小	編成や統合を先生など教員や役所職員だけ、もしくはPTA会長等学校側だけの人間ではなく、一般の保護者等もっと平等にどっちかに偏った意見じゃない方を多数含めて考えていただきたい。	46
10	倉知小	規模の大きな学校は複数担任制の積極的導入。	47
10	倉知小	旧関市内は生徒数、通学距離、今後の都市計画も含めて審議していただきたい。関市新加入地域の過疎については行政の地域振興、都市計画が機能していない。そのしわ寄せが子どもたちの生活に影響を及ぼしている。行政側も責任を感じながら未来を担う子どもたちのために考えてほしい。中学校では部活動が壊滅的である為、活気ある中学生生活が送れず、将来に希望を持つ生徒が少なくなっている。関市内に私立中学、高校の誘致も検討が必要。	48
10	倉知小	生徒のみんなが、平等な環境で教育を受けられるよう願っています。	49
10	倉知小	適正規模にした方がいいのかどうか分かりませんが、統合する事によって通学時間が増え苦痛になったりしないよう色々な配慮があるといいと思います。それぞれの学校によって個性、雰囲気、環境が似たようなの地区だとしてもその中にいる子達によってできる空気感、そういうものに馴染めない子どもができないように配慮してほしいと思います。	50

10	南ヶ丘小	学校の運営維持についてはわからないことが多いので、一概に意見だけ言うのは出来る範囲が変わると思いますが、学校の教育の部分で学校を分けるのはどうでしょうか。義務教育の中でいろいろな子ども達と集団生活をすることが大切なのはわかるので、学校と言う場所は減らさず専門知識や、学びの分野などを特化型学校として配置。ただ、場所がしぼられるので、登校の方法などをバス等で確保し、安全に登校出来るようにするなど、考え方としては専門校との混合校で、個の特性を伸ばすことに力が使える学校もあって良いのではと思います。そうすれば単に人数の減少による統合と言うだけでなく、ハンディーキャップがあることで支援学校があるように、個人で知識を選べて支援を受けれる場所として学校を利用するのもひとつの考えかなと思います。	51
10	南ヶ丘小	合併する場合、歩いて行くには遠いけど、バス通学だけでなく、途中から歩きにしてほしい。	52
10	南ヶ丘小	統合した場合に今より遠くなったら仕事をフルタイムでやると学童とかに預けてもお迎えの時間が気になる。また、その遠くなった距離を子ども1人だけで帰るという状態になった場合怖い。	53
10	南ヶ丘小	合併などは市の指示に従いますが、困り感のある子どもたちや不登校など少数派の居場所やサポートなどできる先生の人員確保をしてもらえるなら良いと思う。	54
10	南ヶ丘小	慎重によく考える必要があると思います。統合により子どもの心などの変化で不登校になったりする事もある。	55
10	富岡小	家を建てるタイミングで地域の変更になる事は避けたい。この地区で育てていきたいと思っても家を建てた後にこちらの地区で学校を変えるのは難しい。子どものためにも子育てする親にとってもしっかり話していただきたい。	56
10	富岡小	統合にあたっては学校が地域のシンボルになっている地域もあるので統合するだけでなく、その学校の文化も引き継ぐという意味もあるということを考えて欲しい。スクールバスなどの維持費もあると思うので統廃合を安易にすすめるのは少し考えものだと思う。学校の規模が国の適正で規模が適正だとしても生徒指導等で大変な学校もあると思うので、学校の学級数の規模に関わらず、実態でしっかり教員の配置も考えて欲しい。(大規模や生徒指導困難校には非常勤養護教諭を配置してくださってるが常勤にしたりするといったなど、外国籍に対応する通訳サポーターの配置など)学校訪問時に施設の老朽化なども教育委員会の方から見て貰えるといいと思う。	57
10	富岡小	マンモス校は嫌だなと思い、ちょうど良い関市に引っ越して来ました。 私は家を決める時に、安心して通わせることの出来る通学路であったり、環境であるかを大切にしました。地域によっては子どもが減少していることも理解しています。仕方がないことかも知れませんが、あまり統合を進めていくとその地域に若い人が集まらなくなります。難しい問題ですね。	58
10	富岡小	食育。給食の牛乳を選択制にしてほしい。オーガニック給食。	59
10	富岡小	富岡小は規模がでかいからか、教員も事務もいい加減で自己中心的なので小規模できちんと児童の対応、ケアができる体制が良いと思います。	60
10	富岡小	各学校、偏りのない教育を受けさせてほしい。関市内の学校によって、行事や風習などがあるとは思いますが、授業の進め方など統一して欲しいです。同じ学校でも先生によって、やり方の違いを感じるし、同じ学年でも違いを感じます。先生が、ただただ、自分の受け持ったクラスだけを見ている感じがします。担任が代わる度に、子どもが戸惑う姿があります。先生の個性も必要ですが、最低限は足並みを揃えるなど、各先生方の意識も変えることも必要だと思います。関市規模で、平等な教育、対応をして頂けるなら、何処の学校へ通っても安心になると思います。通学に関しては、移動時間ほど無駄な時間はないと思うので、統合によって、通学時間がかかりすぎるのは、子どもには可愛そうだと思います。大人は車移動が主流ですが、子どもは雨が降っても傘をさして歩いて登校するなど、大人よりも便利ではない生活をしていると思います。子どもに意見を聞いたり、子どもの立場になって、考えてほしいです。	61
10	富岡小	学校規模にかかわらず、学校やクラスによって、宿題の出し方や量がちがったりするのは、不公平を感じます。同学年であれば一律に同じ方針にしてほしいです。	62

10	富岡小	学区の境界の見直し・統合どちらにおいても、早いうちから全市民にその内容が伝わるようにしてほしいです。広報だけではなく、いろいろな手段でお願いしたいです。特に賃貸に住んでいる方は学区を考えて家を建てる方が多いと思います。そして、広報が届かない(自分でどこかで手取らないと広報が読めない)賃貸もあります。家を建てた後に希望の校区ではなくなっていたのは避けたいです。よろしくをお願いします。	63
10	富岡小	小学校入学時はできるだけ環境の変化がないようにしてあげたく、顔見知りが多いと良いと思い区内の保育園に通わせている。	64
10	富岡小	少子化により統合など検討は必要ではあるが、それをすることにより子どもの通学方法や通学の時間がながくなることで勉強量が減るなど統合された子どもたちや親へのフォローをすべきだと考える。	65
10	富岡小	大きすぎる学校の校区を分割することも検討してほしい。	66
10	富岡小	日本は教育に対して豊かな部分が多く感じます。学ぶ事も出来ない子ども達がいる事、世界的に目を向けた教育を子ども達に学んで、ニュースには無い現実を見て考える力を養って欲しいです。	67
10	富岡小	小学校は350から400人程度の学校でよい。1学年が3クラスでは、多すぎと思います。	68
10	富岡小	少子化に合わせて、空いたスペースをデイサービスか障害者の作業所など、もっと触れ合う場所として使って頂いてもいいのでは。規模というより維持が困難ということでしょうか。	69
10	富岡小	特別支援学級の担任は発達障害等の知識がある先生に担当して欲しい。	70
10	富岡小	特別支援学級の担任専任の仕方、適正な先生を選任にして欲しい。	71
10	富岡小	富岡小は関市の中では大人数の学校といえると思うが、その規模に似合わず体育館の狭さと設備は非常にお粗末だと思う。バレーボールコートは一面しか取れず、バスケットボールに至ってはコートのみならずゴールの高さも全く適正ではない。区画整理で宅地造成がなされていることから、今後も児童数は大きく減ることはないと思われるので、子どもたちのためにも人数に見合った施設の整備をしてあげてほしい。	72
10	富岡小	自治会内に小学生が1人もいなく、現状をみると3、4年は1人です。このご時世、事件性の恐さも感じますし子どもたちの友達関係や心理も重要だと。適度な距離、適切な児童数がやはり理想だと、思います。現実調査に調査を重ねて頂き、現場の声を聞いて色々議論して結論いただきたいと。宜しくお願い致します。	73
10	富岡小	しっかりとした基準が統一される事。例外は避けるべき。関市として子どもを増やす。少子化対策と子育て支援策を具体的に積極的に示すべき。将来見据えたポジティブな政策を。	74
10	富岡小	その地域に住む方々の意見をよく聞いて、その方々ができるだけ納得できる形で進めていかれるよう、お願いします。	75
10	田原小	昔と違い先生も大変ですし、人口減少は日本全体の問題なので、特に田舎の地域では合併は仕方がないと思うし、財源が不足しているので仕方がない。ただ、子ども1人1人の個性を伸ばし、田舎だから都会の子に負けたり、情報が遅いのは嫌なので、勉学のみならず様々な専門家との交流や授業を柔軟に取り入れてほしい。ダンス・英語・プログラミングと必須化されてきても中途半端で終わることもしばしばなので、お金・投資・資産運用の勉強は特に力を入れてほしいと思います。また、スポーツや体育指導も積極的に取り入れてほしい。	76

10	田原小	<p>関市の不登校時、発達障害児が膨大に増えていると実感しています。周りにも増えて来ているためあまりアウェイ感（小学校内ではありますが、関市全体や近隣市友人では、たくさんいるためアウェイ感は少なくなりました）が少なくなった反面、すごくまずいと感じています。学校規模と同時に、もし統廃合をされる場合、公立の不登校児や発達障害児の中学校を作ってください。これは、本当にお願いしたいです。我が家は引っ越しまで考え、岐阜市の草潤中学校にすでに説明会にも伺いました。非常に悩んでもいます。関市にも同じ様な受け皿が欲しいです。強く願います。膨大に膨れ上がった不登校児や発達障害児の受け皿が十分に確保されて居ないので、学校規模の見直しをされても、現在問題になっている部分は根幹から変わらないからです。しかもこれは保護者側に原因がありますが、発達障害を受け入れない保護者も山ほど居て、我が家の様に支援学級に移籍する事をする保護者は良いかも知れませんが、そうしますと、児童には絶対的な問題があるのに保護者が受け入れない場合、移籍を受け入れてくれやすい保護者の子どもを積極的に説得する事も出てくるかもしれない、そうする事で保護者の中にも心理的な不平等や、学校に対しての不信感はあるかと思います。（あくまでも一般的に、です。我が子が通う学校がそうという意味ではありません。周りの方々からの声で多く聞きます）我が家もいつどの様な状況になり、中学校での高校受験に向けた学習が中断せざるを得なくなるかわからない情緒なので、ぜひこうした部分で根本（不登校児や発達障害児の公立学校を設立する）を解決して下さると、おおくの教師の方が救われ、現場の仕事に集中し、辛さも減ると思います。あと、現場を助けるアシスタントの先生が圧倒的に少ないです。アシスタントの先生さえいれば、移籍しないでみんなと一緒にたくさん良いモデル（健常者として過ごしているお子さん）を見ながら、自身も気付かされながら成長経験を積み重ねていけますが、分離してしまう事で、圧倒的に経験値が減り、実力が下がってしまうタイプのお子さんもみえます。望むのは先生を助けるアシスタントの方を圧倒的に増やす事と、不登校児と発達障害児の公立学校を規模の統廃合の際、ご一緒にご検討いただきたく思います。今後の子ども達のために、よろしくお願いします。</p>	77
10	田原小	<p>規模がどの程度が適切なのかわからないが、規模が大きくなることで、子どもとの関わりや、目の行き届きなどが小さくなるのが心配です。人員不足も叫ばれています。</p>	78
10	田原小	<p>校区が拡大することにより生徒の校区内の移動範囲も拡大する、それにより事故や犯罪に巻き込まれたり危険性も考えていただきたい。また、自転車通学や自転車での部活動の参加も増えることになるため、継続的に自転車のマナーや技術面の強化も必須かと思う。1回の講習だけでは無意味です。</p>	79
10	田原小	<p>災害時の避難場所に指定されている場所が減ってしまう。</p>	80
10	田原小	<p>難しい問題ですが、町内だと高齢化で班の役割などでも問題になるのが規模の大きさです。若い層は逆があり得るのでそろそろ考えなきゃいけない時期かも知れません。</p>	81
10	田原小	<p>例えば、アパート住まいの人で、保育園は田原保育園、そのまま田原小学校に入学したいのですが、家を新築する事になり、土地を探していたけど、田原学区には無く、富岡や、倉地、瀬尻が選択肢に、248バイパスが通ってるような地域でさえ、過疎化を感じます。土地の改良は見られますが、10年後の人口の偏りがわかりきった計画にしかみえません。住みたいけど、住めない、どうなんでしょう？</p>	82
10	田原小	<p>子どものやりたい事を伸ばす学校がいいね。</p>	83
10	下有知小	<p>統合するのであれば、パートタイムの教員を雇ったり教員をシフト制にしたりして、積極的に課外活動や部活動を行ったり、教科ごとの各個人の理解度を把握してサポートできる体制作りをしたりして、やってよかったと思えるような改革にして欲しい。</p>	84

10	下有知小	意見というか、私の子ども時代の感想ですが、小学校も中学校も1学年2クラスでそんなに全校生徒も多くはない学校だったと思いますが、9年間同じ仲間と過ごせたことが、私の学校生活の中で1番嬉しかった思い出です。数字で見れば適正ではないかもしれませんが、環境の変化が苦手な私にとっては本当に丁度良い人数であり、よかったと思っています。私は生徒数の多い学校をうらやましく思った記憶はありません。当時知人からいろいろな話を聞いたりした中で、生徒数が多ければ多いほどやんちゃな人がいたり荒れていたりという嫌なイメージもあったので、私は生徒数がわりと少ない環境で過ごせてよかったなと思いました。もし統合して生徒数が増えたとしても、教員の確保や、ひとりひとりの生徒への教育がしっかりなされているのであれば、問題ないと思います。あとは学校規模とは別の話で子どもの頃からずっと思っていたことなのですが(幼少期も関市民でした)当時学校給食があまりおいしくなくて、量もかなり少なく、給食に関しては本当に見直して欲しいなと思っていました。(十数年前のことなので今はわかりませんが)当時の献立表を残してあり大人になってからも見返してみると、主人(他県出身)が見ても、これじゃあ男の子は足りないんじゃない?という量で主人の給食の話を知るとメニューも豊富で本当においしかったんだろうなとうらやましい限りです。私の子どもはまだ小さいし、仕事の都合で引っ越すかもしれないのでいつまで関市にいられるかわかりませんが、もし関市の学校に私の子どもも通うとなると、真っ先に考えるのはあの給食を食べることになるのかということです。いろいろと正直に申しあげましたが、給食という食事の時間は生徒にとって楽しみであり、大切な食育の時間でもあります。大人になってから、給食で食べたものを思い出すことがみんな一回はあると思います。個人的な意見ですが学校規模より給食も見直したほうが、ほんの少しでもなにかの対策になるのではと感じました。	85
10	下有知小	下有知中は自転車通学がありません。他の学校は2キロ以上の子は自転車通学ができるとききます。我が家は中学校まで2キロ以上になるのですが、下有知中がゆえ、どれだけ遠くても徒歩になります。どの学校も条件として平等にして頂きたいです。	86
10	下有知小	皆が、仲良くやれば1番素晴らしい。が、地域の輪も大切なことだと思う。でも昔とは違い多種多様な生き方があるので。	87
10	下有知小	学校規模についても問題ではあるのだろうが、障がい(個性)のある子が増えてきている中補助員の不足。これに伴い先生方の負担が増えると共に子ども達の個性が潰されていっているのが現状。特別支援学級でも対応出来ないなら特別支援学校への転校を進めるスタンスなのでしょうか?また、障がい(特に発達障害)の勉強不足。知らないから対応ができない、間違った対応をし悪化させる。これに関しては知識さえあればその場で解決が出来ることであると思います。発達障害の子が増えている以上、知らない、対応出来ないでは済まないきがしています。子どもの人数がという前にまだまだ課題はあるのではないのでしょうか?これ以上学校で個々の個性が潰されない事を願うばかりです。	88
10	下有知小	施設の維持に大変な費用がかかると思います。プールや特別な施設に関しては新たに作り直すことより、他校とシェアしたり市内のプールをお借りするなど必要だと思います。しかし災害等のときに避難所としての学校施設は無くしてはならないと思います。	89
10	下有知小	下有知小学校は適正人数なので、現状のままで良いと思います。下有知中学校は小規模だが近くで合併できるところがないと思います。今はクラス替えが出来る状態の為、現状のままでお願いしたいです。	90
10	下有知小	子どもは家庭、学校、地域が深く関わって育てるのが理想だと思うので、それぞれの意見を聞いてもらえると良いと思います。	91
10	下有知小	小規模校等、校区示す資料参考があれば、市民はわかりやすいです。	92

10	下有知小	色んな方の理解が必要だとは思いますが、小規模も残しつつ、大規模を無くして適正規模の校区の範囲を見直して段階的に小→中で関わる人間を増しちょっとした経験もできる人間関係を構築してほしい。人間一人では生きていけないのだから。その上で既存の校舎、設備等への改修工事などへの税金の投入は大歓迎です。1、子どもの親としては。未来への希望が持てる学校生活を送れる環境を整えてあげるの大人の責任だと思います。	93
10	下有知小	大きい学校でも小さい学校でもメリット、デメリットはそれぞれあるし、どの校区になるかは親も考慮して家を建てたり、アパートを選んだりしているので、行事などは、どちらかに合わせた配慮をして関市全体で決定するのではなく、それぞれの学校で学校の規模に合わせ、決定して欲しい。小さい学校だからこそ出来ること、人数が多い学校だからこそ出来るものがそれぞれあると思うので、それぞれの特性を生かした学校運営をしてほしいと思います。	94
10	下有知小	部活動の地域移行を早急に進めて頂ければ。	95
10	下有知小	お尋ねの質問とは違う意見になりますが、公立教育環境に対する不登校を選択した。または選択せざるを得なかった世帯への経済的な助成を早期に実現していただくことを望みます。公教育を受けることを前提にひとりあたり換算の税金額還付などの試算でもよろしいかと思えます由、ご一考いただければ幸いです。	96
10	下有知小	人間は感情がある生き物で先生方も生徒さん達もそれぞれ考え方や環境の違い、生活レベルや違うと思いますが、意見が互いに一方通行にならないよう目が行き届く範囲で学校規模と人員を考えて話し合いを双方交えちゃんと決めていってほしいです。	97
10	富野小	長期的なビジョンを策定してはどうかと思います。関市（教育委員会）10ヶ年毎に統廃合を協議しなくても良いように。人口が増えるような戦略は立てられませんが、ここ10年は推測値のように減少すると思いますが、県内でも人口が増えている地域や減少率が低い地域もあります。若い世代にとって、戸建てを検討する時に、美濃加茂、美濃、富加ではなく関市を選択してもらえよう。また市内で横並びにするのではなく、各校で独自教育を取り入れて魅力のある学校に出来ないかなど。例) 英語、アウトドア、投資、経済等々。全国から転校希望者を増やす。	98
10	富野小	統合されることによってその学校の教職員数が増加するといいです。特性を持つ子どもが多く、勤務時間はその対応に追われ、事務作業は児童の下校後から、または休日出勤です。統合を機会に、現場の職員数の適正化も図られると良いと切実に思います。	99
10	富野小	少子化の流れは止まらないと思います。しかしながら、学校が無くなる地域においては、子を生むという親が居なくなると想定されます。そういった地域へのケアなども並行して考え方を示して欲しい。	100
10	富野小	安全、安心。	101
10	富野小	学校の適正規模は地域の実情によって異なり一律に決められるものではない。このアンケートは統廃校前提のアンケートではないか。	102
10	富野小	子どもの減少は地域の衰退です。地域の学校を減らす前に地域の子どもの増やすための対策が必要ではありませんか。	103
10	富野小	地域の状況はそれぞれ違うがその地域に通う子ども達が通いやすい、住みやすい地域の環境作りが必要。特に小規模学区の地域の魅力作りを早急に整備しなければ過疎地はもっと少子化が進む。	104
10	金竜小	規模の大きい学校、規模の小さい学校、それぞれの環境、地域性をいかした教育があると思います。特色をいかせたらいいと思います。	105
10	金竜小	現代的な考えをどんどん取り入れていってほしい。	106
10	金竜小	板取や上之保周辺が統合してしまうと、少子化問題に加えて、里帰りしてくる家族も敬遠されて地域全体が過疎化してしまう恐れがあります。これが進めば金竜地区とていずれそうなる可能性だってあります。単に小中学校だけのことは考えず、地域全体の将来のことも見据えて審議してもらいたいです。	107

10	金竜小	児童数対運営費の問題が発生若しくは発生の見込みがあるということには一定の理解ができるころではあります。しかしながら限られた空間になるべく多くの生徒を入れるだけでなく、定員数に余裕があることで得られる密な友人関係の構築や、教職員の負担軽減下に於いて生徒の「分からない」に答えやすい、生徒が尋ねやすい環境があることも素晴らしいのではないのでしょうか。「余裕のある学校生活」というコンセプトという発想です。また、適正規模を下回るとされている学校に限らず、現在コストカットに関する取り組みに計画表を組まれたりしているのでしょうか。計画表が無ければまずどのようなコストの洗い出しと計画表を作成した上で子育て世代への見える化をするべきです。校内の蛍光灯やグラウンドの水銀灯をLED化したり、トイレの照明の人感センサー化などで削減できるものもあると思います。また、組織立て直しやコスト削減のアドバイザーに意見を求める等やっていますでしょうか。学校側、地域側が何をやって、それでも〇〇というデータに繋がってしまう為、これから子ども達や親御さんのご協力や意見聴取を仰ぎたいという話なら分かりますが、そういった経緯の見える化もして頂けるとより理解ある声も聞かれるのではと感じます。	108
10	金竜小	将来の学校の場所等を考えて、新居や保育園を選んでいる方も多いと思うので、変更や統合があるならば早めに期間をもってお知らせをして欲しい。関市は色々といい物があるのに広報力が足りないの、もう少し公に「関市にはこんな良いものがある」と宣伝した方が良い。子どもを育てやすい環境ですと広める事も大事。	109
10	金竜小	通っている学校が急に変わる等はないのか？学校規模の変更はやむを得ないとしても、小学校に通い出した2年生以上の子か通っている学校を急に変わるというような事は極力避けるべきであると思う。	110
10	金竜小	学習面で先に進みたくても進めない子がいたりみんなと同じペースが苦手な子もいたりありますが、できる子は進むというスタイルがあってもいいと思います。	111
10	金竜小	個人的には4クラスある大規模校は運動場の砂煙がひどく、他学年と遊んでではダメ、サッカーや鬼ごっこダメとルールが多くなりがちです。1クラスに満たない小規模校の方が子どもがのびのびし、縦のつながり、地域とのつながりが持ちやすく魅力に感じます。	112
10	金竜小	私は大規模校の出身ですが、そこしか知らないの、だから良かった悪かったということは正直わかりません。大きかろうと結局はクラスメイトと部活のメンバーが世界の全てでしたし、教科担任以外は特に関わりもなかったです。規模の良し悪しがわかるのは、保護者や生徒ではなく、転任で渡り歩き色々な学校を見ている教師ではないのでしょうか。先生方に無理がなく過度なストレスなく、編成していただければ、どんな風に変化しても子どもたちは与えられた環境に順応してくれるのではないかなと、素人ながら思います。	113
10	金竜小	小学校では、通学の距離が大きく影響すると思います。重いランドセルを背負って毎日通学する子どもの身になってご検討いただきたい。それに加えて、小学校では特に担任が、一人ひとりに目を配って個々に合わせた教育となるよう、担任が楽になることばかりではなく子どものためになる学校教育をしていただきたいと思います。	114
10	金竜小	障害児を分けて教育するのではなく、地域の学校で個々に対応できるようにし、ともに学ぶ中で、多様性や人権教育を体感できる。	115
10	金竜小	大規模校でも過小規模校でも素敵な学校はあると思います。人数に囚われない改革をしてみたらどうですか。	116
10	金竜小	国の示す適正規模に拘ることなく、子どものことを第一に考える方策を検討することを希望します。	117
10	洞戸小	学童を6年生まで可能にして欲しい。4年生で1人留守番は怖い。	118
10	洞戸小	規模が小さいだけで、統合して学校を廃校すると過疎化がより進むと思います。なんとか減らさないようにアイデアを出す必要があります。	119

10	洞戸小	いつも学校教員にご尽力下さり有難うございます。学校の統廃合は近々の課題ではありますが、地域住民との話し合いを重ね準備期間を設けて検討すべき問題であり今回の回答は、「分からない」を選択させていただきました。センシティブな問題でありいきなりの話しとならない様に今後とも地域住民、保護者、そして何より生徒の心情に寄り添った対応を切に願います。	120
10	洞戸小	子どもが小学生と仮定し、適正規模にするため統合した時に、環境や通学に慣れず不登校にならないか不安を感じます。	121
10	板取小	単に少なくなるから、統合、ではなく、通学距離など、子ども達にかかる負担も考えながら、良い方法を考えて欲しい。また、生まれ育った地域との関わりは、途切れないよう配慮してほしい。	122
10	板取小	統合で学校が無くなってしまふ事による地域の衰退を念頭に入れて熟慮して欲しい。地域から子ども達の声や姿が消えてしまふ淋しさを理解して欲しい。	123
10	板取小	数字だけで画一的に考えるだけではなく、地域の特性等も考慮したうえで、計画すべきだと思います。	124
10	博愛小	やるのであれば、とにかく説明を早めに丁寧におこなって欲しい。	125
10	博愛小	学校の統廃合が進めば、特別支援学級のクラス人数も増えるはずですが。現状、特別支援に理解のある教員が圧倒的に足りていないと感じています。その面の補強もしっかりしていただきたいと思えます。それと、小規模学校から統合された子どもたちは、大きな環境変化に順応できないことも見込まれます。そのあたりのケアもじゅうぶんにする必要があると思えます。現状でも特に中学校では先生同士の連携があまりできていないと思うことが多く(他の保護者さんから聞く話も含め)、教員不足で先生方もお忙しいとは思いますが、統廃合によりそのあたりがどうなるか(廃校になった学校の先生が異動になることで解決できることなのか)、気になるところです。	126
10	博愛小	広見の子達は、バスに乗って学校に行かなくても、歩いて博愛小学校に行くべきだと思う。税金(バス代)をかけなくてもよい。	127
10	博愛小	生徒数が少ないと部活も多くの選択ができなくて、(運動4に、文化1)片寄っていて、とても残念です。部活だけでも隣の学校と統合して欲しいです。同じく、個に応じた支援クラスや登校のサポートが出来るように、多くの選択が出来るとう良いと思えます。	128
10	博愛小	統合すれば良いのではない。授業内容の充実。例えばイエナプランなどを導入して、子どもが夢中になる時間をふやしてほしい。	129
10	博愛小	年々増える学校嫌いや、不登校に対し、個に応じた授業の受けやすさとは、各学校での支援の選択肢を広げて受け皿を作り、合う支援方法を決めやすくして欲しいです。	130
10	博愛小	僻地に対するスクールバスの活用。豪雨、降雪時のオンラインの活用。 課外活動ボランティアの募集。登下校時の見守り活動ボランティアの募集。	131
10	武芸小	あと3年後、4年後はどのように変化していくのか心配です。早急に学校規模について考えなければならぬ問題かと思えます。大人の意見ももちろん大事ですが、一人ひとりの子ども達のこと第一優先に考えてほしいです。	132
10	武芸小	安全に通学できる環境を整えてから実施していただきたい。 校舎、設備も同様に危険箇所を洗い出し、整備または更新の徹底をお願いします。	133
10	武芸小	今回の寺尾小と武芸小の学校編成は、市の教育委員会より決定事項として保護者に持って来られたことが不満だった。説明会での職員も高圧的な態度であった。今後、学校編成の話は決定前に1番に該当地区の保護者に話をして欲しい。	134
10	武芸小	質問が漠然としすぎている。	135
10	武芸小	小規模校の統合は、これから起こってきますが、合併する両方の校区の保護者に向けて、同時進行で説明があることを願います。無くなる学校の校区の保護者には先に説明し、吸収する側の学校の保護者には、合併が決定した状態での説明では正直理解し難いと思えます。	136

10	武芸小	廃校後の学校のその後がどうなってるか、維持管理がどうなっているか、跡地利用の計画など、誰が検索してもわかるようなサイトを作ってほしいです。跡地利用の受け入れ先が決まるまで、せきとるネットのように校舎や体育館が利用できるサービスを作ってほしいです。	137
10	武儀小	小規模より、クラスの人数が多すぎ、まとめすぎて個々に先生方が寄り添えないほうが心配です。	138
10	武儀小	武儀小は、2つの学校が閉校して出来た新しい学校です。子どもたちは以前保育園で一緒だったことや、普段からよく交流があったので一緒になっても抵抗なく過ごしていますが、統合の話し合いのなかで、地域の意見や、親の意見をどんなに話しても、武儀東小に移ることがほぼ決まってるような言われ方をしてきました。他地域との統合とかになると、十分な話し合いが必要になってくると思うので、すぐに結果を求める事が困難になるのかなと思います。	139
10	武儀小	保護者だけではなく、子どもたちにも意見を聞いてほしい。子どもたちの将来に関わることなので。自分たちが日常の大半を過ごす学校という場がどうなると良いのか？子どもたちの想いや意見を聞いてほしい。	140
10	武儀小	バス通学の子より遠いのに自転車通学の子がいる。自転車を買ったり、雨や雪や雷の日の送り迎えなど不平等だと思うことがあります。	141
10	武儀小	子ども達が安心して学校へ通えることが大前提。学校の規模はあくまで基準となるものであって、あらゆる面から考え柔軟に対応して欲しい。普段の生活だけでなく、災害時に本当に安全が確保されるのか。	142
10	武儀小	人数が少なくてもいいこともたくさんあるけれど、少なすぎるのは寂しいなと思います。子どもは環境にすぐなれるしバスで行っているんで、どこにうつろうがそんなに影響はないですが、生活する中で一番助かったなと思ったのは学童が下之保に残っていることでした。働くのが当たり前の時代で、買い出しに行くにも病院に行くにも時間がかかるので、学童が近いのはありがたいです。先日あったような、大雨警戒による学校休校の判断が前日にありとても助かりました。災害時や生活の中の日々の流れなどを配慮して、こういったものが、しっかりしていれば、親の負担が少し学校が遠くなっても安心かなと思います。	143
10	武儀小	国が示す適正規模と言っても、それぞれの地域によって事情は違い、同じ関市でもへき地ではまた訳が違ふと思います。統合してその規模にするには、この地域では学校までの距離も負担が大きく、やはり簡単に統合できるものではないし、少子化が進む中では、一律に理想の形にするのは難しいと思います。	144
10	武儀小	小規模校は先生のかゆい所に手が届くような指導が受けられ落ちこぼれもできなくなるような気がします。基準は基準ですが。	145
10	上之保小	もし統合すれば、我が家は通学距離がかなりできてしまうと思います。天候などによって通学が難しいときがでてくると思います。オンラインでも授業が受けられる体制をコロナ終息後も引き続き維持してほしいです。	146
10	上之保小	少人数での利点も多々あるかと思いますが、保育園で月に2回程度体育指導や音楽指導を近隣保育園で合同で行っており、数年後中学校もその保育園と一緒にあります。なのに、小学校生活ではお互い関わりが無いに等しい。今我が子が通う小学校の同級生の人数が少なく中学になると急に増えるそこに加わらなくてはいけない。子どもたちの中学入学の不安は大きいし、不登校などの原因にもつながるのではないかと考えます。もう少し大人が動いて配慮できることはあるのではないのでしょうか。私自身小学校、中学校での統合を経験しています。どちらとも多い方の学校側でしたが、少数人数の学校出身はかなりの不安感がある様に感じました。率先して声をかけて関わりを持つと努力した覚えもあります。現在の小学校の人数で体育や音楽の授業を行う場合、サッカー、野球、バレーなどのチームプレーを味わうことも出来なければ、様々な楽器を使ったりパートをわけたり、息を合わせた合奏も合唱も味わえません。経験させてやりたい事が義務教育の中で試せないことは子ども達の可能性も広がらないのではないかと感じます。少人数に慣れてしまい、広がった環境で萎縮してしまう気持ちを早めに無くしてやりたいです。今後の統合などの話が、地域の年配層ではなく、該当保護者へきちんと話が回るように話を進めていただけたらと思います。	147

10	上之保小	生徒児童数が多すぎても少なすぎても良くないので、校区だけに囚われず、通学や距離に配慮してバランスの取れた規模を、維持してください。お役所仕事の様に線で引いただけの様な対応ではこれからの時代には、不十分です。柔軟でバランスのとられた運営をお願いしたいです。	148
10	上之保小	地域の実情（位置、交通、地域行事等）から適正規模校まで拡大する必要性は感じませんが、統廃合によるメリットとデメリットを明確にして市民に途中経過も積極的に通知しながら進めて頂きたいと考えます。	149
10	市外	子ども達の気持ちを一番に考えた上で議論していただきたいです。大人の意見を押し付けないよう慎重に話し合いをしていただきたいと思います。この件で不登校になる子どもが増えたら本末転倒ですので、くれぐれも子ども達への不安、負担がないように配慮していただきたいです。	150
10	市外	統廃合が続く時代、デメリットは、合併は母校を失ってしまうという寂しさや切なさもあるかもしれない。一方統合をしなければ少人数で目がゆきとどく教育が期待できる反面、部活動などは限られてしまう。時代にのるのも大事な事だと思うが一度合併してしまうと戻れないので慎重に考えてから多くの意見をきいて子ども達が楽しく充実した教育課程がきづけるとよいと思います。	151